

目次

1 章	つくば市学校等適正配置計画(指針)について	... 1
1 .	計画の目的、意義	
2 .	計画の位置づけ	
3 .	計画期間	
2 章	つくば市及びつくば市の学校等の現状について	... 4
1 .	つくば市の概要	
2 .	つくば市の人口、世帯数及び児童生徒数	
3 .	学区等の現状	
3 章	計画見直しに当たって考慮すべき事項	...15
1 .	つくば市が目指す教育	
2 .	人口の動向	
3 .	国等で示されている基準	
4 .	地域の実情に応じた学校等の配置	
5 .	近年の新設校建設の状況	
6 .	大規模校・小規模校それぞれの良さを生かす取り組み	
7 .	つくば市学校施設長寿命化計画との連携・整合	
8 .	公立幼稚園への市民ニーズとその対応	
4 章	今期学校等適正配置(指針)における基本的な考え方	...18
1 .	学校等の標準規模	
2 .	学校等の標準の通学距離	
3 .	地域特性やニーズへの配慮及び地域の合意形成	
5 章	学校別の将来推計	...20
1 .	構成と概要	
2 .	児童・生徒数推計の方法	
3 .	小学校区の将来推計	
4 .	中学校区の将来推計	
5 .	義務教育学校区の将来推計	

6 章 学校別の配置方針

...67

- 1．配置方針の検討手順
- 2．小学校の配置方針
- 3．中学校の配置方針
- 4．義務教育学校の配置方針
- 5．幼稚園の配置方針

1 章 つくば市学校等適正配置計画(指針)について

1 . 計画の目的・意義

本計画は、つくば市が目指す教育を実現する基礎的インフラストラクチャである、幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校（以下、学校等という）の配置について、中長期的な指針を示すことを目的としています。

また、その中長期的な指針を示すため、つくば市における学校等の適正な配置に関する考え方を示すとともに、幼児・児童・生徒数の推計を行い、学校等の将来的な状況の把握を行います。

中長期的な指針を示すことには、次のような意義があります。

- 今後のつくば市の学校等の状況や教育行政の展開について見通しが持て、中長期的に目標と施策を設定することができます。
- 市民に、将来直面するであろう課題を予め示すことで、課題解決への協力を得ることができます。

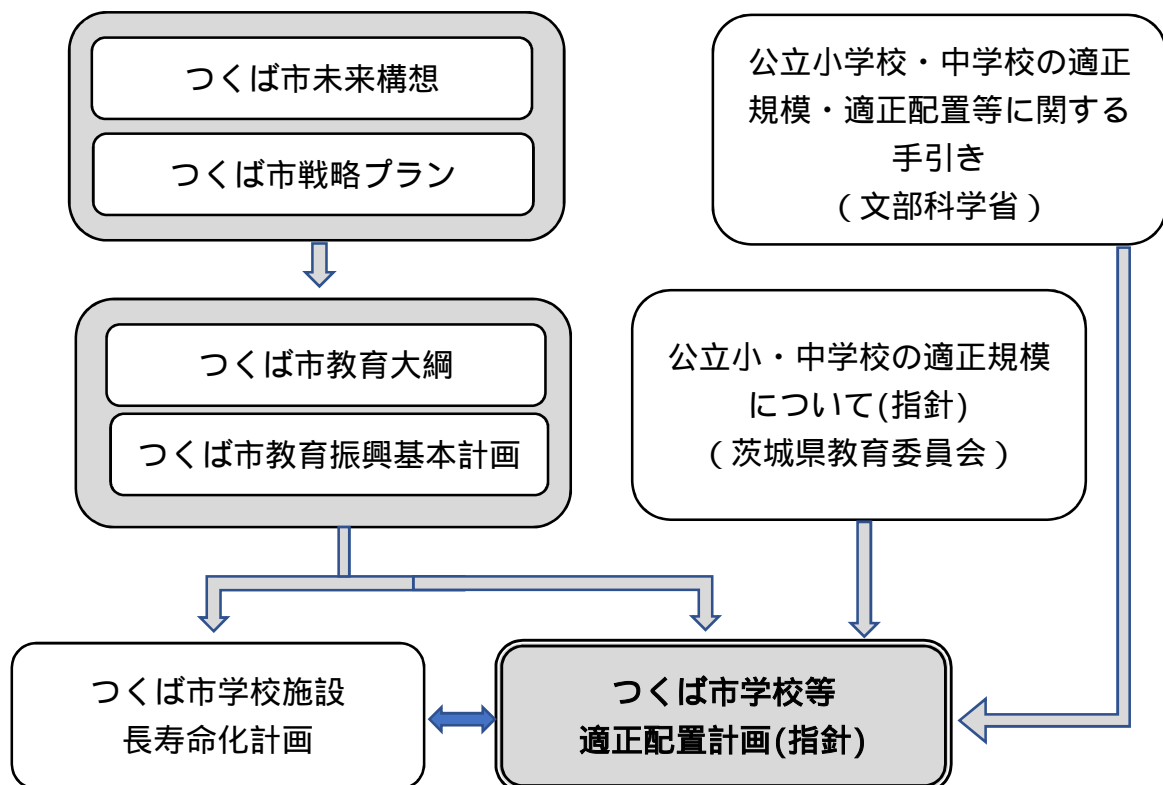
２．計画の位置づけ

本計画は、本市のまちづくりの基本理念や目指すまちの姿を示した「つくば市未来構想」及びその実現のための「つくば市戦略プラン」並びに本市の教育の根幹となる「つくば市教育大綱」及びその実現のための「つくば市教育振興基本計画」を上位計画としています。

つくば市未来構想における「つながりを力に未来をつくる」というまちづくりの理念と、つくば市教育大綱における「一人ひとりが幸せな人生を送ること」という本市の教育における最上位の目標に基づき、学校等の適正配置に関する中長期的な指針を示します。

また、本計画は「つくば市学校施設長寿命化計画」と密接に関わり、相互に連携・整合を図っていくこととしています。

なお、本計画の策定においては、文部科学省で策定された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」及び茨城県教育委員会で策定された「公立小・中学校の適正規模について(指針)」を参考にしています。



3．計画期間

本計画の計画期間は、令和6年度(2024年度)から令和25年度(2043年度)までとします。本計画の児童生徒数等の推計は現在のつくば市の関連するデータをもとに行っており、今後様々な社会的な要因等の変化によってつくば市の様相が移り変わり、児童生徒数等も本計画推計との相違が生じてくることが予想されます。そのため、計画に柔軟性を持たせるとともに、5年ごとに状況の変化に応じた計画の見直しを行っていきます。

2 章 つくば市及びつくば市の学校等の現況について

1 . つくば市の概要

つくば市は、1987 年 11 月 30 日、筑波研究学園都市を構成する 6 市町村のうち筑波郡大穂町・豊里町・谷田部町・新治郡桜村の 3 町 1 村が合併して誕生しました。1987 年当時の公立学校数は、幼稚園 15 園、小学校 31 校、中学校 10 校でした。

その後、翌年 1 月 31 日に筑波郡筑波町、2002 年 11 月 1 日に稲敷郡荳崎町が加わり、現在は、面積 283.72 平方キロメートルの中に幼稚園 15 園、小学校 32 校、中学校 14 校、義務教育学校 4 校が配置されています。

また、市内では、つくばエクスプレスの沿線開発、公務員宿舍跡地等の開発など、新たな都市基盤の整備が進められています。

2 . つくば市の人口、世帯数及び児童生徒数

本市の人口は 257,756 人（2024 年 5 月 1 日現在）で、県内では水戸市に次いで第 2 位となっています。筑波研究学園都市として、人口構成は他の同規模の都市とは大きく異なっており、世帯数の多さや生産年齢人口割合の高さが特徴です。

つくばエクスプレス開業に伴う沿線開発により、市内全体として今後 10 年程度に渡っては、更に人口が増加していくことが見込まれています。

■つくば市人口及び児童生徒数等の推移

（各年 5 月 1 日現在：常住人口及び学校基本調査結果）

	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
人 口	222,416	229,084	232,085	235,709	239,397	243,246	245,376	249,973	254,669	257,756
世帯数 (戸)	93,760	99,519	101,569	103,801	106,425	108,235	113,367	116,313	119,900	122,372
園児数	1,004	925	924	893	836	749	623	554	554	510
児童数	13,458	13,831	14,101	14,511	14,801	15,098	15,445	15,758	16,016	16,260
生徒数	5,807	5,847	5,894	5,864	5,900	6,145	6,392	6,608	6,586	6,621

3 . 学区等の状況

(1) 学区と通学距離圏

小学校、中学校、義務教育学校の学区及び幼稚園の園区は、現在、次の

図表のとおりとなっています。また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令(第4条)において示されている法定通学距離(小学校おおむね4km圏・中学校おおむね6km圏)を図の一部に示します。

通学区域表

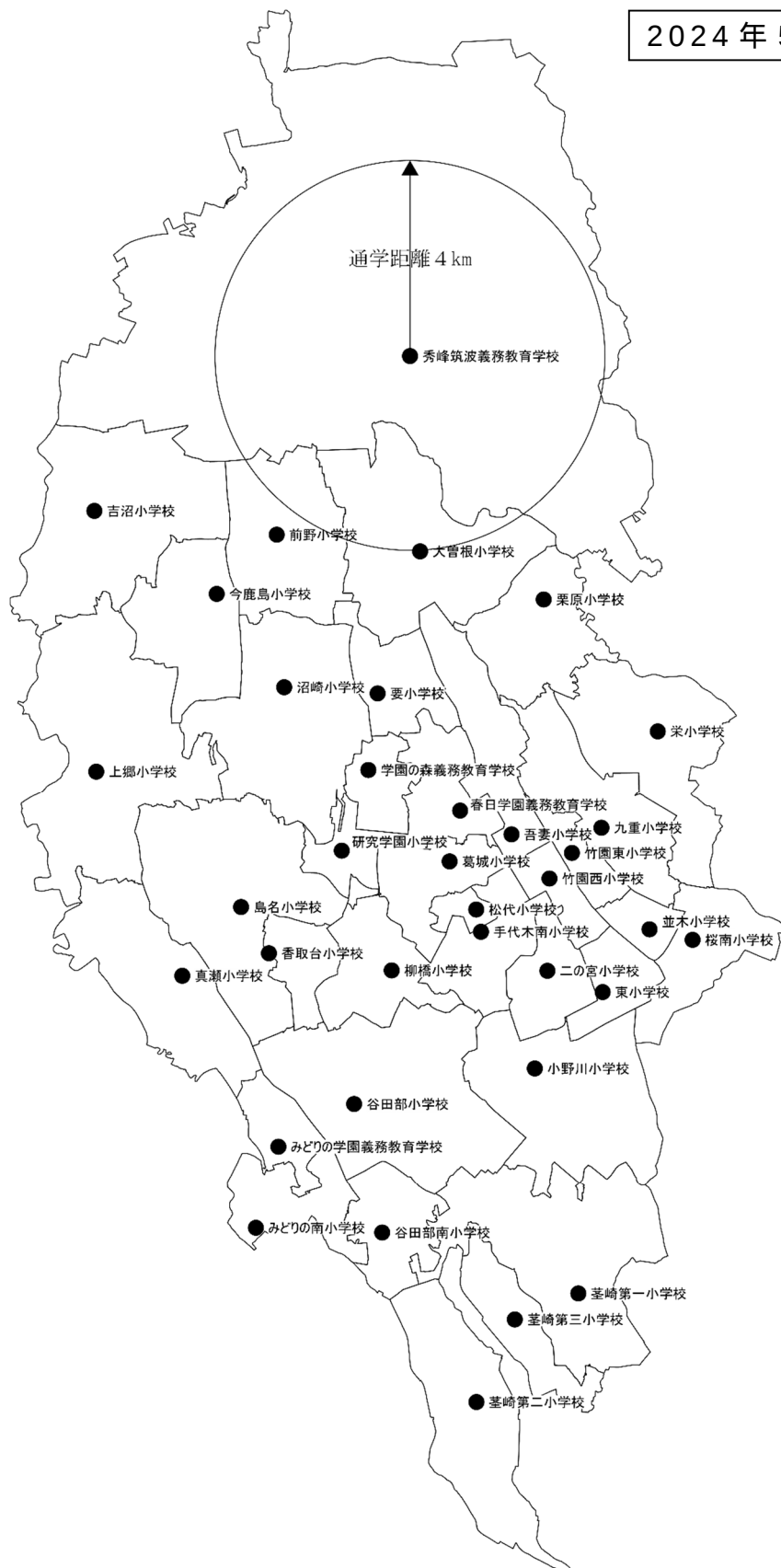
中学校名	小学校名	通学区域
大穂中学校	大曽根小学校	大曽根 玉取 若森 佐 蓮沼 花畑一丁目 花畑二丁目 花畑三丁目 大穂 立原 鹿島台 篠崎(市道2—2185号、2—2180号及び2—2258号以東の区域に限る。) 筑穂一丁目 筑穂二丁目 筑穂三丁目
	前野小学校	前野 篠崎(市道2—2185号、2—2180号及び2—2258号以東の区域を除く。) 長高野 北原
	要小学校	要 南原 西沢 本沢 北郷 西原
	吉沼小学校	吉沼 西高野 大砂 五人受 大久保
豊里中学校	沼崎小学校	沼崎 酒丸 東光台一丁目 東光台二丁目 東光台三丁目 東光台四丁目 東光台五丁目 土田 高野 遠東 旭 百家 豊里の杜一丁目 豊里の杜二丁目 中東
	今鹿島小学校	今鹿島 上里
	上郷小学校	上郷 木俣 野畑 手子生 田倉 緑ヶ原一丁目 緑ヶ原二丁目 緑ヶ原三丁目 緑ヶ原四丁目
谷田部中学校	谷田部小学校	谷田部(常磐自動車道以南の区域を除く。) 羽成 小白碓 観音台一丁目 観音台二丁目 観音台三丁目 台町一丁目 台町二丁目 台町三丁目 上横場 今泉 藤本
	柳橋小学校	平 大白碓 柳橋 新井 山中 御幸が丘 大わし 八幡台
高山中学校	真瀬小学校	真瀬 鍋沼新田 高須賀 高良田
	島名小学校	島名 中別府 下別府 上河原崎 鬼ヶ窪 高田 面野 井(県道土浦坂東線より南側の区域に限る。) 下河原崎
	香取台小学校	島名香取台 島名諏訪 水堀
手代木中学校	葛城小学校	葛城根崎 苅間(研究学園駅東交差点から春日一丁目西交差点へ向かう県道取手つくば線より北側の区域を除く。) 原 西大橋 西岡 小野崎(松代交差点から学園西交差点へ向かう国道408号線より北側の区域に限る。) 島 学園南二丁目 学園南三丁目 研究学園七丁目(3番地から

		14 番地までに限る。)
	手代木南小学校	手代木 西大沼 松代四丁目 松代五丁目 東新井(1 番地から 12 番地まで) 小野崎(松代交差点から学園西交差点へ向かう国道 408 号線より北側の区域を除く。)
	松代小学校	松代一丁目 松代二丁目 松代三丁目 西郷
谷田部東中学校	小野川小学校	中内 館野 榎戸 北中妻 赤塚 下原 梶内 南中妻 下横場 稲岡 北中島 市之台 新牧田 高野台一丁目 高野台二丁目 高野台三丁目 鷹野原
	二の宮小学校	小野川 二の宮一丁目 二の宮二丁目 二の宮三丁目 二の宮四丁目 上原 松野木 長峰
	東小学校	東一丁目 東二丁目 稲荷前 梅園一丁目 梅園二丁目
桜中学校	栄小学校	上境 中根 栄 松栄 松塚 横町 大 金田 古来 吉瀬 さくらの森
	九重小学校	上ノ室 花室(花園以西の区域を除く。) 妻木 東岡 柴崎(小太郎団地を除く。) 流星台
	栗原小学校	上野 栗原 柴崎(小太郎団地に限る。) 桜一丁目 桜二丁目 桜三丁目 春風台
並木中学校	桜南小学校	上広岡 下広岡 大角豆(下大角豆及び大角豆南部に限る。) 並木三丁目(8 番地から 26 番地まで) 並木四丁目(5 番地から 17 番地まで)
	並木小学校	並木一丁目 並木二丁目 並木三丁目(1 番地から 7 番地まで) 並木四丁目(1 番地から 4 番地まで) 大角豆(下大角豆及び大角豆南部を除く。)
竹園東中学校	竹園東小学校	竹園三丁目 千現一丁目(3 番地から 10 番地まで) 倉掛 吾妻四丁目 花園 花室(花園以西の区域に限る。)
	竹園西小学校	竹園一丁目 竹園二丁目 千現一丁目(1 番地及び 2 番地並びに 11 番地から 23 番地まで) 千現二丁目 東新井(13 番地から 38 番地まで)
吾妻中学校	吾妻小学校	吾妻一丁目 吾妻二丁目 吾妻三丁目 天久保一丁目 天久保二丁目 天久保三丁目 天久保四丁目 天王台一丁目 天王台二丁目 天王台三丁目
高崎中学校	荃崎第一小学校	若栗 中山 菅間 樋の沢 大井 西大井 池向 高崎 稲荷原 天寶喜 明神 牧園 城山 高見原 若葉
荃崎中学校	荃崎第二小学校	下岩崎 細見 小山 自由ヶ丘 梅ヶ丘 荃崎 上岩崎 大舟戸 駒込 あしび野 富士見台 泊崎
	荃崎第三小	小荃 六斗 九万坪 房内 宝陽台 桜が丘 森の里

	学校	
研究学園中学校	研究学園小学校	研究学園一丁目 研究学園二丁目 研究学園三丁目 研究学園五丁目(1 番地から 18 番地までに限る。) 学園南一丁目 中東原新田 面野井(県道土浦坂東線より北側の区域に限る。)
みどりの南中学校	谷田部南小学校	谷田部(常磐自動車道以南の区域に限る。) 境田 境松 古館 緑が丘 東丸山
	みどりの南小学校	飯田 中野 片田 西栗山 みどりの南 みどりの東 根崎
春日学園義務教育学校		西平塚 東平塚(学園の森二丁目以西の区域を除く。) 下平塚 春日一丁目 春日二丁目 春日三丁目 春日四丁目 学園の森三丁目(14 番地から 31 番地までに限る。) 研究学園六丁目 研究学園七丁目(3 番地から 14 番地までを除く。) 荻間(研究学園駅東交差点から春日一丁目西交差点へ向かう県道取手つくば線より北側の区域に限る。)
秀峰筑波義務教育学校		田中 水守 山木 和台 上沢 田水山 沼田 国松 上大島 筑波 神郡 臼井 小沢 杉木 漆所 大貫 北条 君島 泉 小泉 山口 平沢 小田 北太田 小和田 大形 下大島 作谷 安食 寺具 明石 中菅間 上菅間 洞下 池田 高野原新田 磯部
学園の森義務教育学校		東平塚(学園の森二丁目以西の区域に限る。) 学園の森一丁目 学園の森二丁目 学園の森三丁目(1 番地から 13 番地まで及び 32 番地から 50 番地までに限る。) 研究学園四丁目 研究学園五丁目(19 番地以降に限る。)
みどりの学園義務教育学校		上萱丸 下萱丸 花島新田 みどりの一丁目 みどりの二丁目 みどりの中央

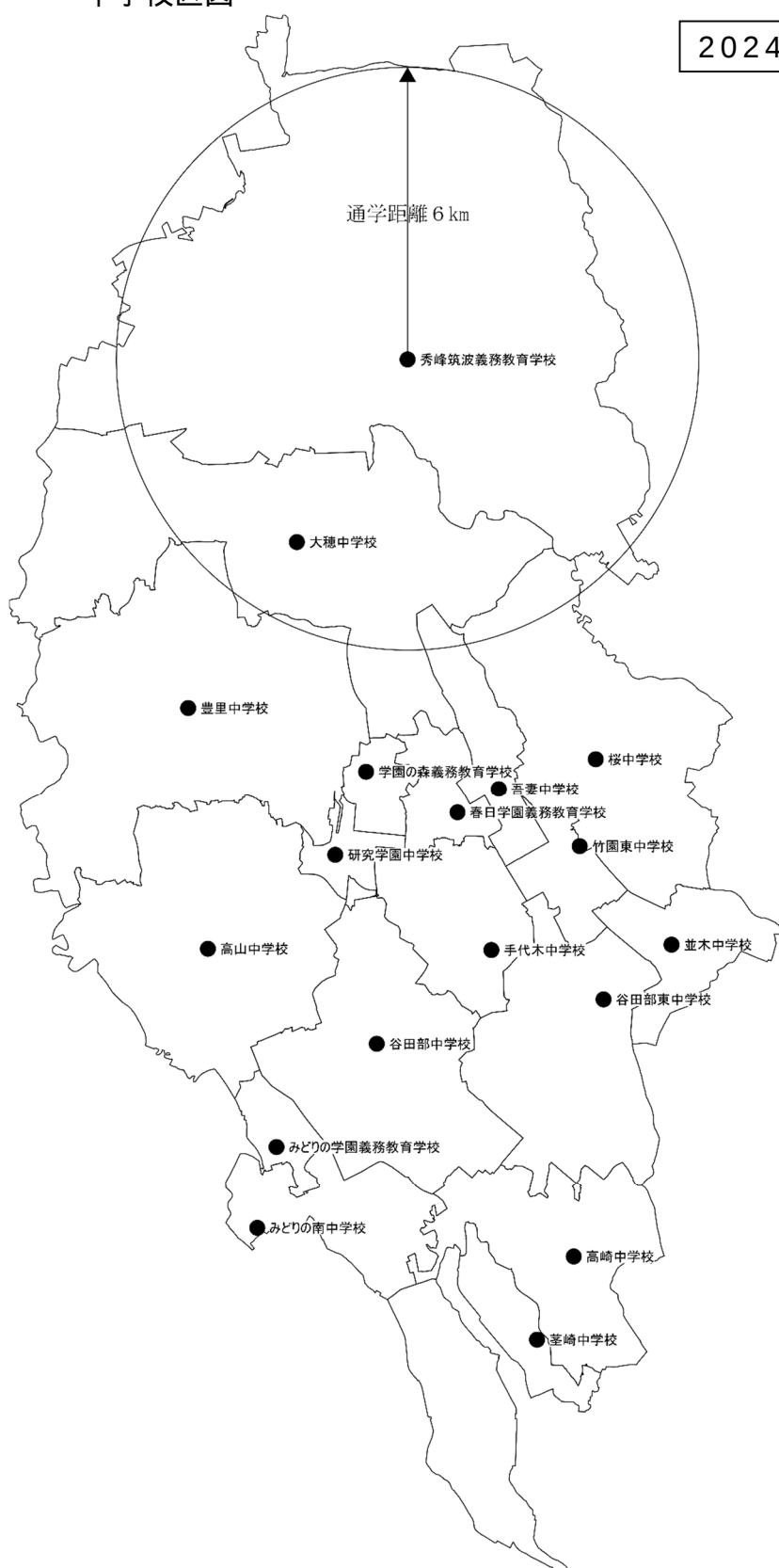
小学校区図

2024 年 5 月現在



中学校区図

2024 年 5 月現在



市内学園一覧

つくば市では、小学校及び中学校を合わせた小中一貫型小学校・中学校の名称を、学園名として次表のとおり定めています。

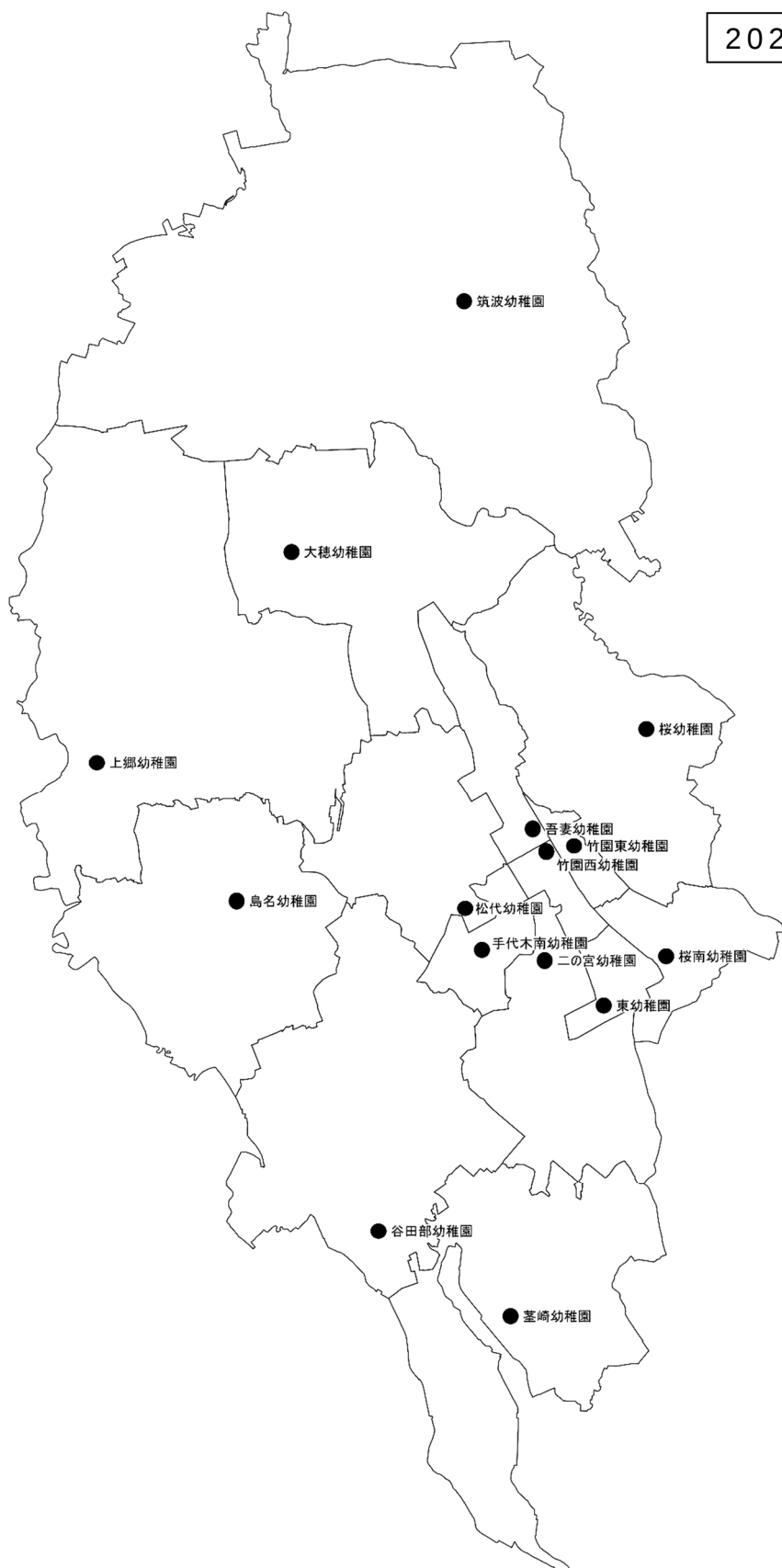
学園名	学校名
大穂学園	大穂中、大曽根小、前野小、要小、吉沼小
豊里学園	豊里中、沼崎小、今鹿島小、上郷小
輝翔学園	谷田部中、谷田部小、柳橋小
高山学園	高山中、真瀬小、島名小、香取台小
光輝学園	手代木中、葛城小、手代木南小、松代小
洞峰学園	谷田部東中、小野川小、二の宮小、東小
桜学園	桜中、栄小、九重小、栗原小
竹園学園	竹園東中、竹園東小、竹園西小
桜並木学園	並木中、桜南小、並木小
吾妻学園	吾妻中、吾妻小
荃崎学園	荃崎中、荃崎第二小、荃崎第三小
高崎学園	高崎中、荃崎第一小
なないろ 虹色学園	研究学園中、研究学園小
すいき 翠輝学園	みどりの南中、谷田部南小、みどりの南小
春日学園（施設一体型）	春日学園義務教育
秀峰筑波（施設一体型）	秀峰筑波義務教育
学園の森（施設一体型）	学園の森義務教育
みどりの学園（施設一体型）	みどりの学園義務教育

幼稚園園区

幼稚園名	通園区域	
大穂幼稚園	大曽根小学校、前野小学校及び要小学校の通学区域	
上郷幼稚園	吉沼小学校、沼崎小学校、今鹿島小学校及び上郷小学校の通学区域	
谷田部幼稚園	谷田部小学校、谷田部南小学校、柳橋小学校、みどりの学園義務教育学校及びみどりの南小学校の通学区域	
島名幼稚園	真瀬小学校、島名小学校及び香取台小学校の通学区域	
手代木南幼稚園	3歳児及び3歳児から入園している者	手代木南小学校、松代小学校及び葛城小学校の通学区域
	上記以外の者	手代木南小学校の通学区域
二の宮幼稚園	小野川小学校及び二の宮小学校の通学区域	
桜幼稚園	栄小学校、九重小学校及び栗原小学校の通学区域	
竹園東幼稚園	竹園東小学校の通学区域	
吾妻幼稚園	吾妻小学校の通学区域	
桜南幼稚園	桜南小学校及び並木小学校の通学区域	
竹園西幼稚園	竹園西小学校の通学区域	
筑波幼稚園	秀峰筑波義務教育学校の通学区域	
東幼稚園	東小学校の通学区域	
松代幼稚園	葛城小学校、松代小学校、春日学園義務教育学校、学園の森義務教育学校及び研究学園小学校の通学区域	
荳崎幼稚園	荳崎第一小学校、荳崎第二小学校及び荳崎第三小学校の通学区域	

幼稚園区図

2024 年 5 月現在



(2) 指定学校変更可能区域

つくば市では、教育委員会で指定した学校より距離が近く、通学の安全性も確保できること等の理由から、指定学校変更可能区域を次表のとおり設定しています。

該当区域	指定学校		変更可能学校	
	小学校	中学校	小学校	中学校
今鹿島（前木）	今鹿島小	豊里中	沼崎小	
梅園 1 丁目・2 丁目	東小	谷田部東中	並木小	並木中
大砂	吉沼小	大穂中	今鹿島小	豊里中
学園の森 3 丁目 （1～13 番地、32～50 番地）	学園の森	学園の森	春日学園	春日学園
学園の森 3 丁目（14～31 番地）	春日学園	春日学園	学園の森	学園の森
春日 1 丁目	春日学園	春日学園	吾妻小	吾妻中
吉瀬（上広岡との境界線）	栄小	桜中	桜南小	並木中
高野（一本松、豊里中付近）	沼崎小	豊里中	今鹿島小	
島	葛城小	手代木中	松代小	
島名（行政区みずほ団地）	島名小	高山中	谷田部小	谷田部中
西岡（新生区会を除く）	葛城小	手代木中	松代小	
二の宮 1 丁目	二の宮小	谷田部東中	竹園西小	竹園東中
花室（花園以西）	竹園東小	竹園東中	九重小	桜中
花園	竹園東小	竹園東中	九重小	桜中
西栗山	みどりの南小	みどりの南中	みどりの学園 谷田部南小	みどりの学園
中野	みどりの南小	みどりの南中	みどりの学園 谷田部南小	みどりの学園

みどりの南 1 番地から 3 番地及び 7 番地から 12 番地	みどりの南小	みどりの南中	みどりの学園 谷田部南小	みどりの学園
みどりの南上記以外の 番地	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
片田	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
飯田	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
根崎	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
みどりの東	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	

3 章 計画見直しに当たって考慮すべき事項

1．つくば市が目指す教育

本市では令和2年(2020年)3月に、つくば市の教育の根幹となる『つくば市教育大綱』を策定しました。現代は、グローバル化や社会の多様化の進展、AI等の新たな技術の発達、環境問題等の地球規模の課題等により、将来の予測が困難な時代となっています。その中で、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を教育の最上位の目標とし、「教え」から「学び」へ、「管理」から「自己決定」へ、「認知能力の偏重」から「非認知能力の再認識」へ、といった教育における考え方の転換を行っていくことを目指しています。

また、その目標の達成に向けて、令和3年(2021年)3月に『第3期つくば市教育振興基本計画』を策定し、夢に向かってよりよい未来をひらく学びの実現のため、各種教育施策を推進しています。

2．人口の動向

つくば市の人口は年々増加していますが、令和17年(2035年)から令和22年(2040年)頃に最も多くなり、その後は減少に転じる見込みとなっています。なお、0歳から14歳までの年少人口については、現在がおおむねピークであり、今後減少に転じる見込みとなっています。

また、つくば駅周辺やつくばエクスプレス沿線開発地域等においては人口が増加していますが、それ以外の地域では横ばい又は減少となっており、各地区の現状に応じた対応が必要となります。

3．国等で示されている基準

学校規模については、法令上、学級数により設定されており、小学校・中学校はともに12学級以上18学級以下、義務教育学校は18学級以上27学級以下を標準としています。ただし、この標準は、地域の実態その他により特別な事情のあるときはこの限りではないという、弾力的なものとなっています¹。

また、茨城県教育委員会が示している小学校・中学校の適正規模の基準としては、小学校は12学級以上、中学校は9学級以上が望ましいとしています²。

なお、文部科学省では、従来から25学級以上の学校を大規模校、31学級以上の学校を過大規模校としています³。

通学距離については、小学校ではおおむね4キロメートル以内、中学校及び義務教育学校ではおおむね6キロメートル以内という基準を、公立小・中学校の施設費の国庫負担対象として適正な規模としています⁴。

1 学校教育法施行規則第41条、第79条、第79条の3

- 2 平成 20 年 4 月 茨城県教育委員会『公立小・中学校の適正規模について(指針)』から
- 3 平成 27 年 1 月 27 日 文部科学省『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き』から
- 4 義務教育諸学校の施設費の国庫負担等に関する法律施行令 第 4 条第 1 項第 2 号

4．地域の実情に応じた学校等の配置

市内には幼稚園 15 園、小学校 32 校、中学校 14 校、義務教育学校 4 校があります。これらは教育のための施設であるだけでなく、それぞれ地域コミュニティの核としての機能も有しています。

一方で、市内の学校等は合併以前の旧町村時代に建設され、現在も当時の通学区域を引き継いでいるものが多くあります。そのため、一部の地域においては必ずしも現在のつくば市の実態にあった学区となっていないこともあります。

5．近年の新設校建設の状況

本市では、主に人口が急増しているつくばエクスプレス沿線開発地区において、新設校の建設を進めてきました。

平成 24 年度(2012 年度)に春日義務教育学校(開校時は春日小学校、春日中学校)、平成 30 年度(2018 年度)に秀峰筑波義務教育学校、学園の森義務教育学校、みどりの学園義務教育学校、令和 5 年度(2023 年度)に香取台小学校、研究学園小学校、研究学園中学校、令和 6 年度(2024 年度)にみどりの南小学校、みどりの南中学校が開校しました。また、令和 8 年度(2026 年度)に(仮称)中根・金田台地区小学校の開校を予定しています。

6．大規模校・小規模校それぞれの良さを生かす取り組み

大規模校については、教室数の確保やインターネット環境の増設などのハード面での整備を行うとともに、教員の加配や会計年度任用職員の配置、縦割り班による清掃や行事を通じた異学年交流機会の創出等を行っています。多様なバックグラウンドや様々な視点を持つ子どもたちが自然に触れ合うことができるといった大規模校の強みを発揮できるような取り組みを進めています。

小規模校については、市内の小規模校 5 校で、特色ある教育活動の研究を行う「小規模校プロジェクト」を実施しています。異学年交流や対話活動を盛んに行い、子ども達が人とつながることのよさを実感しながら、のびのびと学べる環境の整備や、外部人材を活用しながら、自分の興味に沿って学びを深められるような取り組みを進めています。

大規模校・小規模校それぞれに、様々な要因による良さや課題がある中で、市内の各学校において、その良さをどういかしていくか、課題をどのように解決していくか、全教職員で協議し、子どもたちにとって、より良い学びにつながるよう、工夫をして教育を行っています。

7．つくば市学校施設長寿命化計画との連携・整合

本市における学校施設の今後の具体的な対応方針や長寿命化の実施計画を定める計画として、令和3年(2021年)3月に『つくば市学校施設長寿命化計画』を策定しました。

学校施設の規模や配置計画等の方針について、本計画と適宜整合を図っていくものとしています。

8．公立幼稚園への市民ニーズとその対応

つくば市内における就学前年齢の幼児数は増加していますが、公立幼稚園全体の入園幼児数は減少しています。

本市が令和5年度に実施した「つくば市子育てアンケート」の結果によると、公立幼稚園に求められるものとして、3年保育や平日の延長保育の実施などが挙げられています。令和4年度(2022年度)から手代木南幼稚園で、令和5年度(2023年度)から荃崎幼稚園で3歳児保育を実施していますが、他の幼稚園での3歳児保育の実施や預かり保育の実施については、教職員の配置等の課題があります。

4 章 今期学校等適正配置(指針)における基本的な考え方

本計画の見直しに当たっては、「2 章 つくば市及びつくば市の学校等の現状について」及び「3 章 計画見直しに当たって考慮すべき事項」を踏まえた上で、以下の点に十分配慮しながら検討を行います。

1．学校等の標準規模

一般的に、一定の集団規模の学校をバランスよく配置することには、「児童生徒の教育環境の充実」「学校運営の円滑化」「教育予算の効率化」等のメリットがあるとされています。

国が示す基準では、小学校・中学校はともに 12 学級以上 18 学級以下、義務教育学校は 18 学級以上 27 学級以下を標準としており、茨城県教育委員会においては、小学校は 12 学級以上、中学校は 9 学級以上が望ましいとしています。

学校規模については、国と県の考え方に関ありますが、本市においては、よりよい教育活動の活性化を図るため、小学校においては「学級数 12～24 学級（学年 2～4 学級）」、中学校においては「学級数 12～18 学級（学年 4～6 学級）」となる学校を『標準規模校』とします。義務教育学校においては、教科の専門性を生かした学習指導、児童生徒へのきめ細やかな対応の観点から「学級数 18～45 学級（学年 2～5 学級）」となる学校を『標準規模校』とします。なお、学級数が標準規模校に満たない学校を『小規模校』、学級数が標準規模を超える学校を『大規模校』とします。

ただし、学校規模の標準については法令上も「特別な事情があるときはこの限りではない」という弾力的なものとなっており、地域の実情や将来的な児童生徒数推計等により、標準規模校以外を許容しないものではありません。

しかしながら、小規模校の中でも、複式学級が発生する規模の学校については、小規模校における課題や保護者の不安等が大きくなることが想定されるため、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、課題の解消・緩和策を積極的に行っていくこととします。

なお、幼稚園については、幼稚園設置基準において 1 学級の幼児数は 35 人以下を原則としています。本市では 1 学級の幼児数を、満 3 歳の幼児の学級にあっては 18 人以下、満 4 歳及び満 5 歳の幼児の学級にあっては 30 人以下と定めて運用しており、その定員をおおむね充足する状態を標準の規模とします。

2．標準の通学距離

学校の配置に当たっては、児童生徒の通学条件を考慮することが必要です。

国では、公立小・中学校の通学距離について、小学校でおおむね４キロメートル以内、中学校ではおおむね６キロメートル以内という基準を、公立小・中学校の施設費の国庫負担対象となる学校統合の条件として定めていることから、通学条件を通学距離によって捉えることが一般的となっています。

本市においても、それに準拠し、小学校でおおむね４キロメートル以内、中学校ではおおむね６キロメートル以内を標準の通学距離とします。ただし、道路状況等の通学路の安全性や交通機関等の利用可能性など、様々な地域の状況に留意します。

なお、幼稚園については、現状においても、通園バスを運行し、複数の小学校区を合わせて園区としているものが多いことから、通園距離の標準は設けません。

３．地域特性やニーズへの配慮及び地域の合意形成

学校等は幼児及び児童生徒の教育を主な目的とする施設ですが、地域住民から見た学校は、地域社会の将来を担う人材を育てる中核的な場所であるとともに、地域コミュニティの核として、防災、地域の交流の場など様々な機能も有しています。

また、子ども達に求められる資質や能力は、多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれるものであり、学校のみで育成できるものではありません。加えて、近年の社会の変化に伴い、学校等に求められるニーズも多様化・複雑化しています。学校・家庭・地域・行政等がそれぞれの役割を果たし、コミュニケーションを図りながら補完し支えあっていく必要があります。

そのため、学校配置の適正化を検討する上では、保護者や地域住民等と、教育上の課題やまちづくりも含めた将来的なビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ていくことが最も重要になってきます。

5 章 学校別の将来推計

将来の適正配置を検討するにあたり、予め学校別の児童・生徒数の将来推計を行います。
将来推計は、「推移グラフ及び表」を用いたものと、「推移図」で示したものに整理します。
推移グラフ及び表は各学校別にパターン化して記載します。

推移グラフ及び表の記載内容の理解を図ってもらうために、最初にこれらの「構成と概要」の説明を行います。

1. 構成と概要

学校別に次の内容を記載しており事例を挙げて説明します。

- (1) 基本情報
- (2) 児童生徒・学級数の「推移グラフ」
- (3) 児童生徒・学級数の「推移表」

(1) 基本情報

学校別の基本情報は、次の事例に示すように から まであります。それぞれの概要を下記に記述します。

■ 基本情報の事例（大曽根小の場合を例示）

所在地	大曽根 2917	R 6 年度児童数	538	R 6 年度最大保有普通教室数	28
指定学校変更制度	なし	R 6 年度学級数	普 18 特 6	R 6 年度保有特別支援教室数	2
中学校区	大穂	公務員宿舍関連	-	最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通 19
隣接学区	吾妻・要・前野・ 栗原・秀峰筑波	T X 関連	-	特支	特支教室 2
				普通教室転用	2
				不足教室数	-

【所在地】学校所在地の住所

【指定学校変更制度】指定学校変更制度対象校の場合は変更先学区

【中学校区（小学校）、小学校区（中学校）】小学校は中学校区、中学校は小学校区について記載

【隣接学区（学園）】隣接している学区名、学園名

【R 6 年度児童・生徒数】R 6.5.1 特別支援教室在籍者を含む児童・生徒の総数

【R 6 年度学級数】R 6.5.1 現在の普通学級と特別支援学級の数

学級規模については、小学校区の標準規模校を「学級数 12～24 学級（学年 2～4 学級）」、中学校の標準規模校を「学級数 12～18 学級（学年 4～6 学級）」また、義務教育学校の標準規模校を「学級数 18～45 学級（学年 2～5 学級）」とする

【公務員宿舍関連】学区内に公務員宿舍廃止の対象地を含む場合に地区名を記載

【TX 関連】学区内につくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業地を含む場合に、地区名を記載

【R 6 年度最大保有普通教室数】R 6 年度の普通教室と普通教室に転用可能な教室の総数

【R 6 年度保有特別支援教室数】R 6 年度の特別支援教室専用として設置している教室の総数

【最大時使用教室数・普通】最大使用時に必要な普通教室数

【最大時使用教室数・特別支援】最大使用時に特別支援教室専用として使用する教室の総数

【最大時使用教室数・特別支援（普通教室転用）】最大使用時に特別支援教室専用として設置している教室が足りず普通教室を転用する教室数（転用時は普通教室1教室を特別支援教室2教室として利用）

【不足教室数】最大使用時の普通教室数と特別支援教室専用として転用する普通教室が【R6年度最大保有普通教室数】を超える場合にその数を記載

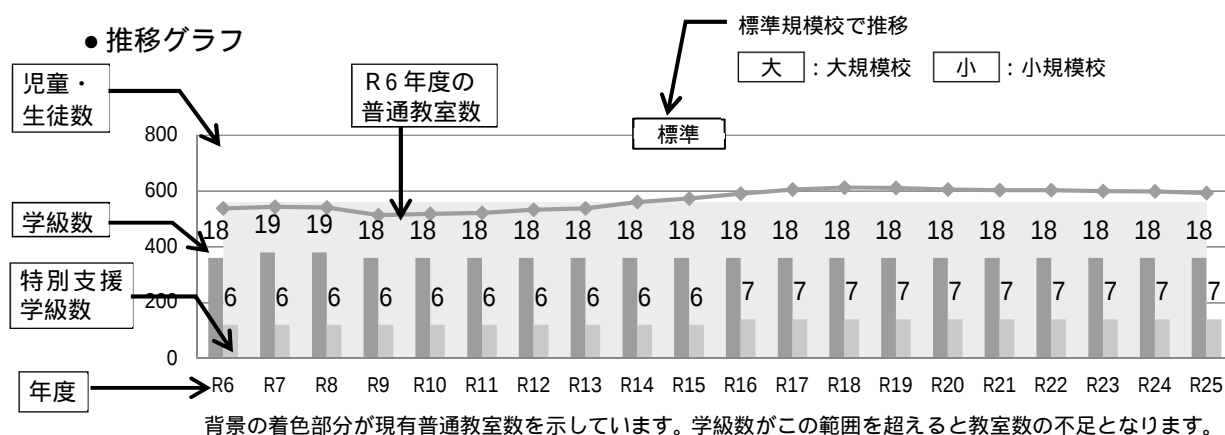
(2) 児童生徒・学級数の推移グラフ及び表

将来の児童生徒・学級数の推移を次の事例のようにグラフと表で示しています。

■ 児童生徒・学級数の推移グラフ及び表の事例（大曾根小の場合）

「推移グラフ」は、本計画の推計による1年毎の全校児童・生徒数及び学級数を示しています。

「推移表」は、本計画の推計による5年毎の学年別児童・生徒数及び学級数を示しています。



● 推移表

年度 学年	R6年度		R10年度		R15年度		R20年度		R25年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	77	3	86	3	101	3	100	3	96	3
2年	80	3	85	3	104	3	102	3	102	3
3年	77	2	80	3	103	3	101	3	97	3
4年	116	4	97	3	94	3	102	3	101	3
5年	90	3	85	3	87	3	101	3	98	3
6年	98	3	86	3	85	3	100	3	99	3
計	538	18	519	18	574	18	606	18	593	18

(3) 学級数の算出方法

今回の見直しにあたり各学校の学級数は次の基準により算出しています。

【令和6年度】

- ・小学校1年生～5年生は35人学級とした。
- ・小学校6年生及び中学生は茨城県学級編制弾力化の基準を適用した。（別表参照）

【令和7年度以降】

- ・小学生は35人学級とした。
- ・中学生は茨城県学級編制弾力化の基準を適用した。（別表参照）

■ 学級編制弾力化の早見表

在籍児童・生徒数 (人)	学級編制の弾力化 (弾力化後の学級数)	標準学級数 (40 人編制)
1 ～ 40	1	1
41 ～ 80	2	2
81 ～ 107	3	3
108 ～ 120	4	
121 ～ 142	4	4
143 ～ 160	5	
161 ～ 177	5	5
178 ～ 200	6	

児童数及び生徒数が少ない場合は次の基準により複式学級とした。

- ・ 小学校 1 年生を含む連続した学年で 8 人以内
- ・ 小学校 1 年生を含まない連続した学年で 16 人以内
- ・ 中学校において連続した学年で 8 人以内

2. 児童・生徒数推計の方法

つくば市が実施している人口推計（コーホート要因法）を使用し、小学校区単位で男女別・各歳別の人口を推計し、各歳人口を基に児童・生徒数を推計しました。

- 令和5年(2023年)10月1日現在の住民基本台帳人口を基準として、行政区ごとに推計
- コーホート要因法では、 $t+1$ 年の人口は t 年の人口に、人口変動の3要素（出生・死亡・移動）を乗じて算出

	t 年	$t+1$ 年	$t+2$ 年	...
0 歳	$N(0 \text{ 歳 } t \text{ 年})$	$N(0 \text{ 歳 } t+1 \text{ 年})$	$N(0 \text{ 歳 } t+2 \text{ 年})$	...
1 歳	$N(1 \text{ 歳 } t \text{ 年})$	$N(1 \text{ 歳 } t+1 \text{ 年})$	$N(1 \text{ 歳 } t+2 \text{ 年})$	...
2 歳	$N(2 \text{ 歳 } t \text{ 年})$	$N(2 \text{ 歳 } t+1 \text{ 年})$	$N(2 \text{ 歳 } t+2 \text{ 年})$	...
...	...	...	...	...

$$N(1 \text{ 歳 } t+1 \text{ 年}) = N(0 \text{ 歳 } t \text{ 年}) \times (\text{生残率} + \text{純移動率})$$

$$N(0 \text{ 歳 } t+1 \text{ 年}) = 15 \sim 49 \text{ 歳の女性人口}(t+1 \text{ 年}) \times \text{子ども女性比}$$

- つくば市の現状を反映するため、移動率について行政区ごとに転入・転出に分けた計算、子ども女性比の行政区ごとの算出及び地域的な補正、TX 沿線開発地区の移動をビルドアップ曲線への近似で算出、新築マンションの情報反映など、市独自の考え方を取り入れた推計を実施

ただし、新築マンションの計画等が決定していないものについては未反映なため、今後の動向を注視し、適宜推計の見直しを行う必要がある。

- 算出した推計値から、学区ごとに、令和6年度現在の児童生徒数及び各年齢の未就学児童数との差異について補正を実施
- 小学6年生から7年生(中学1年生)の移行時には、私立・県立中学受験の実績を考慮して推計
- 特別支援学級数は学校ごとに、現在の児童生徒数と特別支援学級の割合から算出して推計
- 指定学校変更可能区域による指定学校の変更について実績を考慮して推計

3. 小学校区の将来推計

(1) 小学校の推移グラフ及び表

大曽根小学校【大穂学園】

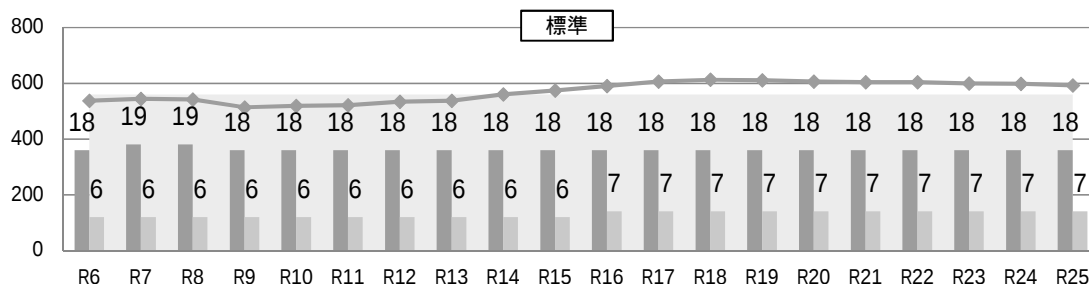
ア 基本情報

所在地	大曽根 2917
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	吾妻・要・前野・栗原・秀峰筑波

R6年度児童数	538
R6年度学級数	普 18 特 6
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			28
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		19
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	2
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6年度		R10年度		R15年度		R20年度		R25年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	77	3	86	3	101	3	100	3	96	3
2年	80	3	85	3	104	3	102	3	102	3
3年	77	2	80	3	103	3	101	3	97	3
4年	116	4	97	3	94	3	102	3	101	3
5年	90	3	85	3	87	3	101	3	98	3
6年	98	3	86	3	85	3	100	3	99	3
計	538	18	519	18	574	18	606	18	593	18

前野小学校【大穂学園】

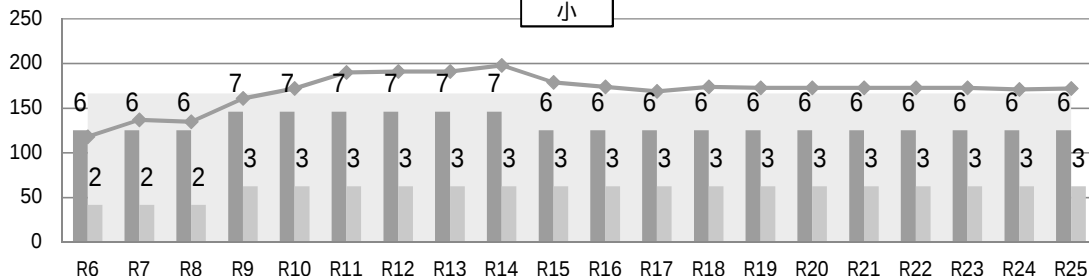
ア 基本情報

所在地	前野 1367
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	要・沼崎・今鹿島・吉沼・大曽根・秀峰筑波

R6年度児童数	118
R6年度学級数	普 6 特 2
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			8
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使 用教室数 (R9 年度)	普通	7	
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	1
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6年度		R10年度		R15年度		R20年度		R25年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	28	1	32	1	28	1	28	1	28	1
2年	14	1	48	2	28	1	28	1	29	1
3年	22	1	20	1	28	1	29	1	28	1
4年	20	1	28	1	29	1	29	1	29	1
5年	22	1	29	1	32	1	30	1	29	1
6年	12	1	15	1	34	1	29	1	29	1
計	118	6	172	7	179	6	173	6	172	6

要小学校【大穂学園】

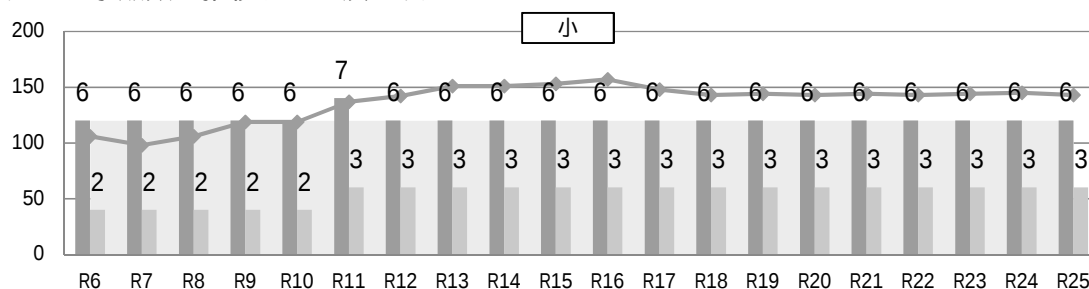
ア 基本情報

所在地	要 449-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	沼崎・前野・大曾根・吾妻・春日学園・学園の森

R6 年度児童数	106
R6 年度学級数	普 6 特 2
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			6
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使 用教室数 (R11 年度)	普通	7	
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	1
不足教室数		(7+1)-6=2 教室	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	25	1	21	1	27	1	26	1	26	1
2 年	15	1	24	1	24	1	24	1	23	1
3 年	17	1	21	1	22	1	22	1	23	1
4 年	12	1	13	1	29	1	24	1	24	1
5 年	16	1	24	1	33	1	24	1	25	1
6 年	21	1	16	1	18	1	23	1	22	1
計	106	6	119	6	153	6	143	6	143	6

吉沼小学校【大穂学園】

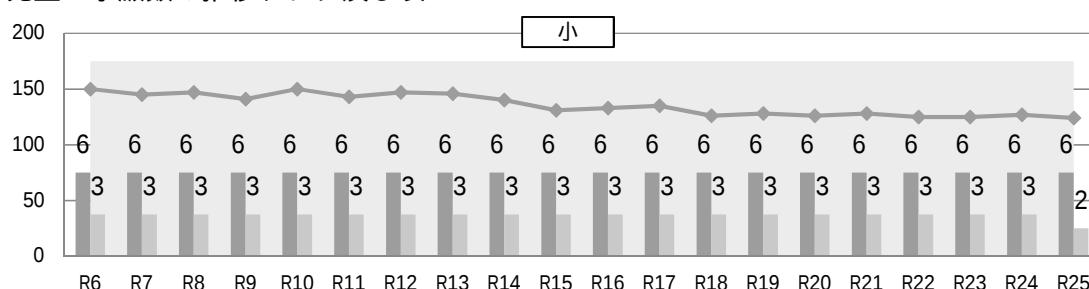
ア 基本情報

所在地	吉沼 1010
指定学校変更制度	今鹿島
中学校区	大穂
隣接学区	前野・今鹿島・上郷・秀峰筑波

R6 年度児童数	150
R6 年度学級数	普 6 特 3
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			14
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	2
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	20	1	18	1	19	1	19	1	18	1
2 年	27	1	26	1	21	1	21	1	21	1
3 年	12	1	29	1	20	1	20	1	20	1
4 年	29	1	24	1	29	1	22	1	21	1
5 年	28	1	24	1	21	1	22	1	22	1
6 年	34	1	29	1	21	1	22	1	22	1
計	150	6	150	6	131	6	126	6	124	6

沼崎小学校【豊里学園】

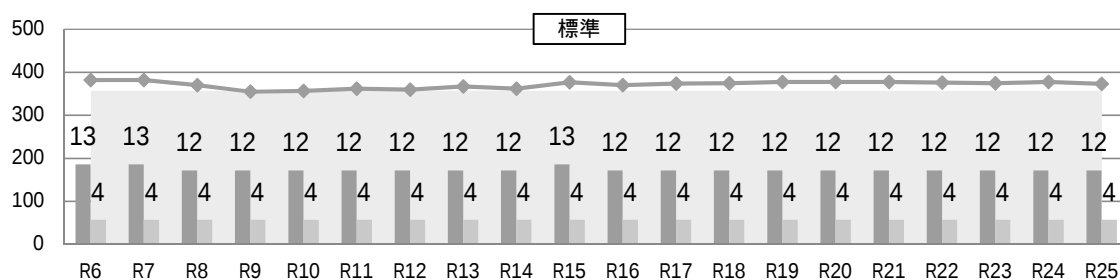
ア 基本情報

所在地	沼崎 1650
指定学校変更制度	今鹿島
中学校区	豊里
隣接学区	上郷・島名・要・前野・ 今鹿島・研究学園・学 園の森

R6 年度児童数	382
R6 年度学級数	普 13 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			25
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通	13	
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	1
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		57	2	65	2	62	2	59	2	60	2
2 年		51	2	51	2	61	2	66	2	62	2
3 年		64	2	65	2	64	2	60	2	64	2
4 年		67	2	60	2	59	2	65	2	60	2
5 年		78	3	59	2	60	2	62	2	65	2
6 年		65	2	57	2	71	3	66	2	62	2
計		382	13	357	12	377	13	378	12	373	12

今鹿島小学校【豊里学園】

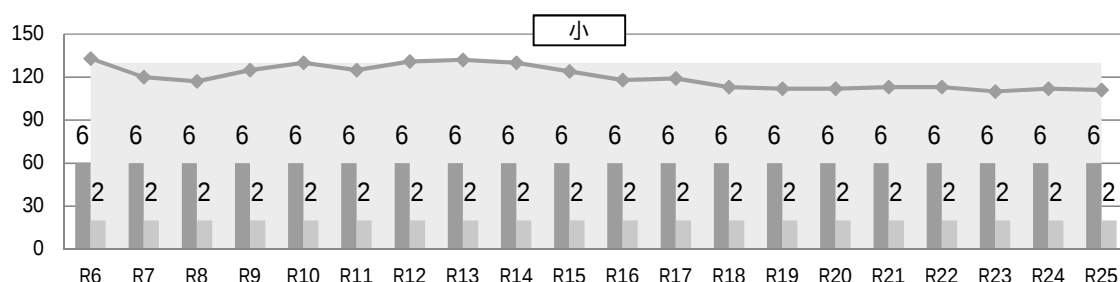
ア 基本情報

所在地	今鹿島 1762
指定学校変更制度	沼崎
中学校区	豊里
隣接学区	上郷・沼崎・前野・吉 沼

R6 年度児童数	133
R6 年度学級数	普 6 特 2
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			13
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	1
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		15	1	25	1	18	1	18	1	17	1
2 年		22	1	26	1	18	1	18	1	18	1
3 年		20	1	20	1	19	1	18	1	18	1
4 年		19	1	18	1	25	1	19	1	19	1
5 年		22	1	17	1	19	1	19	1	19	1
6 年		35	1	24	1	25	1	20	1	20	1
計		133	6	130	6	124	6	112	6	111	6

上郷小学校【豊里学園】

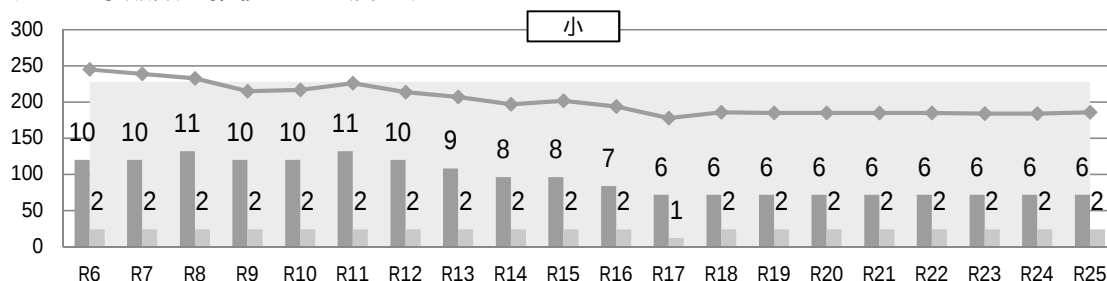
ア 基本情報

所在地	上郷 2499
指定学校変更制度	なし
中学校区	豊里
隣接学区	真瀬・島名・沼崎・今鹿島・吉沼

R6 年度児童数	245
R6 年度学級数	普 10 特 2
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使 用教室数 (R8 年度)	普通		11
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		37	1	39	2	31	1	29	1	31	1
2 年		30	1	28	1	30	1	30	1	30	1
3 年		39	2	41	2	31	1	30	1	29	1
4 年		46	2	38	2	23	1	31	1	31	1
5 年		47	2	38	2	44	2	32	1	33	1
6 年		46	2	33	1	43	2	33	1	32	1
計		245	10	217	10	202	8	185	6	186	6

谷田部小学校【輝翔学園】

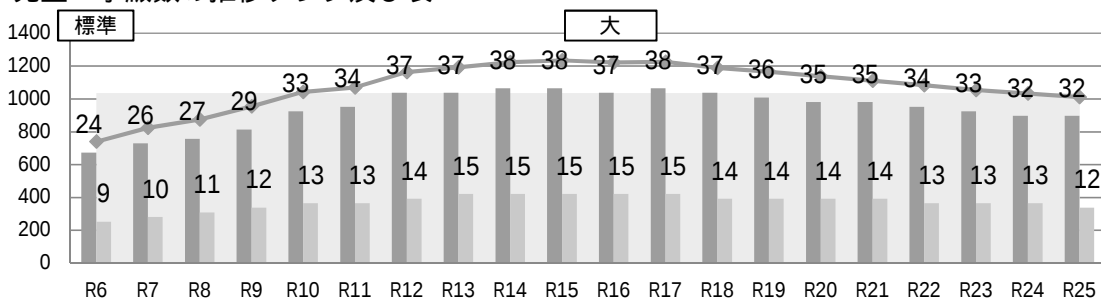
ア 基本情報

所在地	谷田部 2938
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部
隣接学区	真瀬・島名・香取台・柳橋・手代木南・小野川・荻崎第一・谷田部南・みどりの南・みどりの学園

R6 年度児童数	740
R6 年度学級数	普 24 特 9
公務員宿舎関連	-
T X 関連	島名・福田坪地区（陣場）

R 6 年度最大保有普通教室数			37
R 6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使 用教室数 (R14 年度)	普通		38
	特支	特支教室	5
		普通教室転用	5
不足教室数			(38+5) - 37 = 6 教室

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		113	4	199	6	195	6	174	5	155	5
2 年		155	5	182	6	203	6	180	6	161	5
3 年		119	4	174	5	207	6	185	6	166	5
4 年		112	4	178	6	221	7	195	6	170	5
5 年		134	4	132	4	195	6	201	6	177	6
6 年		107	3	178	6	214	7	204	6	183	6
計		740	24	1043	33	1235	38	1139	35	1012	32

柳橋小学校【輝翔学園】

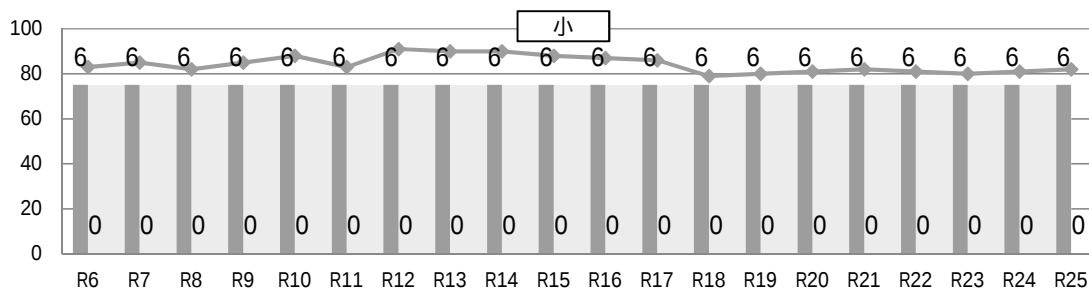
ア 基本情報

所在地	柳橋 360
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部
隣接学区	谷田部・香取台・島名・研究学園・葛城・手代木南

R6 年度児童数	83
R6 年度学級数	普 6
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			6
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	10	1	15	1	14	1	14	1	13	1
2 年	17	1	14	1	12	1	13	1	13	1
3 年	12	1	14	1	12	1	12	1	13	1
4 年	12	1	14	1	20	1	13	1	12	1
5 年	16	1	12	1	13	1	13	1	15	1
6 年	16	1	19	1	17	1	16	1	16	1
計	83	6	88	6	88	6	81	6	82	6

真瀬小学校【高山学園】

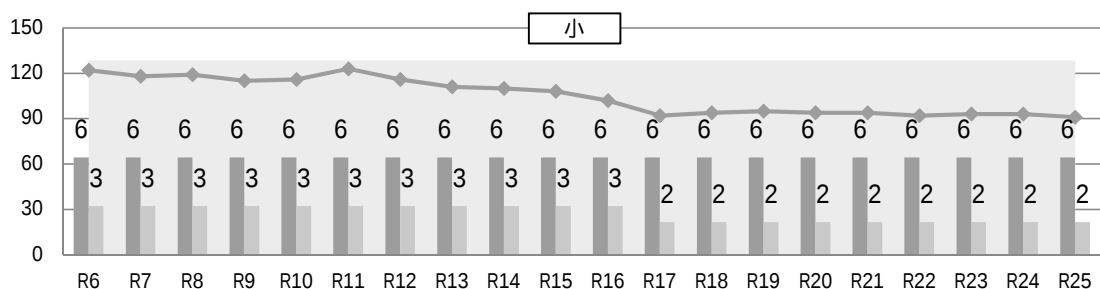
ア 基本情報

所在地	真瀬 2103
指定学校変更制度	なし
中学校区	高山
隣接学区	谷田部・島名・上郷・みどりの学園

R6 年度児童数	122
R6 年度学級数	普 6 特 3
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			12
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	20	1	20	1	16	1	15	1	14	1
2 年	15	1	20	1	15	1	15	1	15	1
3 年	19	1	18	1	16	1	16	1	15	1
4 年	22	1	20	1	15	1	15	1	15	1
5 年	18	1	22	1	25	1	16	1	16	1
6 年	28	1	16	1	21	1	17	1	16	1
計	122	6	116	6	108	6	94	6	91	6

島名小学校【高山学園】

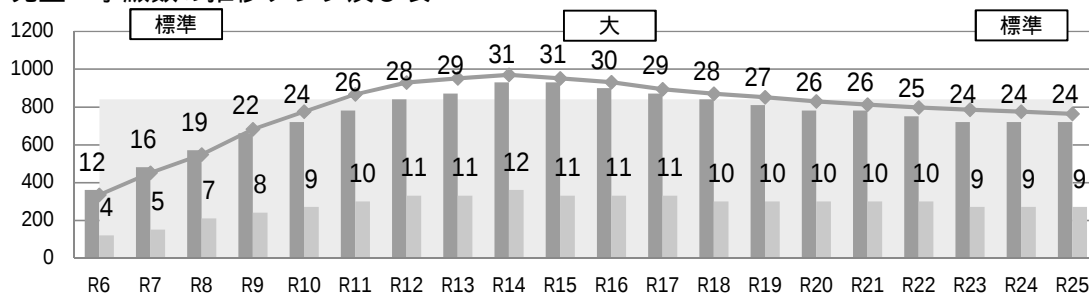
ア 基本情報

所在地	島名 537-1
指定学校変更制度	谷田部
中学校区	高山
隣接学区	谷田部・真瀬・上郷・沼崎・研究学園・柳橋・葛城・香取台

R6 年度児童数	335
R6 年度学級数	普 12 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	上河原崎・中西地区（かみかわ、高山、万博公園西）

R6 年度最大保有普通教室数	28
R6 年度保有特別支援教室数	3
最大時使用教室数 (R14 年度)	普通 31 特支 3 普通教室転用 5
不足教室数	(31+5)-28=8 教室

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	77	3	158	5	145	5	126	4	118	4
2 年	70	2	165	5	150	5	131	4	123	4
3 年	62	2	134	4	153	5	135	4	124	4
4 年	40	2	132	4	160	5	140	4	130	4
5 年	52	2	98	3	178	6	146	5	134	4
6 年	34	1	89	3	165	5	152	5	135	4
計	335	12	776	24	951	31	830	26	764	24

香取台小学校【高山学園】

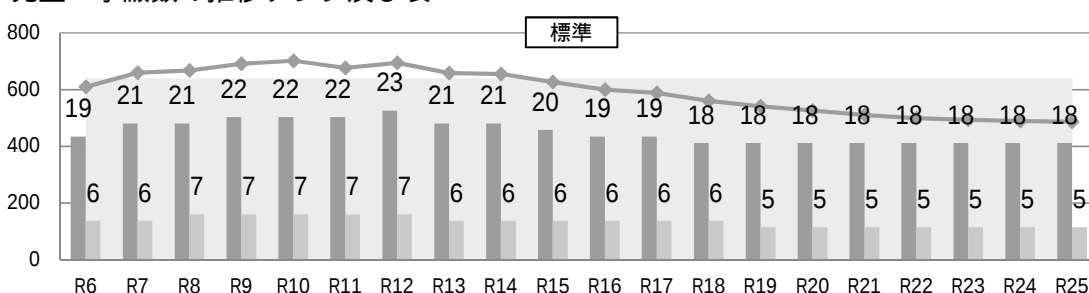
ア 基本情報

所在地	島名 1716
指定学校変更制度	なし
中学校区	高山
隣接学区	島名・柳橋・谷田部

R6 年度児童数	610
R6 年度学級数	普 19 特 6
公務員宿舎関連	-
T X 関連	島名・福田坪地区（香取台、諏訪）

R6 年度最大保有普通教室数	28
R6 年度保有特別支援教室数	4
最大時使用教室数 (R12 年度)	普通 23 特支 4 普通教室転用 2
不足教室数	-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	96	3	118	4	92	3	81	3	76	3
2 年	114	4	121	4	98	3	80	3	78	3
3 年	109	3	102	3	101	3	86	3	80	3
4 年	100	3	139	4	117	4	86	3	82	3
5 年	98	3	100	3	97	3	95	3	83	3
6 年	93	3	122	4	122	4	98	3	88	3
計	610	19	702	22	627	20	526	18	487	18

葛城小学校【光輝学園】

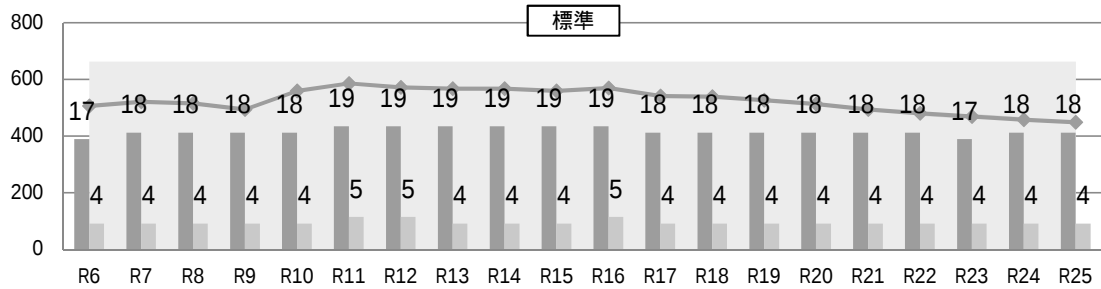
ア 基本情報

所在地	苅間 689
指定学校変更制度	松代
中学校区	手代木
隣接学区	島名・柳橋・手代木南・松代・竹園西・吾妻・春日学園・研究学園

R6 年度児童数	506
R6 年度学級数	普 17 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	葛城地区（学園南）

R6 年度最大保有普通教室数			29
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使 用教室数 (R11 年度)	普通		19
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	1
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		95	3	81	3	93	3	79	3	72	3
2 年		74	3	99	3	95	3	83	3	73	3
3 年		80	3	96	3	95	3	84	3	72	3
4 年		100	3	100	3	86	3	85	3	77	3
5 年		83	3	99	3	111	4	90	3	75	3
6 年		74	2	84	3	79	3	92	3	80	3
計		506	17	559	18	559	19	513	18	449	18

手代木南小学校【光輝学園】

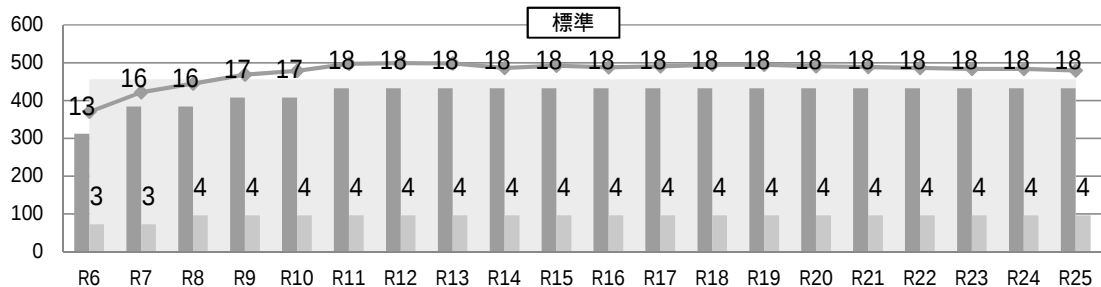
ア 基本情報

所在地	松代 4-24
指定学校変更制度	なし
中学校区	手代木
隣接学区	松代・葛城・柳橋・谷田部・小野川・二の宮・竹園西・吾妻

R6 年度児童数	370
R6 年度学級数	普 13 特 3
公務員宿舎関連	松代 4 丁目、5 丁目
T X 関連	-

R 6 年度最大保有普通教室数			19
R 6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使 用教室数 (R11 年度)	普通		18
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		71	2	84	3	79	3	76	3	76	3
2 年		57	2	75	3	82	3	80	3	77	3
3 年		75	3	93	3	83	3	80	3	79	3
4 年		51	2	85	3	77	3	84	3	81	3
5 年		67	2	76	3	82	3	84	3	83	3
6 年		49	2	66	2	89	3	87	3	84	3
計		370	13	479	17	492	18	491	18	480	18

松代小学校【光輝学園】

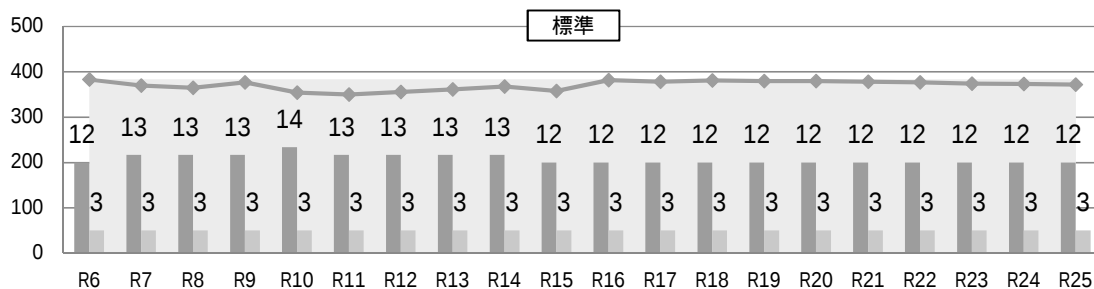
ア 基本情報

所在地	松代 3-3-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	手代木
隣接学区	手代木南・葛城

R6 年度児童数	383
R6 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			23
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使 用教室数 (R10 年度)	普通	14	
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	1
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		50	2	39	2	62	2	61	2	60	2
2 年		71	2	71	3	64	2	63	2	61	2
3 年		63	2	58	2	64	2	63	2	62	2
4 年		60	2	57	2	58	2	64	2	62	2
5 年		65	2	54	2	69	2	64	2	63	2
6 年		74	2	75	3	41	2	65	2	64	2
計		383	12	354	14	358	12	380	12	372	12

小野川小学校【洞峰学園】

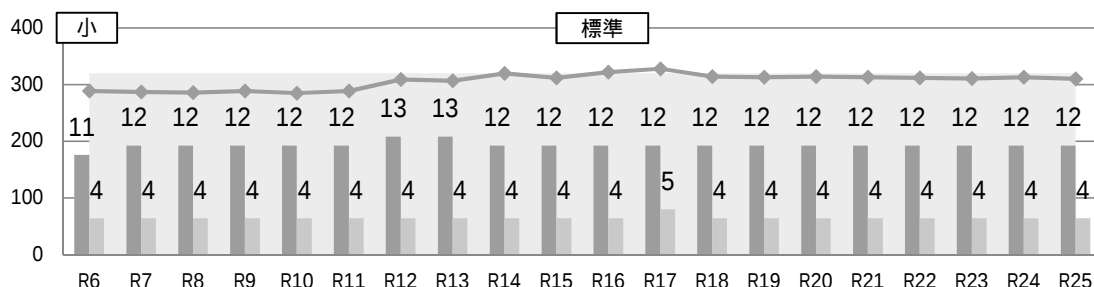
ア 基本情報

所在地	館野 731
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部東
隣接学区	谷田部・手代木南・荻崎第一・二の宮・東・桜南

R6 年度児童数	289
R6 年度学級数	普 11 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R 6 年度最大保有普通教室数			20
R 6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使 用教室数 (R12 年度)	普通		13
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	2
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		52	2	47	2	53	2	58	2	53	2
2 年		36	1	58	2	55	2	53	2	55	2
3 年		47	2	40	2	53	2	53	2	49	2
4 年		55	2	53	2	68	2	49	2	52	2
5 年		44	2	50	2	39	2	53	2	49	2
6 年		55	2	37	2	44	2	48	2	52	2
計		289	11	285	12	312	12	314	12	310	12

二の宮小学校【洞峰学園】

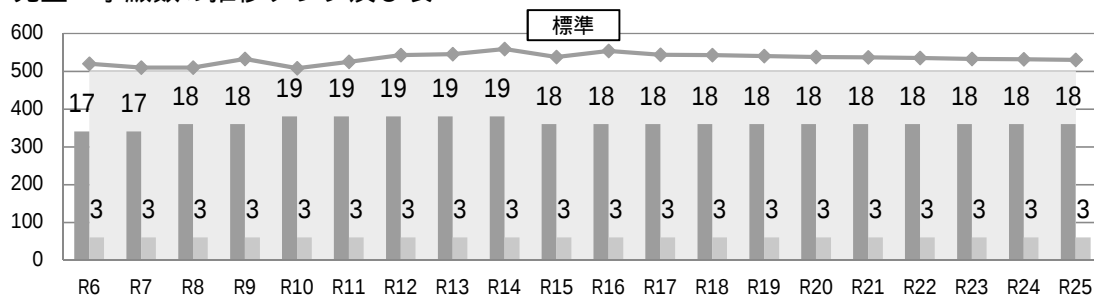
ア 基本情報

所在地	二の宮 4-11
指定学校変更制度	竹園西
中学校区	谷田部東
隣接学区	小野川・手代木南・竹園西・東

R6 年度児童数	520
R6 年度学級数	普 17 特 3
公務員宿舍関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			25
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R10 年度)	普通		19
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		65	2	72	3	88	3	85	3	85	3
2 年		75	3	107	4	88	3	88	3	86	3
3 年		94	3	78	3	91	3	89	3	87	3
4 年		88	3	91	3	92	3	91	3	89	3
5 年		85	3	74	3	102	3	91	3	91	3
6 年		113	3	86	3	77	3	94	3	92	3
計		520	17	508	19	538	18	538	18	530	18

東小学校【洞峰学園】

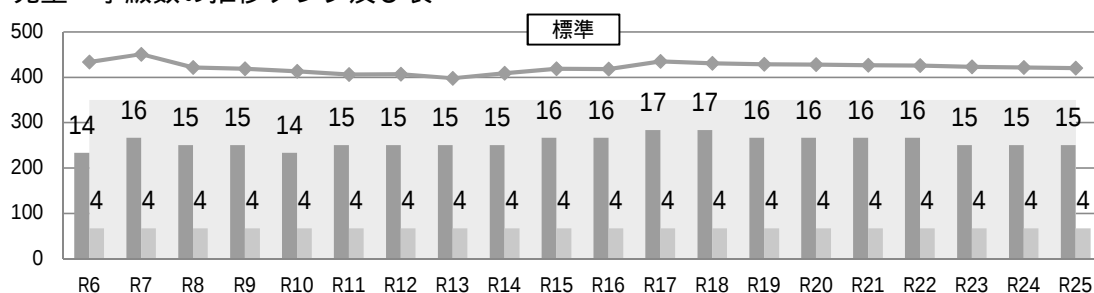
ア 基本情報

所在地	東 2-24
指定学校変更制度	並木
中学校区	谷田部東
隣接学区	小野川・二の宮・竹園西・並木・桜南

R6 年度児童数	434
R6 年度学級数	普 14 特 4
公務員宿舍関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			21
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使 用教室数 (R17 年度)	普通		17
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	2
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		77	3	69	2	70	2	69	2	68	2
2 年		60	2	62	2	71	3	70	2	68	2
3 年		75	2	59	2	72	3	71	3	70	2
4 年		67	2	82	3	75	3	72	3	71	3
5 年		87	3	76	3	56	2	72	3	71	3
6 年		68	2	65	2	75	3	74	3	72	3
計		434	14	413	14	419	16	428	16	420	15

栄小学校【桜学園】

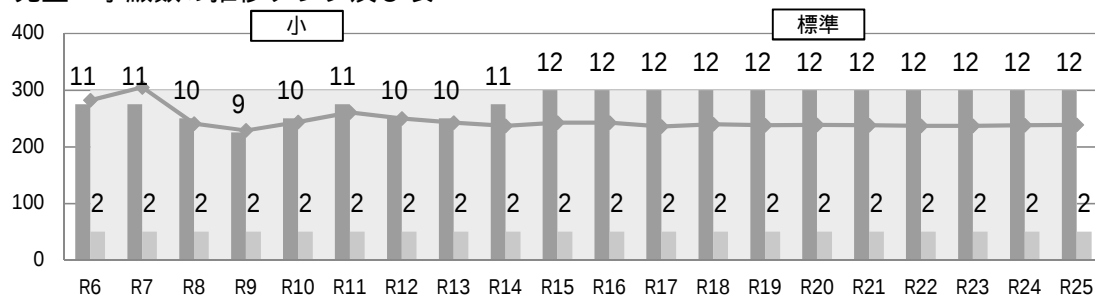
ア 基本情報

所在地	金田 54
指定学校変更制度	桜南
中学校区	桜
隣接学区	栗原・九重・桜南

R6 年度児童数	282
R6 年度学級数	普 11 特 2
公務員宿舍関連	-
T X 関連	中根・金田台 地区（さくら の森）

R6 年度最大保有普通教室数			12
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使 用教室数 (R15 年度)	普通		12
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		61	2	39	2	38	2	40	2	38	2
2 年		43	2	33	1	40	2	38	2	39	2
3 年		31	1	45	2	39	2	38	2	40	2
4 年		56	2	49	2	36	2	41	2	40	2
5 年		42	2	46	2	48	2	41	2	40	2
6 年		49	2	32	1	42	2	41	2	42	2
計		282	11	244	10	243	12	239	12	239	12

九重小学校【桜学園】

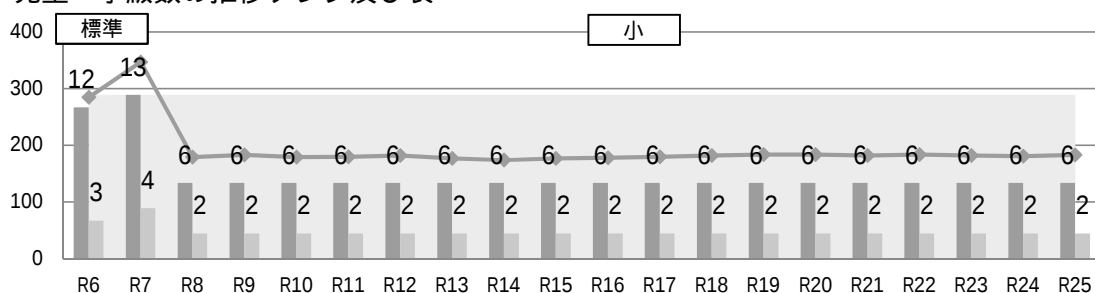
ア 基本情報

所在地	上ノ室 2126
指定学校変更制度	竹園東
中学校区	桜
隣接学区	栄・栗原・吾妻・竹園 東・並木・桜南

R6 年度児童数	285
R6 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舍関連	-
T X 関連	中根・金田台地 区（流星台）

R6 年度最大保有普通教室数			13
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		13
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		55	2	27	1	30	1	29	1	30	1
2 年		56	2	30	1	30	1	30	1	29	1
3 年		49	2	34	1	29	1	30	1	31	1
4 年		38	2	33	1	29	1	32	1	31	1
5 年		41	2	27	1	30	1	31	1	31	1
6 年		46	2	28	1	29	1	32	1	31	1
計		285	12	179	6	177	6	184	6	183	6

⑪栗原小学校【桜学園】

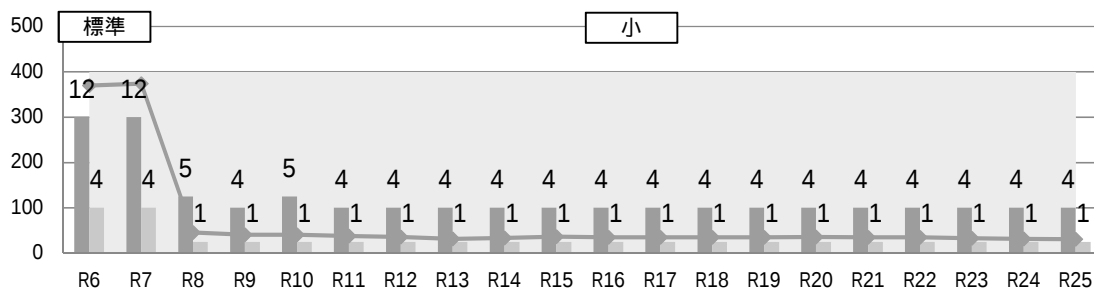
ア 基本情報

所在地	栗原 2018
指定学校変更制度	なし
中学校区	桜
隣接学区	大曽根・吾妻・九重・栄・秀峰筑波

R6 年度児童数	370
R6 年度学級数	普 12 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	中根・金田台地区（春風台）

R6 年度最大保有普通教室数	16
R6 年度保有特別支援教室数	1
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通 12 特支 1 特支教室 1 普通教室転用 2
不足教室数	-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	69	2	7	1	6	1	6	1	4	1
2 年	66	2	3	1	6	1	4	1	6	1
3 年	63	2	4		6		6		4	
4 年	56	2	9	1	6	1	6	1	6	1
5 年	61	2	9	1	5		7		4	
6 年	55	2	9	1	8	1	7	1	7	1
計	370	12	41	5	37	4	36	4	31	4

⑫(仮称)中根・金田台地区小学校【桜学園】 令和 8 年 4 月開校予定

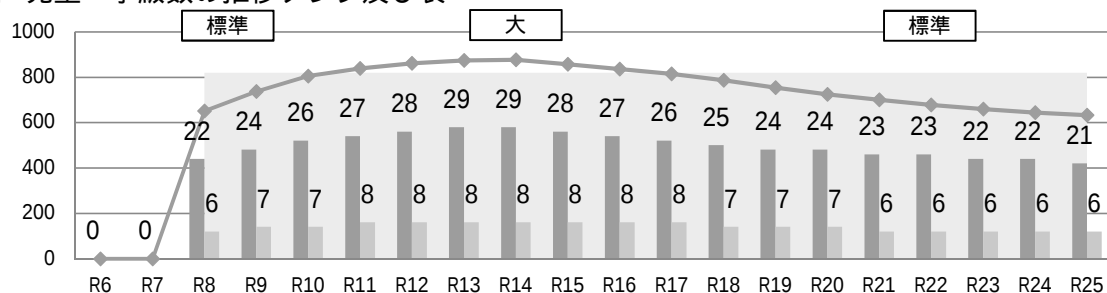
ア 基本情報

所在地	(春風台 16-1、17-1)
指定学校変更制度	-
中学校区	桜
隣接学区	栗原・栄・九重・吾妻

R6 年度児童数	-
R6 年度学級数	-
公務員宿舎関連	-
T X 関連	中根・金田台地区（春風台、桜の森、流星台）

R8 年度普通教室数	41
R8 年度特別支援教室数	6
最大時使用教室数 (R13 年度)	普通 29 特支 6 特支教室 6 普通教室転用 1
不足教室数	-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	-	-	144	5	134	4	107	4	98	3
2 年	-	-	154	5	137	4	112	4	100	3
3 年	-	-	136	4	146	5	118	4	104	3
4 年	-	-	133	4	146	5	122	4	107	4
5 年	-	-	124	4	145	5	130	4	111	4
6 年	-	-	114	4	149	5	136	4	113	4
計	-	-	805	26	857	28	725	24	633	21

②竹園東小学校【竹園学園】

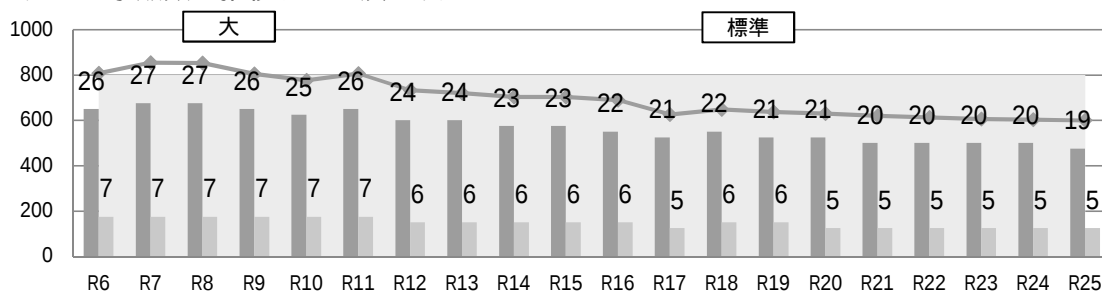
ア 基本情報

所在地	竹園 3-13
指定学校変更制度	九重
中学校区	竹園東
隣接学区	九重・並木・竹園西・吾妻

R6 年度児童数	808
R6 年度学級数	普 26 特 7
公務員宿舎関連	竹園 3 丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			32
R6 年度保有特別支援教室数			11
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		27
	特支	特支教室	11
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	151	5	123	4	103	3	97	3	92	3
2 年	118	4	113	4	108	4	99	3	96	3
3 年	139	4	129	4	112	4	103	3	99	3
4 年	150	5	129	4	86	3	107	4	101	3
5 年	124	4	160	5	169	5	111	4	104	3
6 年	126	4	123	4	126	4	113	4	108	4
計	808	26	777	25	704	23	630	21	600	19

③竹園西小学校【竹園学園】

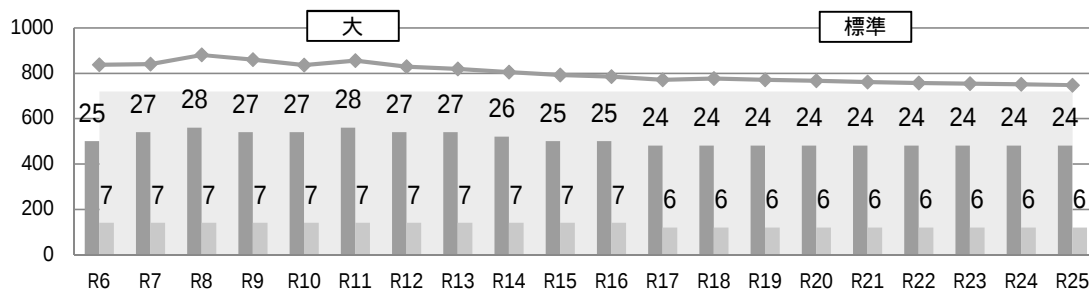
ア 基本情報

所在地	竹園 2-19-3
指定学校変更制度	なし
中学校区	竹園東
隣接学区	吾妻・竹園東・並木・東・二の宮・手代木南・葛城

R6 年度児童数	838
R6 年度学級数	普 25 特 7
公務員宿舎関連	竹園 1 丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			36
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使 用教室数 (R8 年度)	普通		28
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	3
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	143	4	133	4	126	4	122	4	119	4
2 年	119	4	140	4	130	4	124	4	122	4
3 年	159	5	147	5	133	4	127	4	124	4
4 年	167	5	141	5	121	4	130	4	126	4
5 年	112	3	150	5	145	5	131	4	128	4
6 年	138	4	125	4	138	4	133	4	129	4
計	838	25	836	27	793	25	767	24	748	24

㊤桜南小学校【桜並木学園】

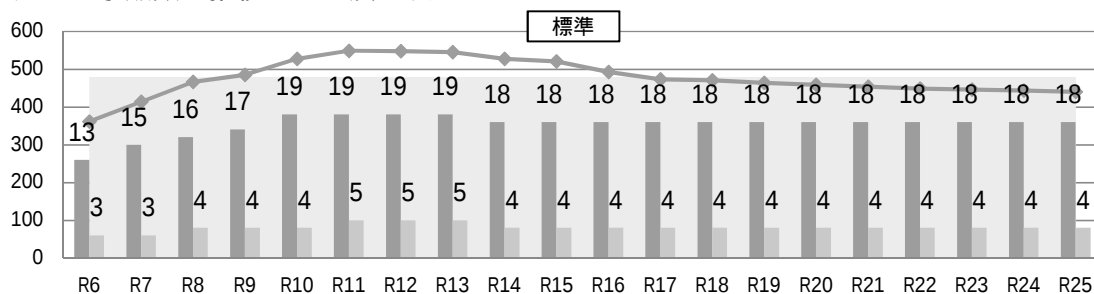
ア 基本情報

所在地	大角豆 789-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	並木
隣接学区	小野川・東・並木・九重・栄

R6年度児童数	362
R6年度学級数	普 13 特 3
公務員宿舎関連	並木3丁目、4丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			24
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R11 年度)	普通		19
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	1
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6年度		R10年度		R15年度		R20年度		R25年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		67	2	115	4	81	3	75	3	72	3
2年		72	3	89	3	83	3	76	3	75	3
3年		60	2	95	3	83	3	77	3	73	3
4年		57	2	83	3	77	3	76	3	73	3
5年		55	2	72	3	94	3	77	3	73	3
6年		51	2	74	3	103	3	78	3	74	3
計		362	13	528	19	521	18	459	18	440	18

㊦並木小学校【桜並木学園】

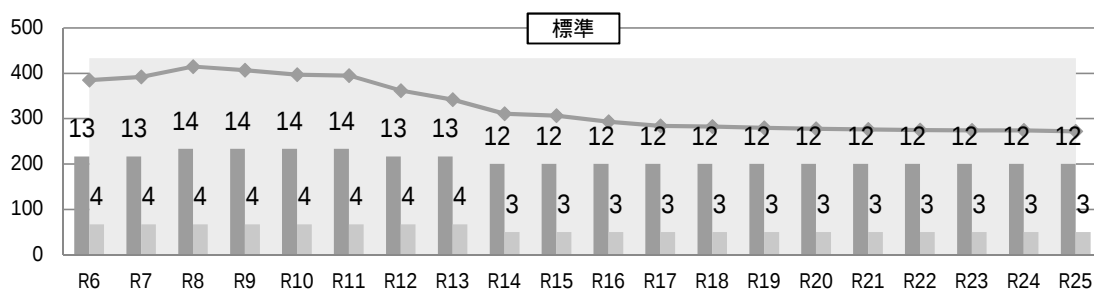
ア 基本情報

所在地	並木 2-12
指定学校変更制度	なし
中学校区	並木
隣接学区	東・竹園西・竹園東・九重・桜南

R6年度児童数	385
R6年度学級数	普 13 特 4
公務員宿舎関連	並木2丁目、4丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			26
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R8 年度)	普通		14
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	1
	不足教室数		-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6年度		R10年度		R15年度		R20年度		R25年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年		77	3	57	2	44	2	43	2	41	2
2年		54	2	54	2	47	2	45	2	45	2
3年		65	2	79	3	49	2	46	2	45	2
4年		62	2	70	2	48	2	47	2	45	2
5年		57	2	80	3	57	2	47	2	47	2
6年		70	2	57	2	62	2	50	2	49	2
計		385	13	397	14	307	12	278	12	272	12

②⑦吾妻小学校【吾妻学園】

公務員宿舎跡地の大規模な開発が見込まれているが、開発計画や建設戸数等が未定のため、児童数推計には反映していない。

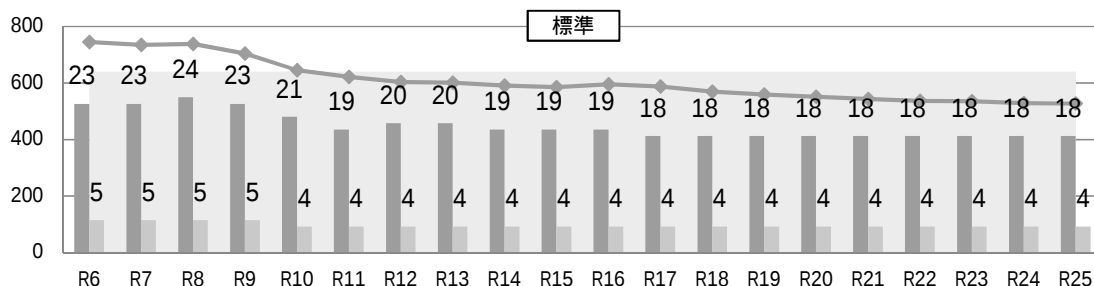
ア 基本情報

所在地	吾妻 2-16
指定学校変更制度	なし
中学校区	吾妻
隣接学区	大曽根・栗原・九重・竹園東・竹園西・手代木南・葛城・要・春日学園

R6 年度児童数	745
R6 年度学級数	普 23 特 5
公務員宿舎関連	吾妻 1 丁目～3 丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数	28
R6 年度保有特別支援教室数	10
最大時使用教室数 (R8 年度)	普通 24 特支 5 特支教室 5 普通教室転用 0
不足教室数	-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	131	4	85	3	97	3	89	3	87	3
2 年	120	4	106	4	98	3	90	3	86	3
3 年	137	4	105	3	101	3	91	3	88	3
4 年	132	4	104	3	112	4	94	3	90	3
5 年	93	3	131	4	99	3	95	3	91	3
6 年	132	4	114	4	78	3	92	3	85	3
計	745	23	645	21	585	19	551	18	527	18

②⑧荳崎第二小学校【荳崎学園】

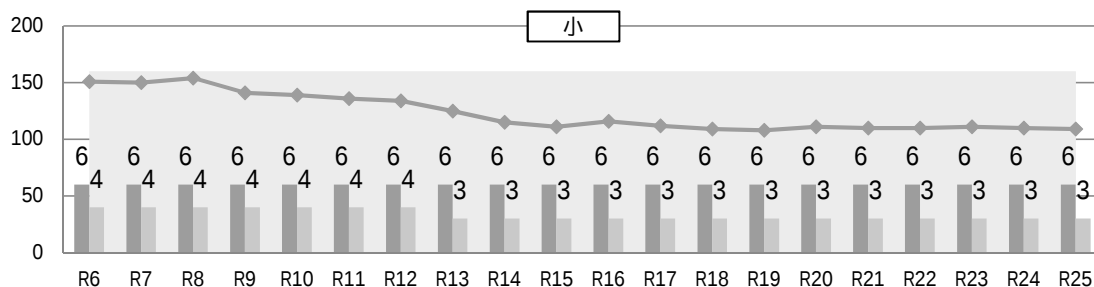
ア 基本情報

所在地	上岩崎 1076
指定学校変更制度	なし
中学校区	荳崎
隣接学区	荳崎第一・谷田部南

R6 年度児童数	151
R6 年度学級数	普 6 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数	16
R6 年度保有特別支援教室数	6
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通 6 特支 4 特支教室 4 普通教室転用 0
不足教室数	-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	21	1	16	1	16	1	19	1	16	1
2 年	24	1	21	1	18	1	17	1	18	1
3 年	20	1	28	1	18	1	19	1	19	1
4 年	33	1	27	1	20	1	18	1	18	1
5 年	22	1	23	1	21	1	20	1	18	1
6 年	31	1	24	1	18	1	18	1	20	1
計	151	6	139	6	111	6	111	6	109	6

⑳ 荳崎第三小学校【荳崎学園】

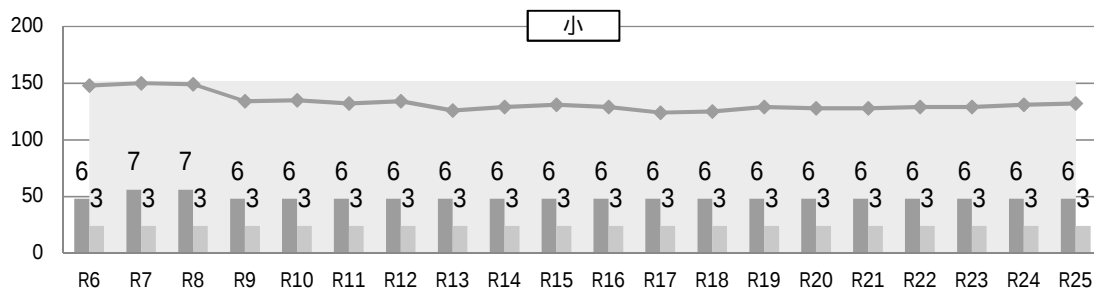
ア 基本情報

所在地	小荳 798-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	荳崎
隣接学区	荳崎第一

R6 年度児童数	148
R6 年度学級数	普 6 特 3
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		7
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		17	1	21	1	21	1	21	1	20	1
2 年		25	1	20	1	22	1	20	1	21	1
3 年		21	1	21	1	18	1	20	1	21	1
4 年		36	1	25	1	20	1	22	1	23	1
5 年		23	1	19	1	25	1	21	1	23	1
6 年		26	1	29	1	25	1	24	1	24	1
計		148	6	135	6	131	6	128	6	132	6

㉑ 荳崎第一小学校【高崎学園】

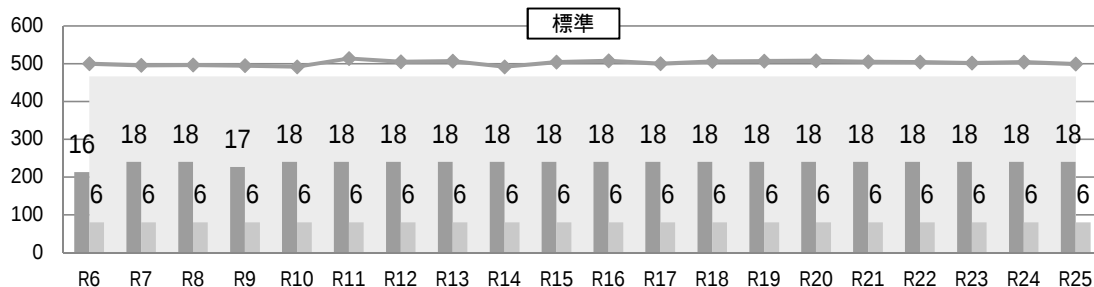
ア 基本情報

所在地	高崎 2290
指定学校変更制度	なし
中学校区	高崎
隣接学区	荳崎第二・荳崎第三・ 谷田部南・谷田部・小 野川

R6 年度児童数	500
R6 年度学級数	普 16 特 6
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			35
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		18
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	2
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		78	3	77	3	83	3	83	3	77	3
2 年		71	2	72	3	82	3	83	3	83	3
3 年		81	2	96	3	83	3	82	3	83	3
4 年		79	3	85	3	76	3	85	3	83	3
5 年		96	3	87	3	96	3	86	3	85	3
6 年		95	3	75	3	84	3	89	3	88	3
計		500	16	492	18	504	18	508	18	499	18

⑪研究学園小学校【虹色学園】

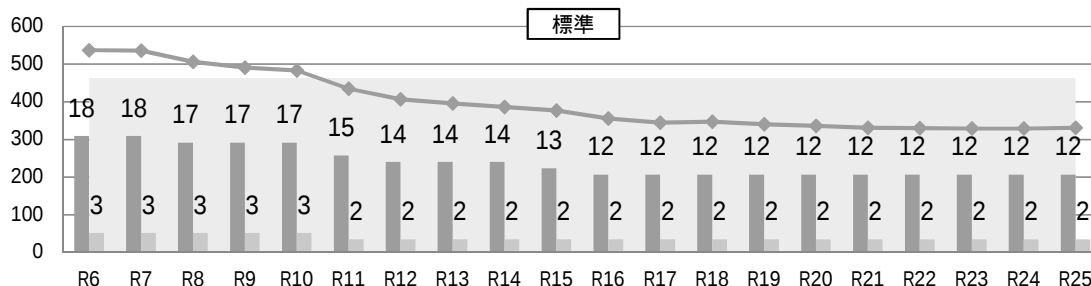
ア 基本情報

所在地	研究学園 2-26
指定学校変更制度	なし
中学校区	研究学園
隣接学区	沼崎・葛城・柳橋・島名・学園の森・春日学園

R6 年度児童数	537
R6 年度学級数	普 18 特 3
公務員宿舍関連	-
T X 関連	葛城地区（研究学園 4 丁目～5 丁目、学園南 1 丁目）

R6 年度最大保有普通教室数			27
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		18
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数		-	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	81	3	75	3	56	2	51	2	53	2
2 年	110	4	69	2	59	2	53	2	54	2
3 年	87	3	68	2	60	2	56	2	54	2
4 年	86	3	72	3	56	2	56	2	56	2
5 年	98	3	86	3	66	2	59	2	57	2
6 年	75	2	113	4	80	3	61	2	57	2
計	537	18	483	17	377	13	336	12	331	12

⑫谷田部南小学校【翠輝学園】

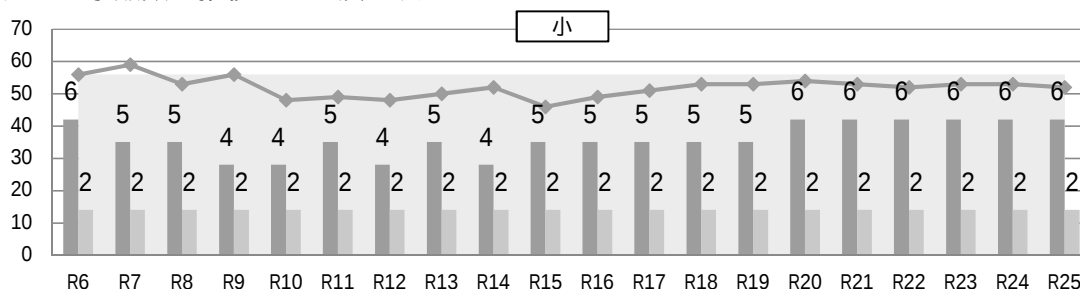
ア 基本情報

所在地	境田 191-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	みどりの南
隣接学区	谷田部・荳崎第一・荳崎第二・みどりの南

R6 年度児童数	56
R6 年度学級数	普 6 特 2
公務員宿舍関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			8
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R20 年度)	普通		6
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	7	1	6	1	8	1	9	1	8	1
2 年	6	1	13	1	9	1	9	1	9	1
3 年	14	1	7	1	9	1	9	1	9	1
4 年	9	1	7		7	1	9	1	8	1
5 年	13	1	8	1	7		9	1	9	1
6 年	7	1	7		6	1	9	1	9	1
計	56	6	48	4	46	5	54	6	52	6

③みどりの南小学校【翠輝学園】

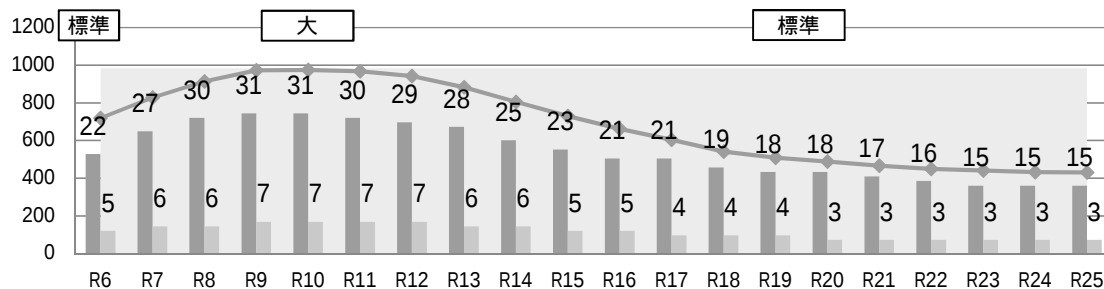
ア 基本情報

所在地	みどりの南 106-3
指定学校変更制度	谷田部南・みどりの学園
中学校区	みどりの南
隣接学区	谷田部・谷田部南・みどりの学園

R 6 年度児童数	720
R 6 年度学級数	普 22 特 5
公務員宿舎関連	-
T X 関連	萱丸地区（みどりの南、みどりの東）

R 6 年度最大保有普通教室数			41
R 6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使 用教室数 (R9 年度)	普通		31
	特支	特支教室	5
		普通教室転用	1
不足教室数		-	

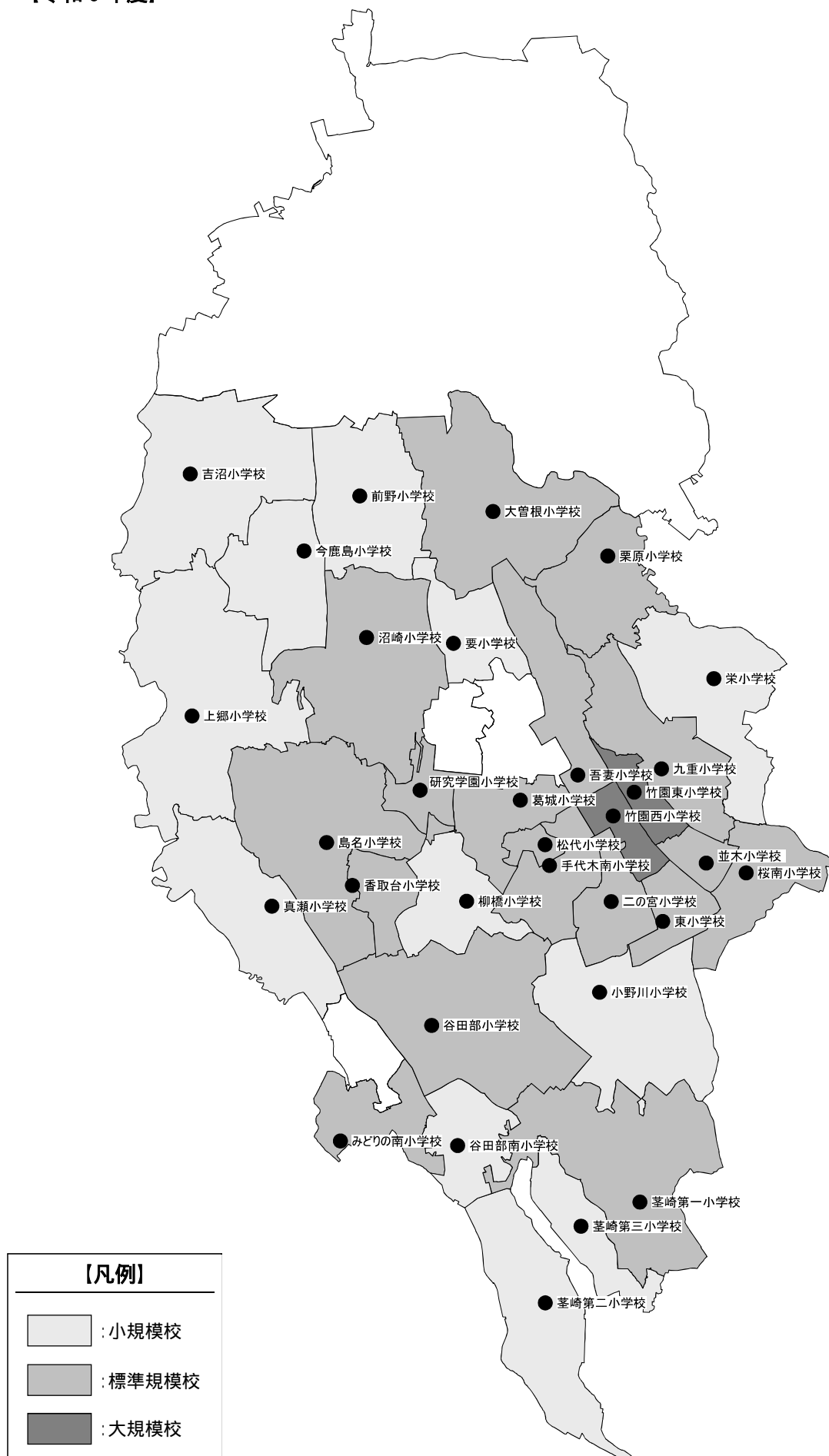
イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



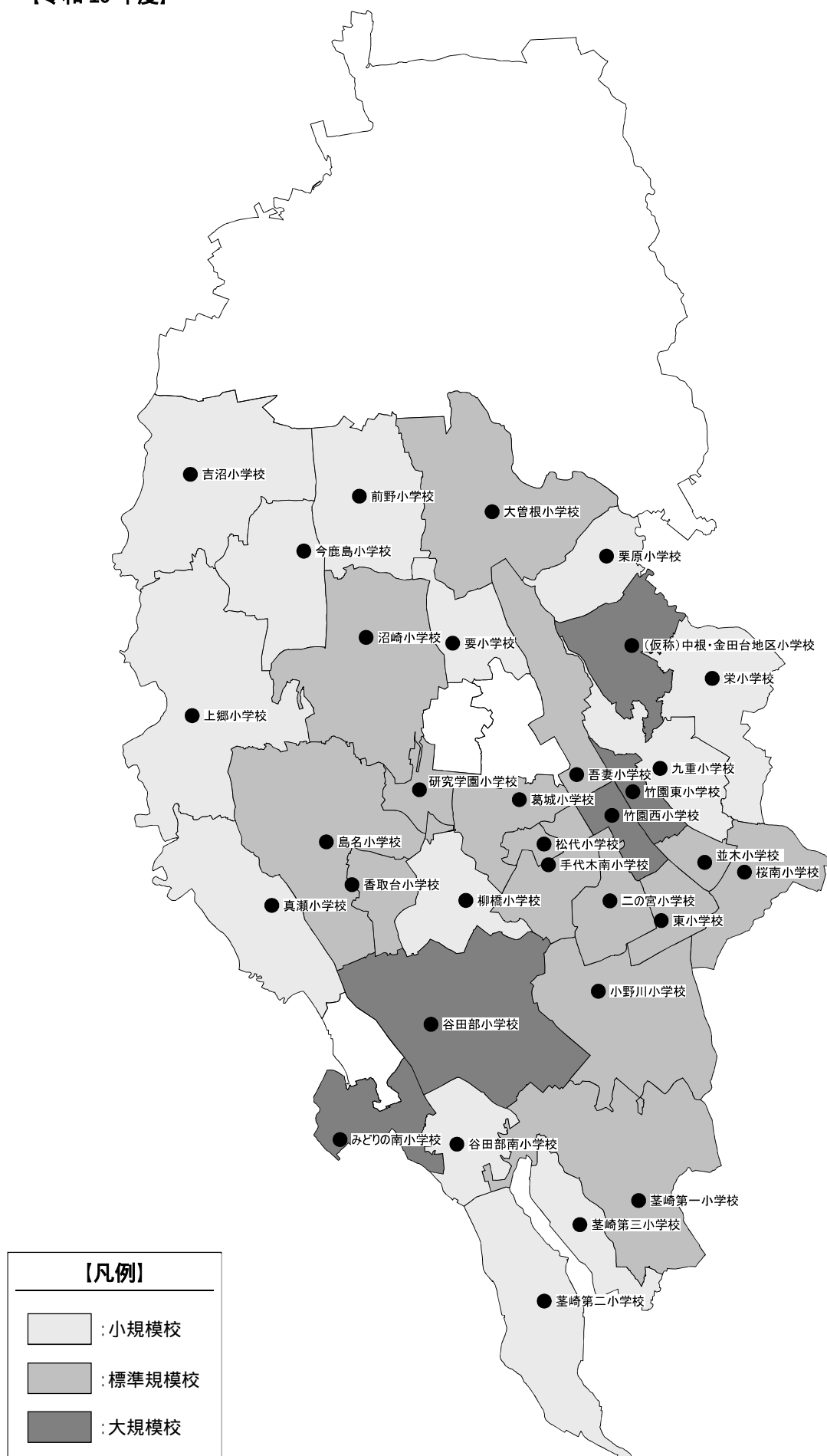
学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年		162	5	153	5	93	3	73	3	67	2
2 年		142	4	170	5	97	3	73	3	69	2
3 年		151	5	178	6	105	3	78	3	70	2
4 年		108	3	166	5	142	5	82	3	71	3
5 年		92	3	164	5	139	4	87	3	74	3
6 年		65	2	143	5	153	5	96	3	80	3
計		720	22	974	31	729	23	489	18	431	15

(2) 小学校区の期別推移図

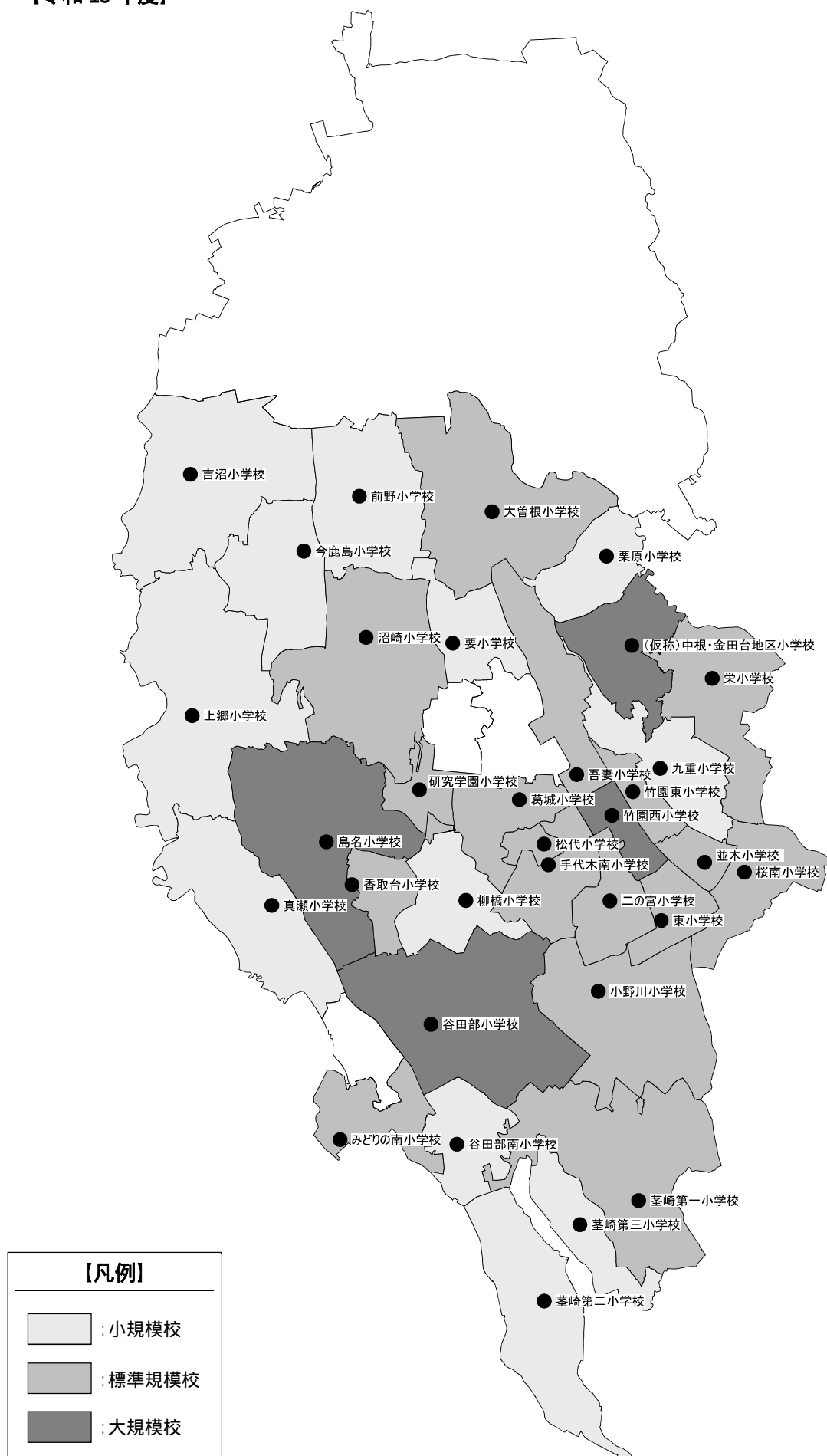
【令和6年度】



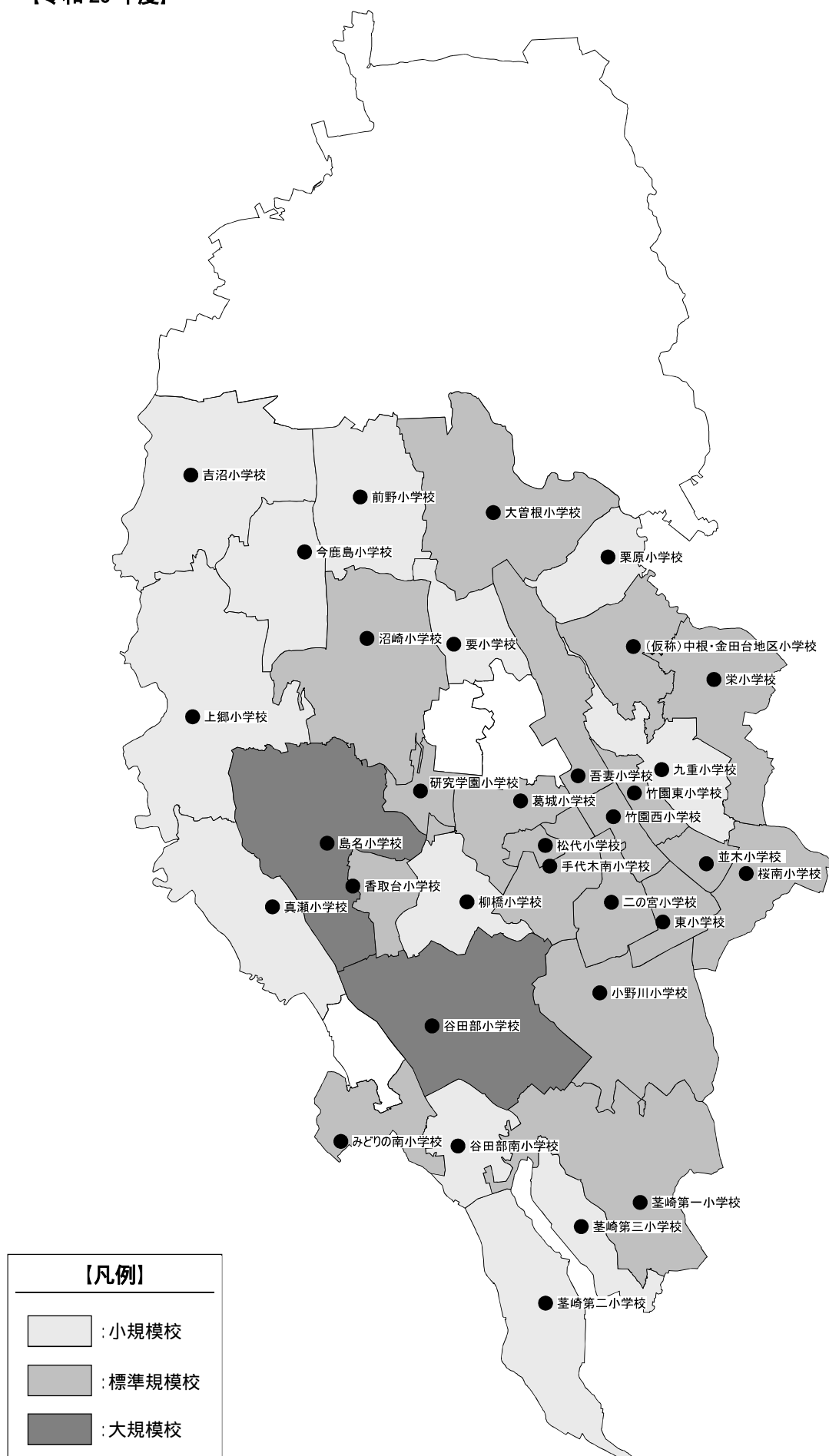
【令和 10 年度】



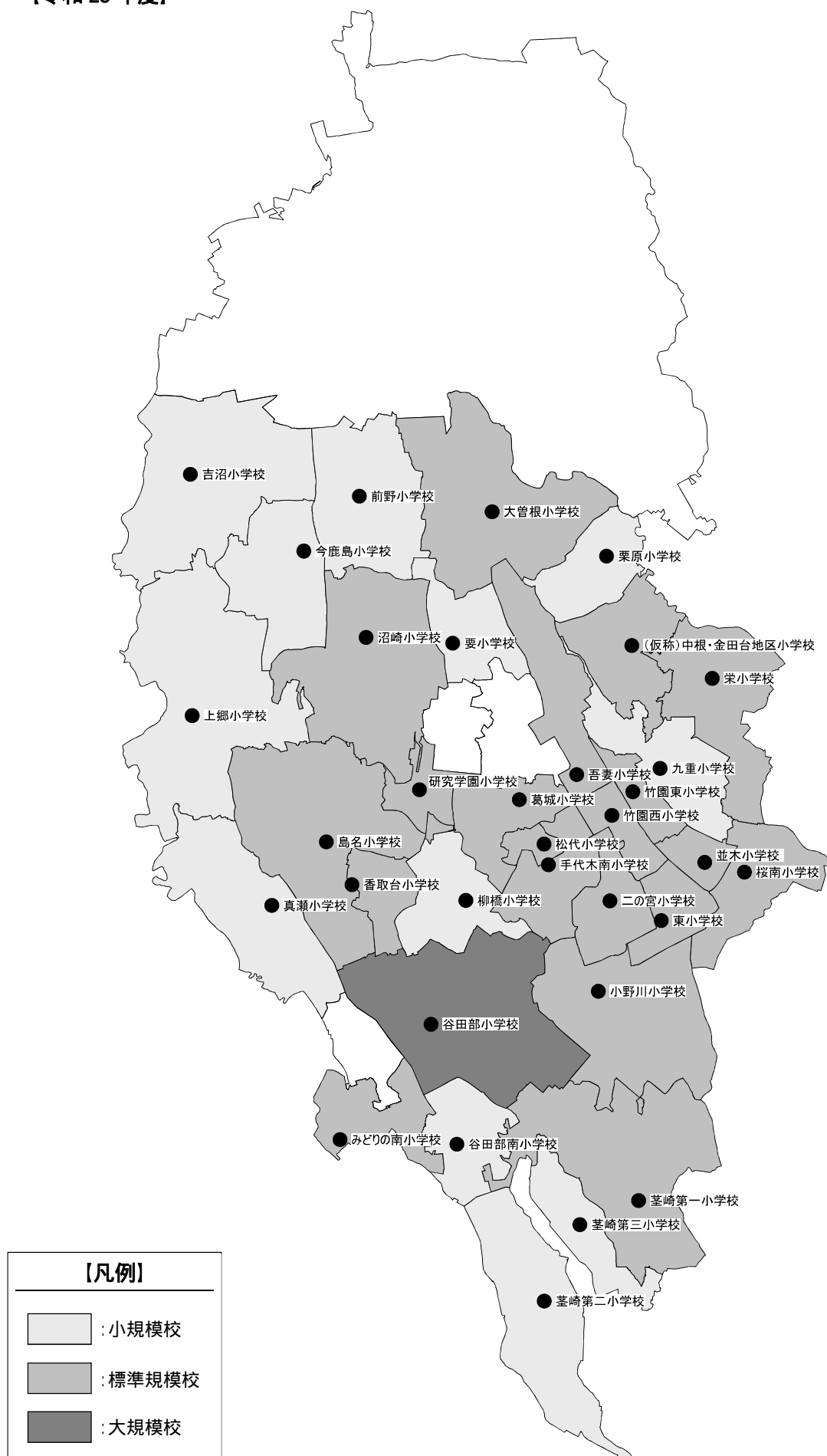
【令和 15 年度】



【令和 20 年度】



【令和 25 年度】



4. 中学校区の将来推計

(1) 中学校の推移グラフ及び表

大穂中学校【大穂学園】

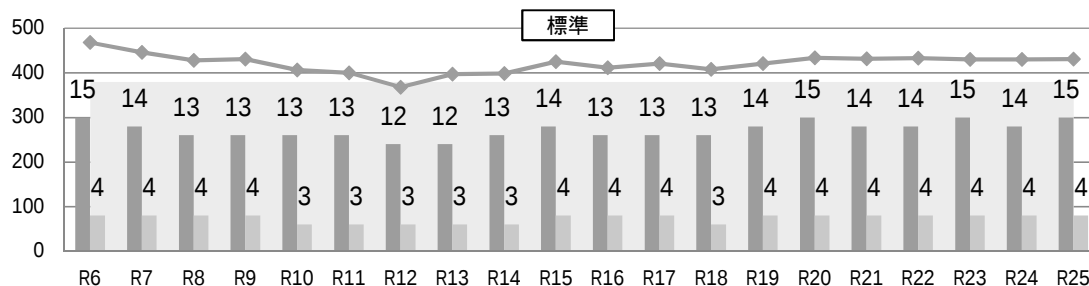
ア 基本情報

所在地	篠崎 475
指定学校変更制度	豊里
小学校区	大曽根・前野・要・吉沼
隣接学区	豊里・吾妻・桜・秀峰筑波・学園の森・春日学園

R6年度生徒数	468
R6年度学級数	普 15 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6年度最大保有普通教室数	19
R6年度保有特別支援教室数	5
最大時使用教室数 (R20年度)	普通 15 特支 4 特支教室 4 普通教室転用 0
不足教室数	-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6年度		R10年度		R15年度		R20年度		R25年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	156	5	113	4	156	5	146	5	144	5
2年	152	5	162	5	125	4	143	5	143	5
3年	160	5	132	4	144	5	145	5	144	5
計	468	15	407	13	425	14	434	15	431	15

豊里中学校【豊里学園】

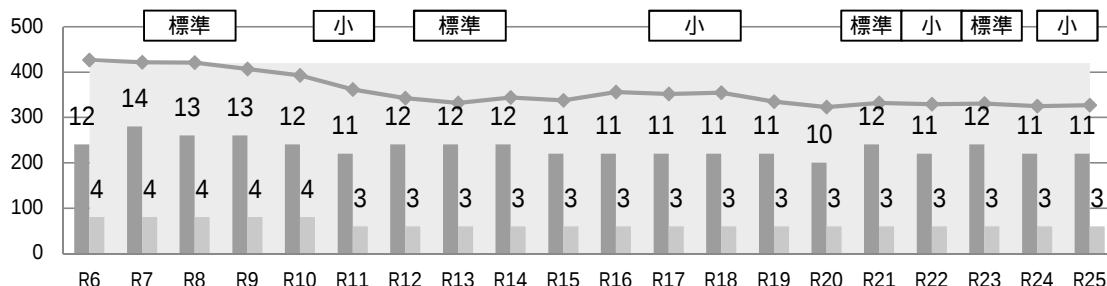
ア 基本情報

所在地	高野 1213
指定学校変更制度	なし
小学校区	沼崎・今鹿島・上郷
隣接学区	大穂・高山・研究学園・学園の森

R6年度生徒数	427
R6年度学級数	普 12 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6年度最大保有普通教室数	21
R6年度保有特別支援教室数	7
最大時使用教室数 (R7年度)	普通 14 特支 4 特支教室 4 普通教室転用 0
不足教室数	-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6年度		R10年度		R15年度		R20年度		R25年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	142	4	121	4	100	3	107	3	109	4
2年	144	4	130	4	124	4	112	4	107	3
3年	141	4	142	4	114	4	104	3	111	4
計	427	12	393	12	338	11	323	10	327	11

谷田部中学校【輝翔学園】

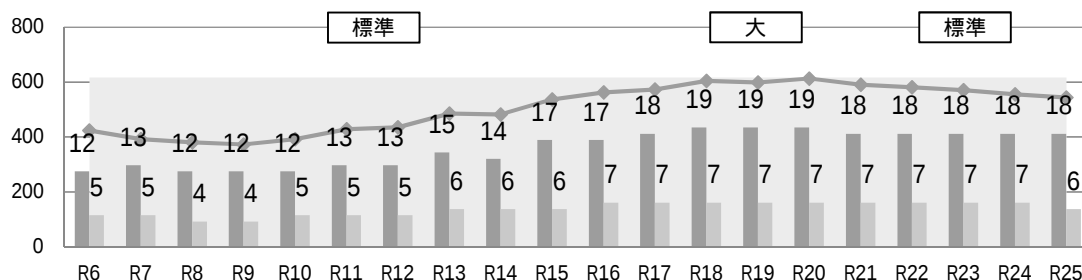
ア 基本情報

所在地	谷田部 6100
指定学校変更制度	なし
小学校区	谷田部・柳橋
隣接学区	高山・研究学園・手代木・谷田部東・高崎・みどりの南・みどりの学園

R6 年度生徒数	424
R6 年度学級数	普 12 特 5
公務員宿舎関連	-
T X 関連	島名・福田坪地区（陣馬）

R6 年度最大保有普通教室数			27
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使 用教室数 (R18 年度)	普通		19
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	2
不足教室数			-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	127	4	127	4	184	6	198	6	178	6
2 年	149	4	123	4	175	5	198	6	179	6
3 年	148	4	142	4	178	6	217	7	187	6
計	424	12	392	12	537	17	613	19	544	18

高山中学校【高山学園】

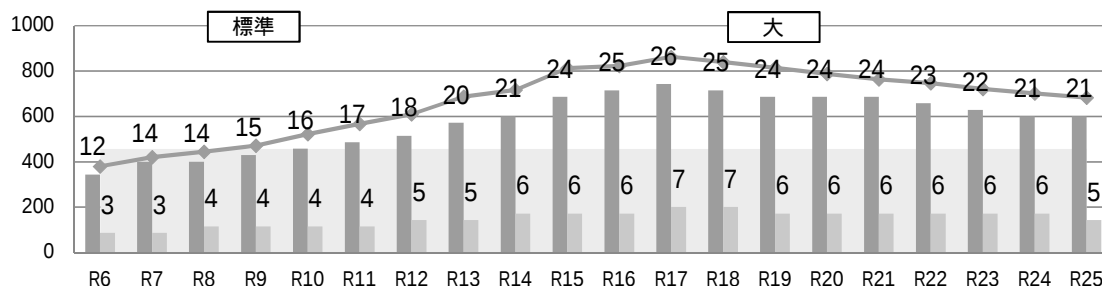
ア 基本情報

所在地	下河原崎 503
指定学校変更制度	谷田部
小学校区	真瀬・島名・香取台
隣接学区	豊里・研究学園・手代木・谷田部・みどりの学園

R6 年度生徒数	380
R6 年度学級数	普 12 特 3
公務員宿舎関連	-
T X 関連	上河原崎・中西地区・島名・福田坪地区

R6 年度最大保有普通教室数			16
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使 用教室数 (R17 年度)	普通	26	
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	2
不足教室数		(26+2) - 16 = 12 教室	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	128	4	196	6	298	9	255	8	224	7
2 年	139	4	159	5	241	7	258	8	229	7
3 年	113	4	167	5	274	8	275	8	230	7
計	380	12	522	16	813	24	788	24	683	21

手代木中学校【光輝学園】

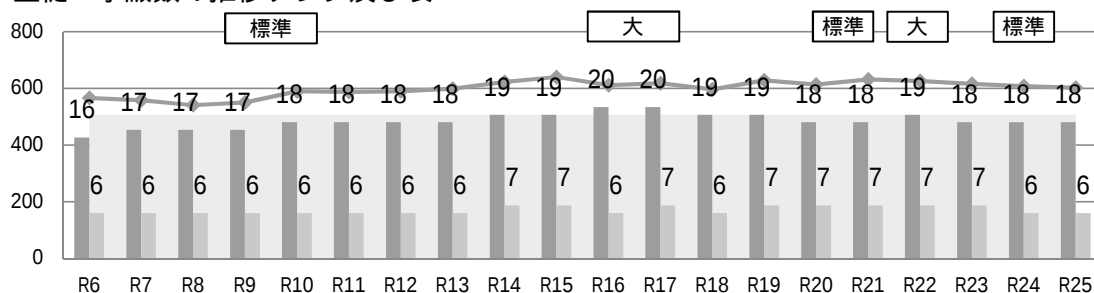
ア 基本情報

所在地	松代 5-10
指定学校変更制度	なし
小学校区	葛城・手代木南・松代
隣接学区	谷田部・谷田部東・竹園東・吾妻・研究学園・高山・春日学園

R6 年度生徒数	566
R6 年度学級数	普 16 特 6
公務員宿舎関連	松代 4 丁目、5 丁目
T X 関連	葛城地区（学園南）

R6 年度最大保有普通教室数	19
R6 年度保有特別支援教室数	14
最大時使 用教室数 (R17 年度)	普通 20 特支 7 特支教室 普通教室転用 0
不足教室数	(20+0)-19=1 教室

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	175	5	198	6	212	6	211	6	200	6
2 年	206	6	195	6	218	7	211	6	199	6
3 年	185	5	197	6	210	6	192	6	204	6
計	566	16	590	18	640	19	614	18	603	18

谷田部東中学校【洞峰学園】

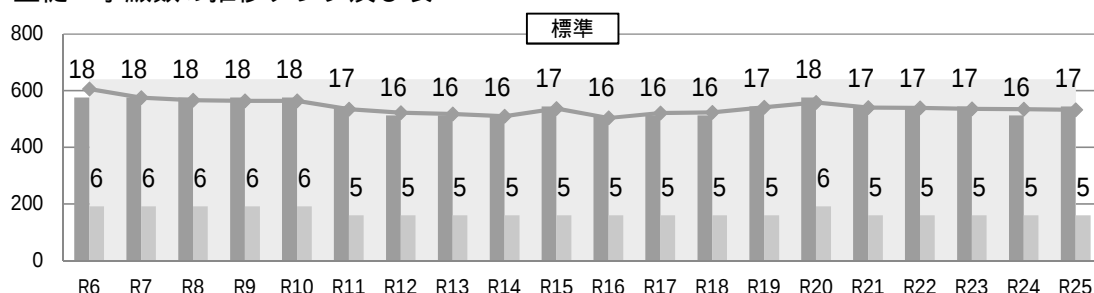
ア 基本情報

所在地	東 2-25-1
指定学校変更制度	竹園東・並木
小学校区	小野川・二の宮・東
隣接学区	谷田部・手代木・竹園東・並木・高崎

R6 年度生徒数	606
R6 年度学級数	普 18 特 6
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数	20
R6 年度保有特別支援教室数	8
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通 18 特支 6 特支教室 普通教室転用 0
不足教室数	-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	182	5	192	6	192	6	180	6	175	5
2 年	195	6	180	6	149	5	180	6	178	6
3 年	229	7	192	6	196	6	199	6	179	6
計	606	18	564	18	537	17	559	18	532	17

桜中学校【桜学園】

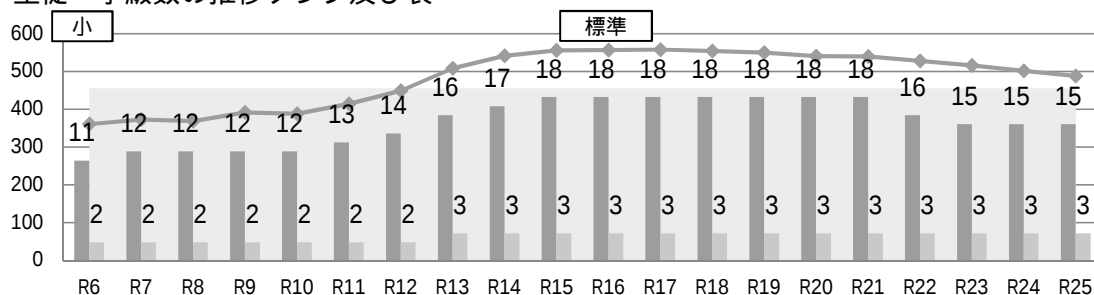
ア 基本情報

所在地	さくらの森 32
指定学校変更制度	並木
小学校区	栄・九重・栗原
隣接学区	大穂・竹園東・並木・吾妻・秀峰筑波

R6 年度生徒数	361
R6 年度学級数	普 11 特 2
公務員宿舍関連	-
T X 関連	中根・金田台地区

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使 用教室数 (R15 年度)	普通		18
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	
不足教室数			-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	110	3	124	4	186	6	180	6	158	5
2 年	125	4	138	4	186	6	183	6	163	5
3 年	126	4	126	4	184	6	178	6	167	5
計	361	11	388	12	556	18	541	18	488	15

竹園東中学校【竹園学園】

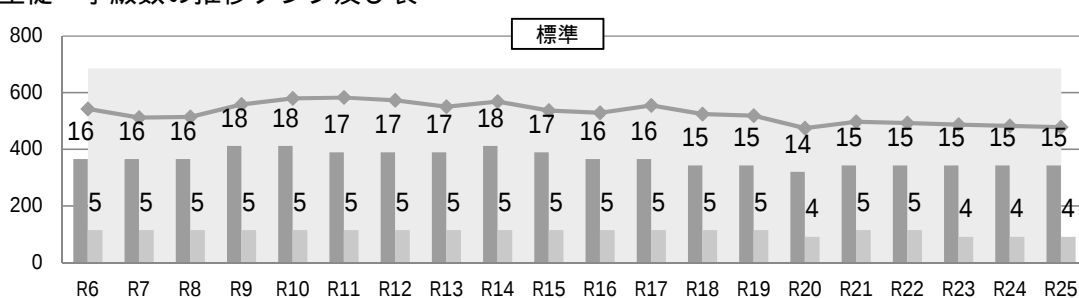
ア 基本情報

所在地	竹園 3-11
指定学校変更制度	桜
小学校区	竹園東・竹園西
隣接学区	手代木・谷田部東・桜・並木・吾妻

R6 年度生徒数	543
R6 年度学級数	普 16 特 5
公務員宿舍関連	竹園 1 丁目、3 丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			30
R6 年度保有特別支援教室数			6
最大時使 用教室数 (R9 年度)	普通		18
	特支	特支教室	5
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	170	5	205	6	171	5	166	5	157	5
2 年	158	5	213	7	184	6	169	5	159	5
3 年	215	6	162	5	182	6	140	4	162	5
計	543	16	580	18	537	17	475	14	478	15

並木中学校【桜並木学園】

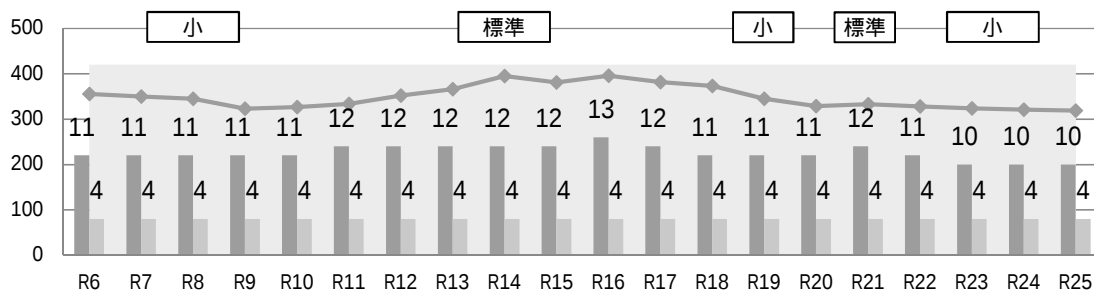
ア 基本情報

所在地	並木 3-8
指定学校変更制度	なし
小学校区	桜南・並木
隣接学区	谷田部東・桜・竹園東

R6 年度生徒数	356
R6 年度学級数	普 11 特 4
公務員宿舎関連	並木 1 丁目～4 丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			21
R6 年度保有特別支援教室数			10
最大時使 用教室数 (R16 年度)	普通		13
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数			-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	123	4	111	4	114	4	110	4	104	3
2 年	111	3	110	4	141	4	112	4	106	3
3 年	122	4	106	3	126	4	107	3	109	4
計	356	11	327	11	381	12	329	11	319	10

吾妻中学校【吾妻学園】

ア 基本情報

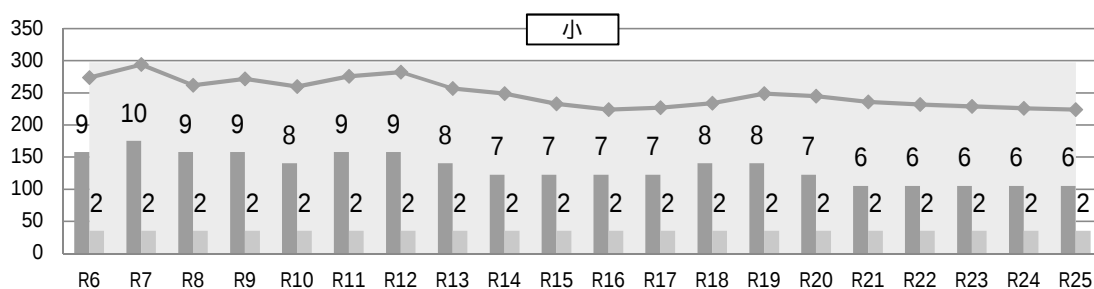
所在地	天久保 1-9-1
指定学校変更制度	なし
小学校区	吾妻
隣接学区	大穂・手代木・桜・竹園東・春日学園

公務員宿舎跡地の大規模な開発が見込まれているが、開発計画や建設戸数等が未定のため、生徒数推計には反映していない。

R6 年度生徒数	274
R6 年度学級数	普 9 特 2
公務員宿舎関連	吾妻 1 丁目～3 丁目
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			17
R6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通	10	
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数		-	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	83	3	99	3	83	3	79	2	75	2
2 年	100	3	92	3	79	2	80	2	75	2
3 年	91	3	69	2	71	2	86	3	74	2
計	274	9	260	8	233	7	245	7	224	6

茎崎中学校【茎崎学園】

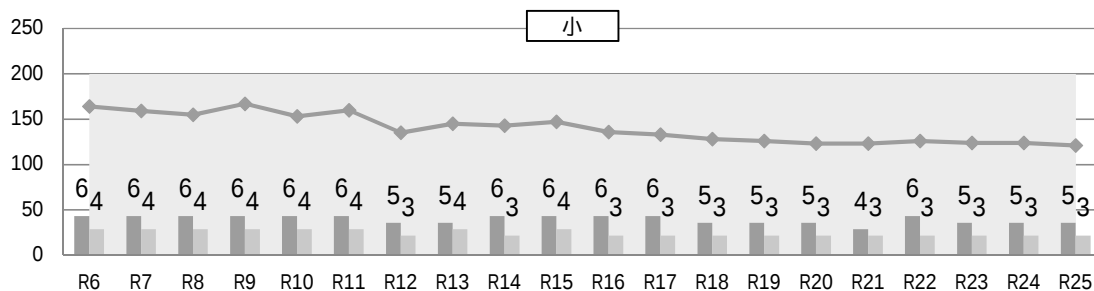
ア 基本情報

所在地	小茎 450
指定学校変更制度	なし
小学校区	茎崎第二、茎崎第三
隣接学区	みどりの南・高崎

R6 年度生徒数	164
R6 年度学級数	普 6 特 4
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			28
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	
不足教室数			-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年		54	2	42	2	44	2	42	2	39	1
2 年		48	2	66	2	50	2	39	1	41	2
3 年		62	2	45	2	53	2	42	2	41	2
計		164	6	153	6	147	6	123	5	121	5

高崎中学校【高崎学園】

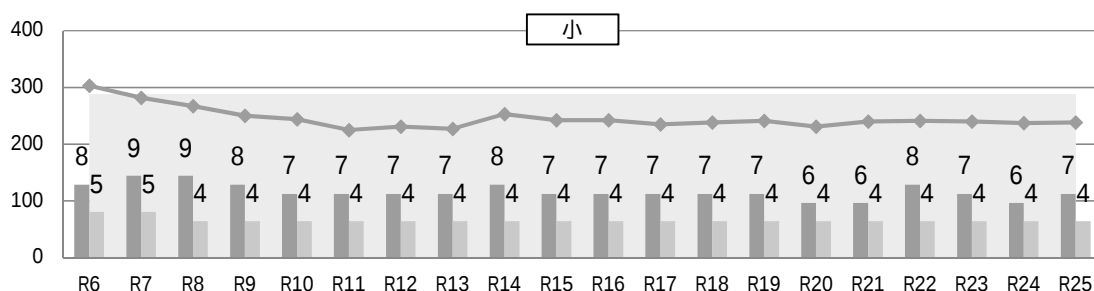
ア 基本情報

所在地	高崎 1730
指定学校変更制度	なし
小学校区	茎崎第一
隣接学区	谷田部・谷田部東・茎崎・みどりの南

R6 年度生徒数	303
R6 年度学級数	普 8 特 5
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R6 年度最大保有普通教室数			18
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使 用教室数 (R7 年度)	普通		9
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	2
不足教室数			-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



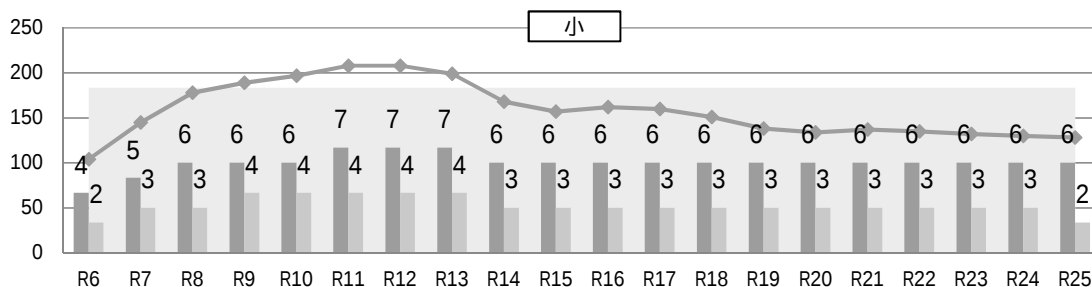
学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年		91	2	79	2	69	2	79	2	79	2
2 年		102	3	76	2	94	3	79	2	78	2
3 年		110	3	89	3	79	2	73	2	81	3
計		303	8	244	7	242	7	231	6	238	7

研究学園中学校【虹色学園】

ア 基本情報

所在地	研究学園 2-26	R6 年度生徒数	104	R6 年度最大保有普通教室数		11
指定学校変更制度	なし	R6 年度学級数	普 4 特 2	R6 年度保有特別支援教室数		2
小学校区	研究学園	公務員宿舎関連	-	最大時使	普通	7
隣接学区	豊里・高山・手代木・ 学園の森・春日学園	T X 関連	葛城地区（研 究学園 4 丁目 ～ 5 丁目、学 園南 1 丁目）	用教室数	特支	特支教室
				(R11 年度)		2
					普通教室転用	1
				不足教室数	-	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



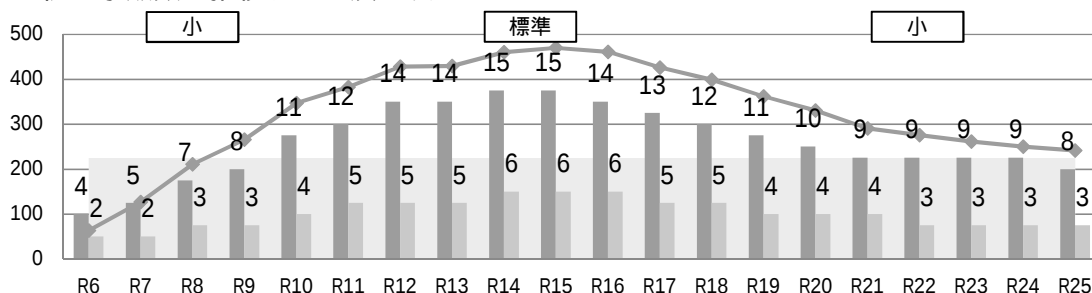
学年	令和 6 年度		令和 10 年度		令和 15 年度		令和 20 年度		令和 25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	51	2	64	2	52	2	46	2	42	2
2 年	39	1	63	2	51	2	46	2	43	2
3 年	14	1	70	2	54	2	42	2	43	2
計	104	4	197	6	157	6	134	6	128	6

みどりの南中学校【翠輝学園】

ア 基本情報

所在地	みどりの南 106-1	R6 年度生徒数	64	R6 年度最大保有普通教室数	9
指定学校変更制度	みどりの学園	R6 年度学級数	普 4 特 2	R6 年度保有特別支援教室数	2
小学校区	谷田部南、みどりの南	公務員宿舎関連	-	最大時使 普通	15
隣接学区	谷田部・高崎・荳崎・みどりの学園	T X 関連	萱丸地区（みどりの南、みどりの東）	用教室数 特支	特支教室 2
				(R14 年度)	普通教室転用 2
				不足教室数	(15+2)-9=8 教室

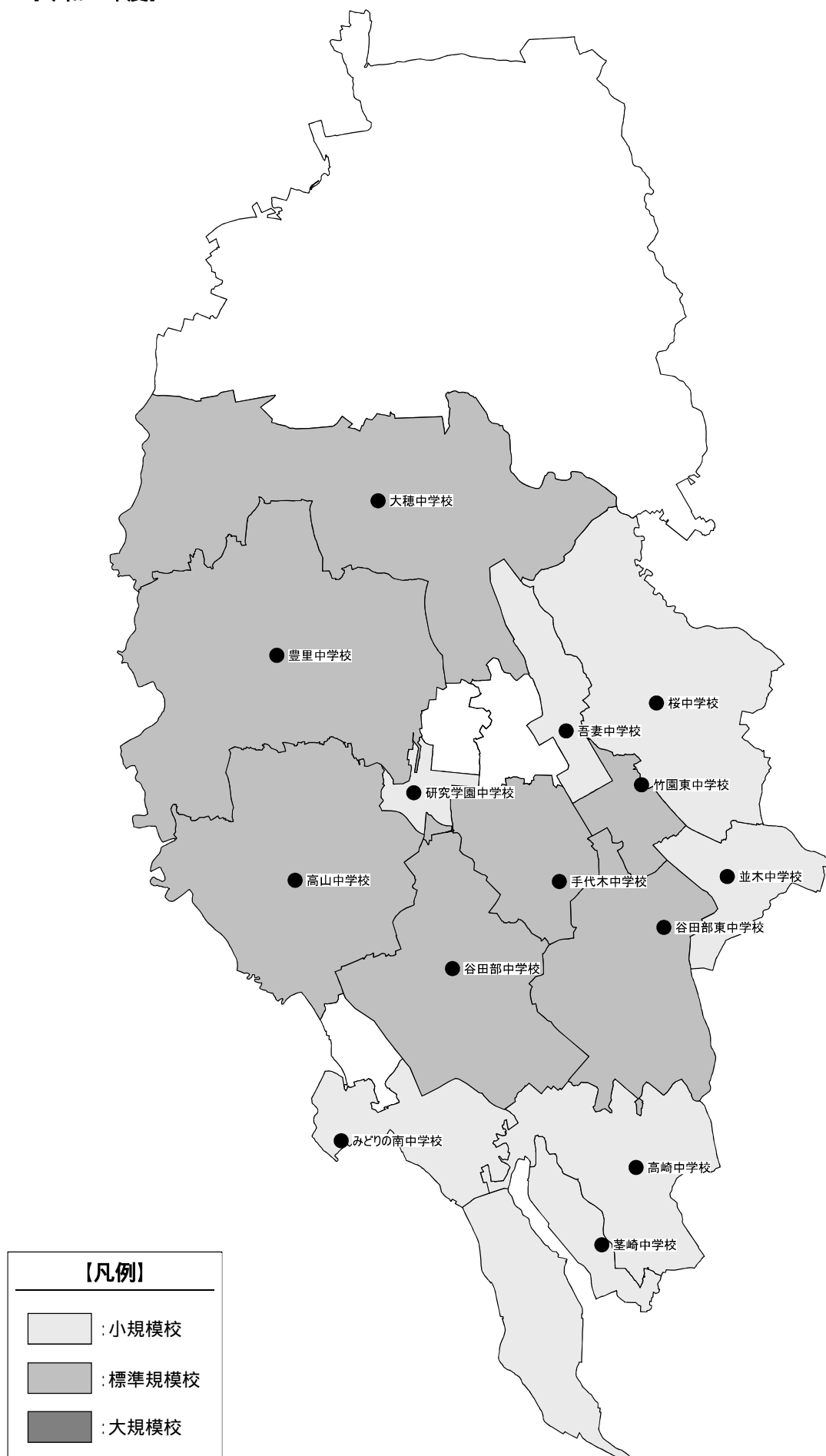
イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



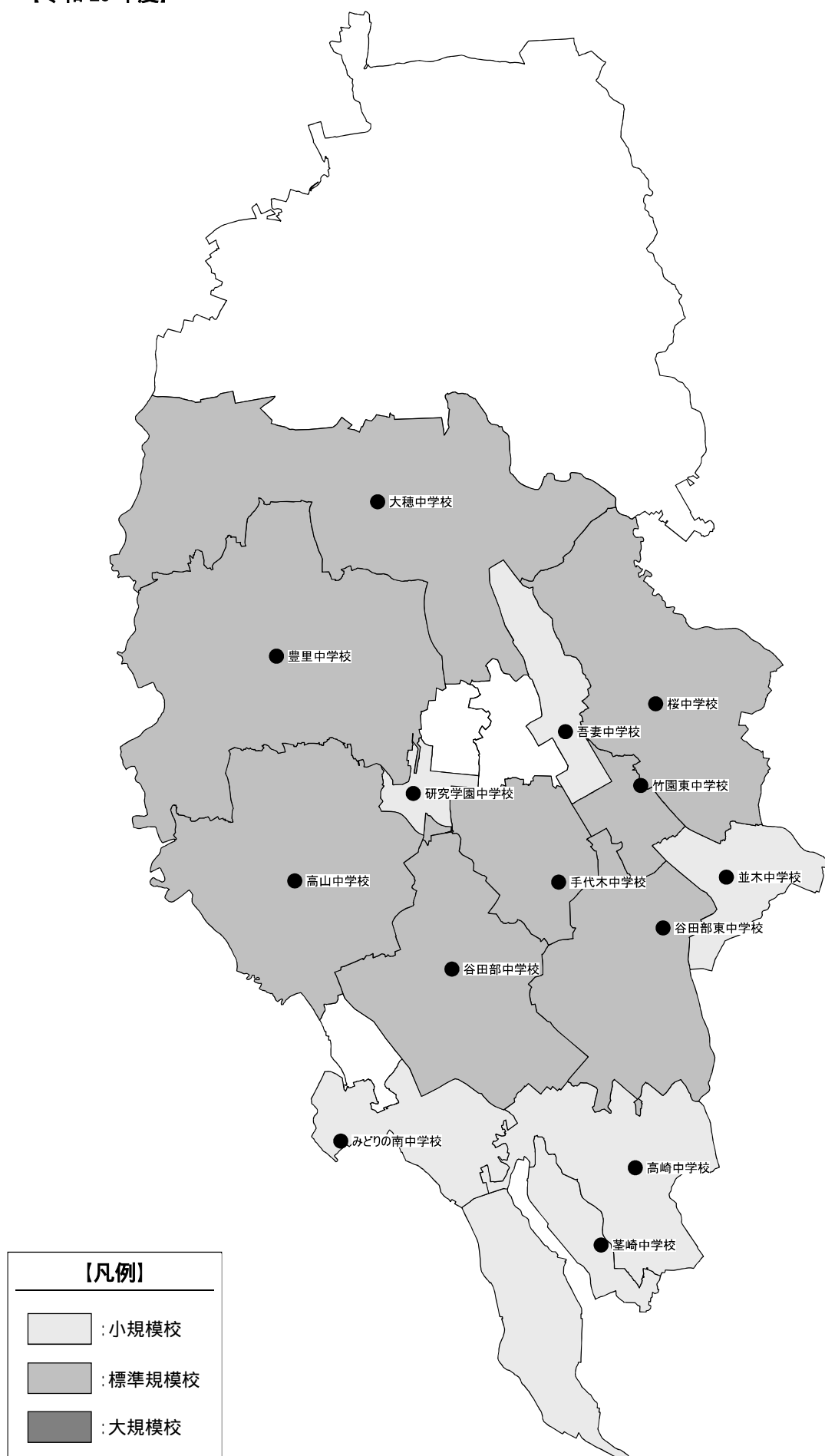
学年	令和 6 年度		令和 10 年度		令和 15 年度		令和 20 年度		令和 25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	50	2	147	5	162	5	97	3	78	2
2 年	10	1	105	3	161	5	102	3	81	3
3 年	4	1	95	3	147	5	132	4	83	3
計	64	4	347	11	470	15	331	10	242	8

(2) 中学校区の期別推移図

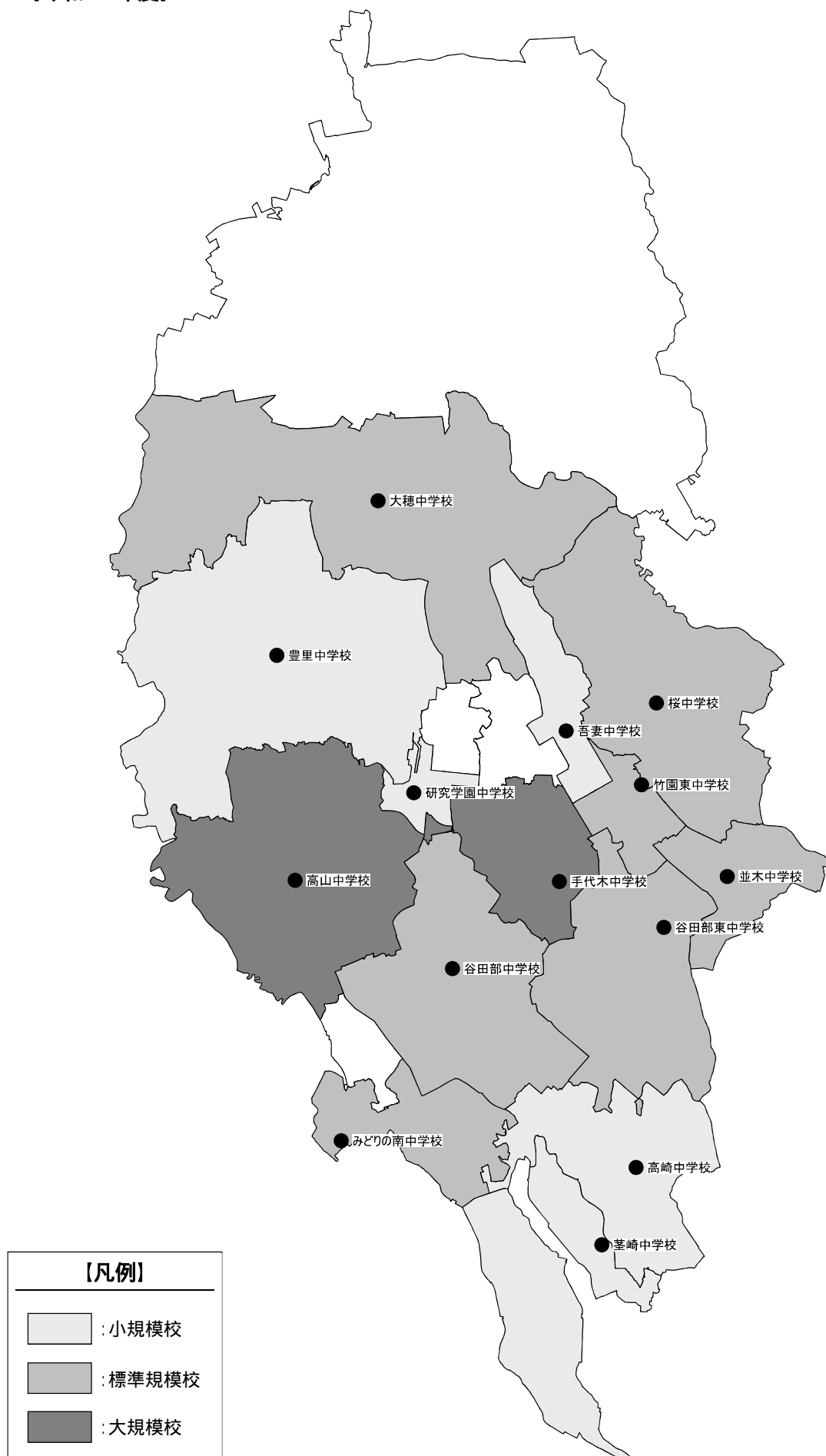
【令和6年度】



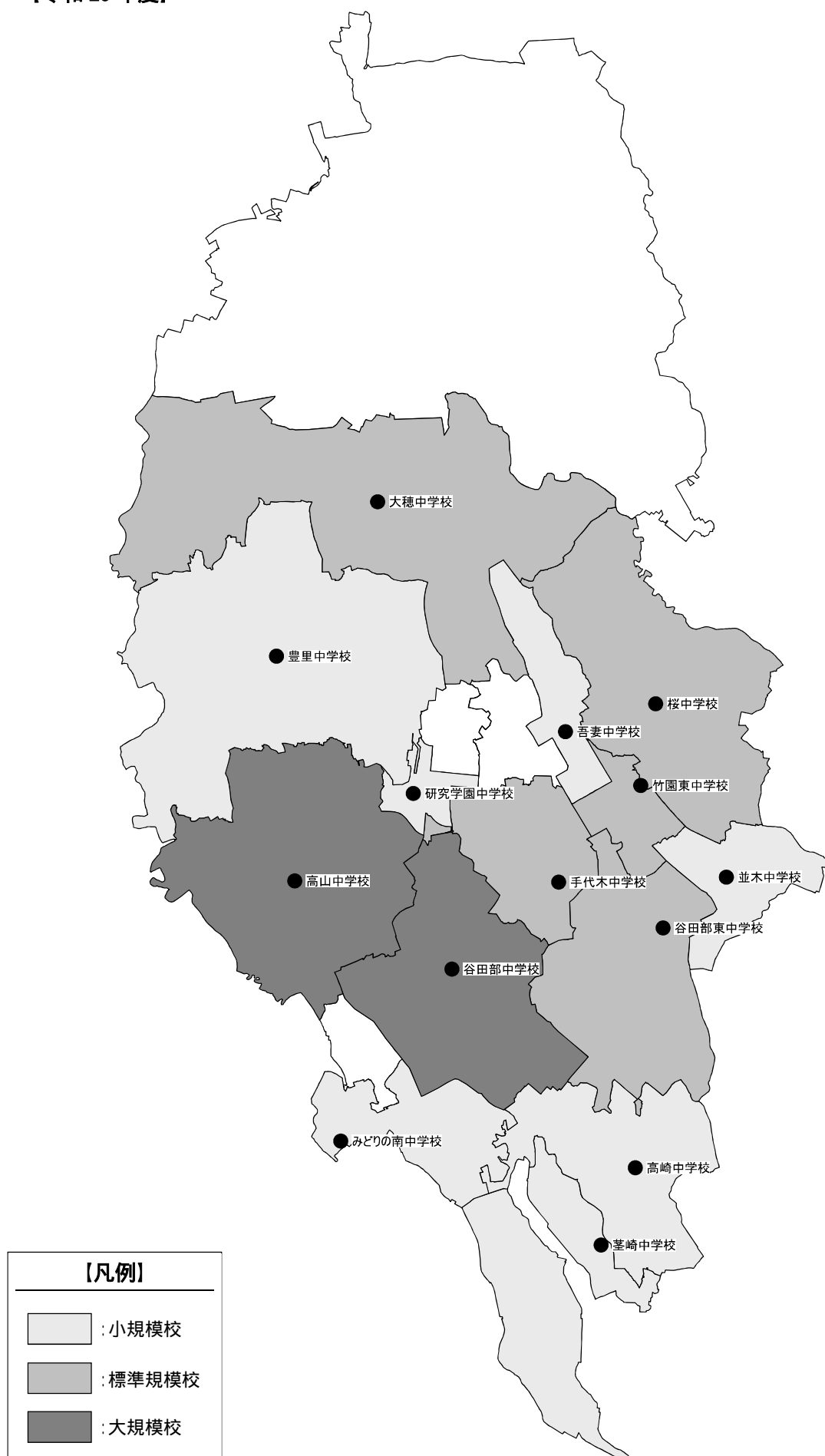
【令和 10 年度】



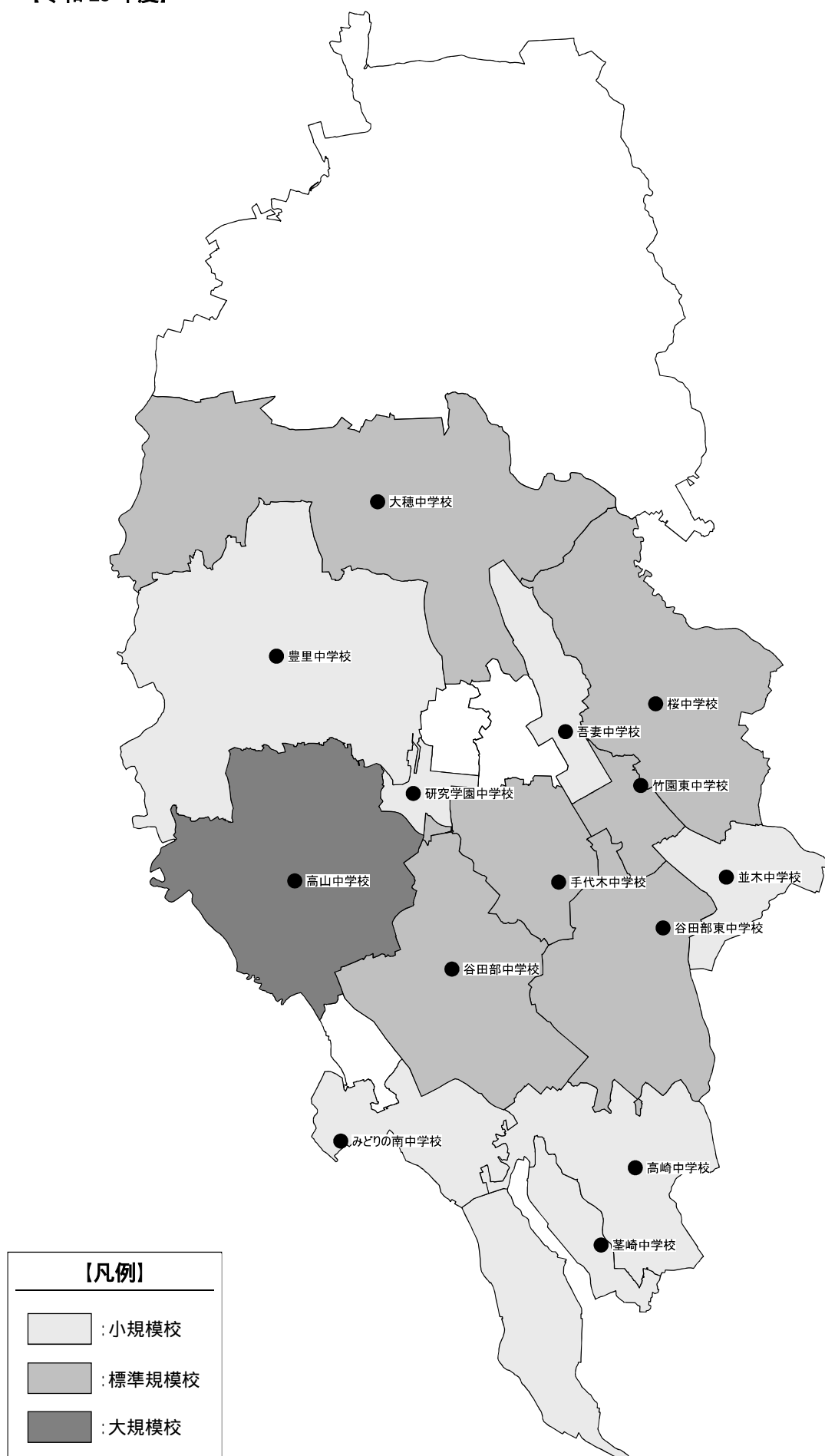
【令和 15 年度】



【令和 20 年度】



【令和 25 年度】



5. 義務教育学区の将来推計

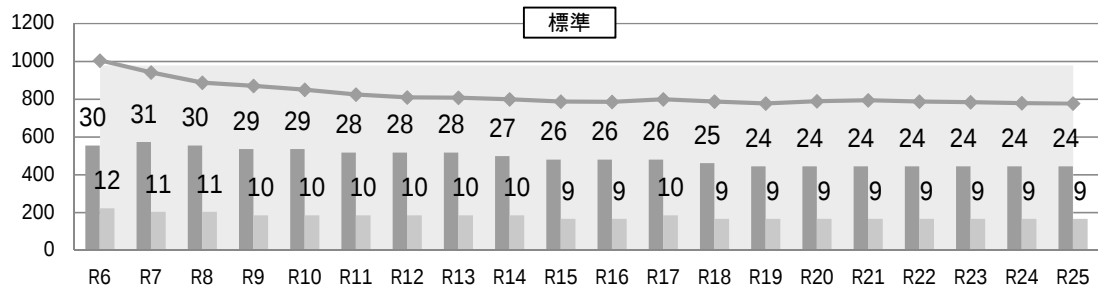
(1) 義務教育学校の推移グラフ及び表

春日学園義務教育学校【春日学園】

ア 基本情報

所在地	春日 2-47	R 6 年度児童生徒数	1005	R 6 年度最大保有普通教室数			53
指定学校変更制度	吾妻・学園の森	R 6 年度学級数	普 30 特 12	R 6 年度保有特別支援教室数			11
隣接学区（学園）	豊里学園・大穂学園・吾妻学園・光輝学園・虹色学園・学園の森	公務員宿舎関連	春日 1 丁目	最大時使	普通		31
		T X 関連	葛城地区（研究学園 6 丁目、7 丁目、学園の森 3 丁目）	用教室数 (R7 年度)	特支	特支教室	11
					普通教室転用		0
				不足教室数		-	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年		92	3	99	3	92	3	90	3	87	3
2 年		112	3	110	4	95	3	90	3	89	3
3 年		101	3	83	3	96	3	94	3	92	3
4 年		96	3	91	3	86	3	97	3	93	3
5 年		111	3	106	4	83	3	98	3	96	3
6 年		129	4	119	4	109	4	100	3	97	3
7 年		112	3	81	3	88	3	77	2	73	2
8 年		120	4	77	2	66	2	76	2	75	2
9 年		132	4	84	3	73	2	67	2	75	2
計		1005	30	850	29	788	26	789	24	777	24

秀峰筑波義務教育学校【秀峰筑波】

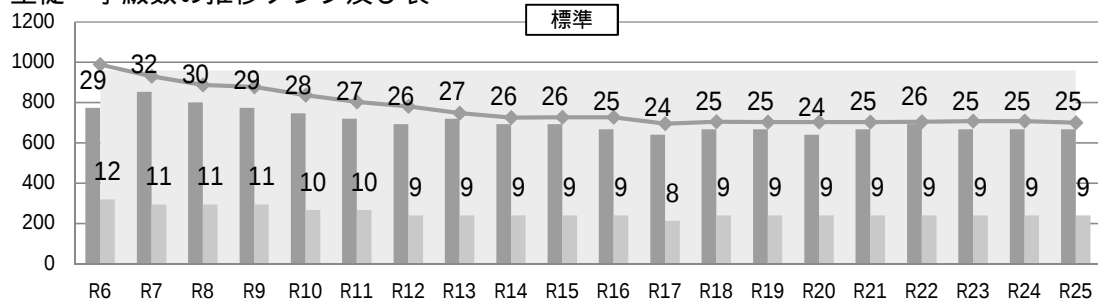
ア 基本情報

所在地	北条 5073
指定学校変更制度	なし
隣接学区（学園）	桜学園・大穂学園

R 6 年度児童生徒数	989
R 6 年度学級数	普 29 特 12
公務員宿舎関連	-
T X 関連	-

R 6 年度最大保有普通教室数	36
R 6 年度保有特別支援教室数	8
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通 32 特支 8 普通教室転用 2
不足教室数	-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	79	3	75	3	74	3	79	3	71	3
2 年	102	3	68	2	77	3	74	3	76	3
3 年	113	3	103	3	75	3	80	3	82	3
4 年	96	3	86	3	74	3	73	3	79	3
5 年	118	3	80	3	85	3	84	3	76	3
6 年	124	4	105	3	82	3	80	3	84	3
7 年	108	3	110	4	71	2	80	2	76	2
8 年	108	3	94	3	102	3	78	2	81	3
9 年	141	4	116	4	87	3	76	2	76	2
計	989	29	837	28	727	26	704	24	701	25

学園の森義務教育学校【学園の森】

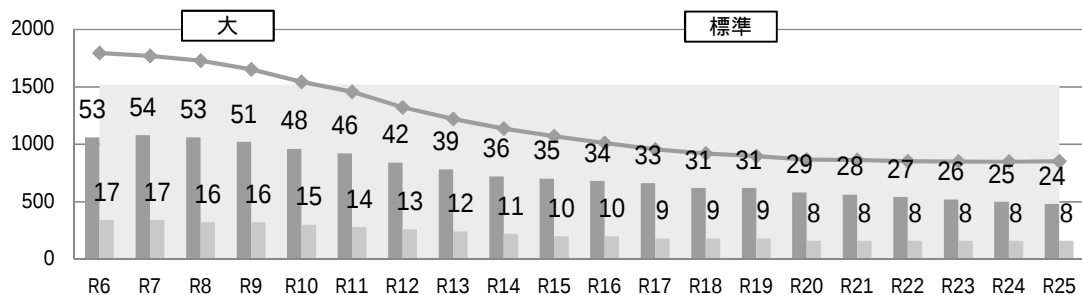
ア 基本情報

所在地	学園の森 2-15-1
指定学校変更制度	春日学園
隣接学区（学園）	豊里学園・大穂学園・春日学園・虹色学園

R6 年度児童生徒数	1794
R6 年度学級数	普 53 特 17
公務員宿舎関連	-
T X 関連	葛城地区（研究学園 4 丁目～5 丁目、学園の森 1 丁目～3 丁目）

R6 年度最大保有普通教室数	76
R6 年度保有特別支援教室数	6
最大時使用教室数（R7 年度）	普通 54 特支 6 特支教室 6 普通教室転用 6
不足教室数	-

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



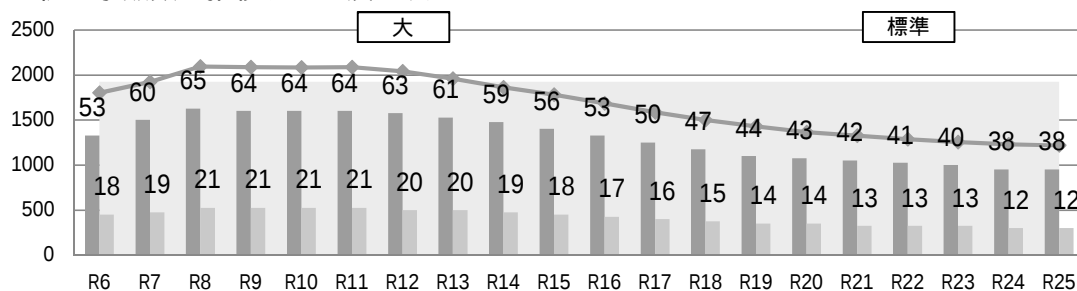
年度 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	183	6	123	4	101	3	93	3	100	3
2 年	202	6	149	5	106	4	96	3	101	3
3 年	229	7	164	5	113	4	101	3	102	3
4 年	262	7	182	6	105	3	103	3	103	3
5 年	236	7	186	6	147	5	108	4	105	3
6 年	232	7	202	6	126	4	110	4	104	3
7 年	168	5	171	5	115	4	85	3	79	2
8 年	136	4	194	6	123	4	89	3	80	2
9 年	146	4	173	5	134	4	81	3	80	2
計	1794	53	1544	48	1070	35	866	29	854	24

みどりの学園義務教育学校【みどりの学園】

ア 基本情報

所在地	みどりの中央 12-1	R6 年度児童生徒数	1802	R6 年度最大保有普通教室数	77
指定学校変更制度	なし	R6 年度学級数	普 53 特 18	R6 年度保有特別支援教室数	6
隣接学区（学園）	輝翔学園・高山学園・翠輝学園	公務員宿舎関連	-	最大時使 用教室数 (R8 年度)	普通 65
		T×関連	萱丸地区（みどりの 1 丁目、2 丁目、中央）	特支	特支教室 6
				普通教室転用	8
				不足教室数	-

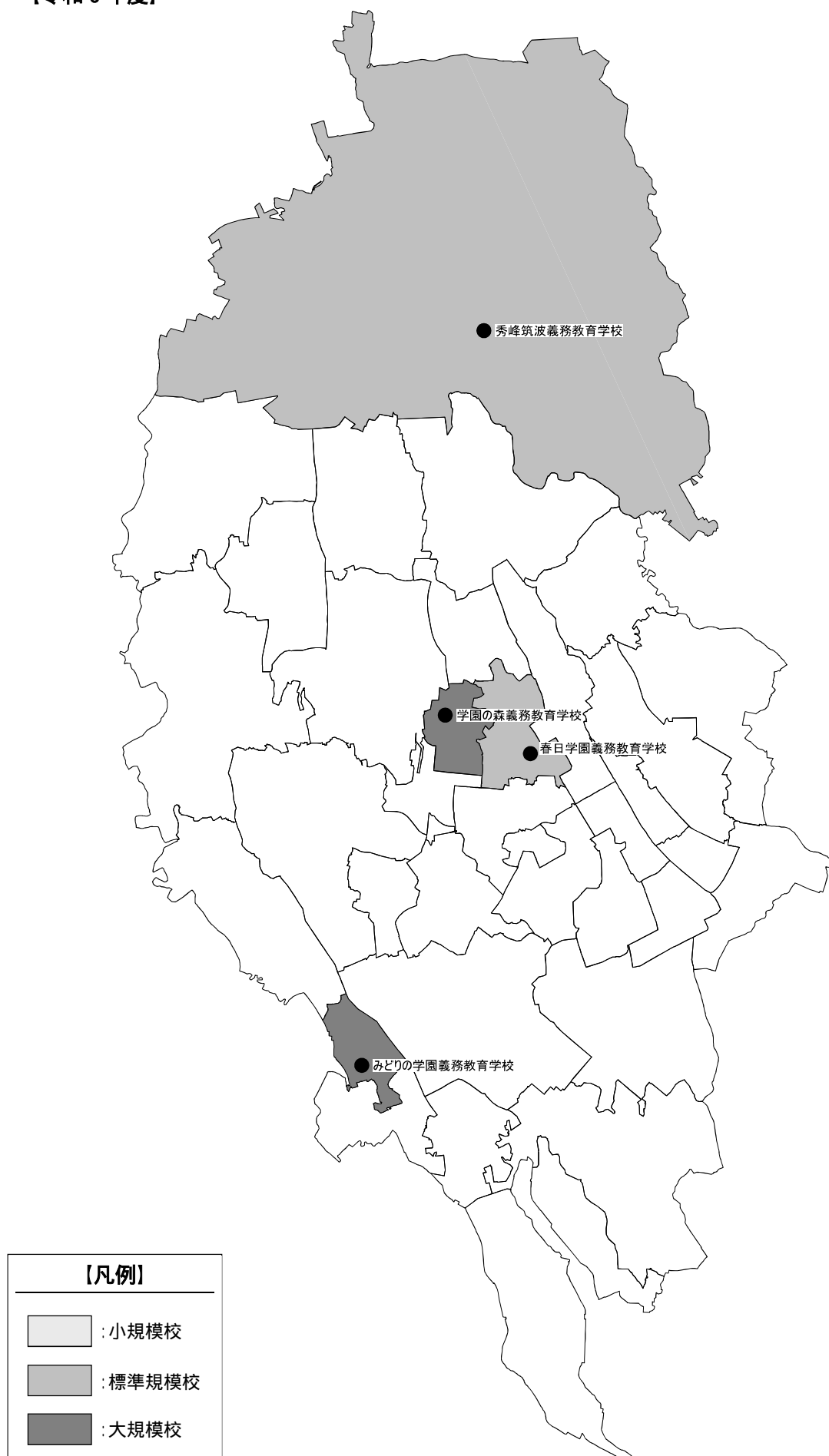
イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



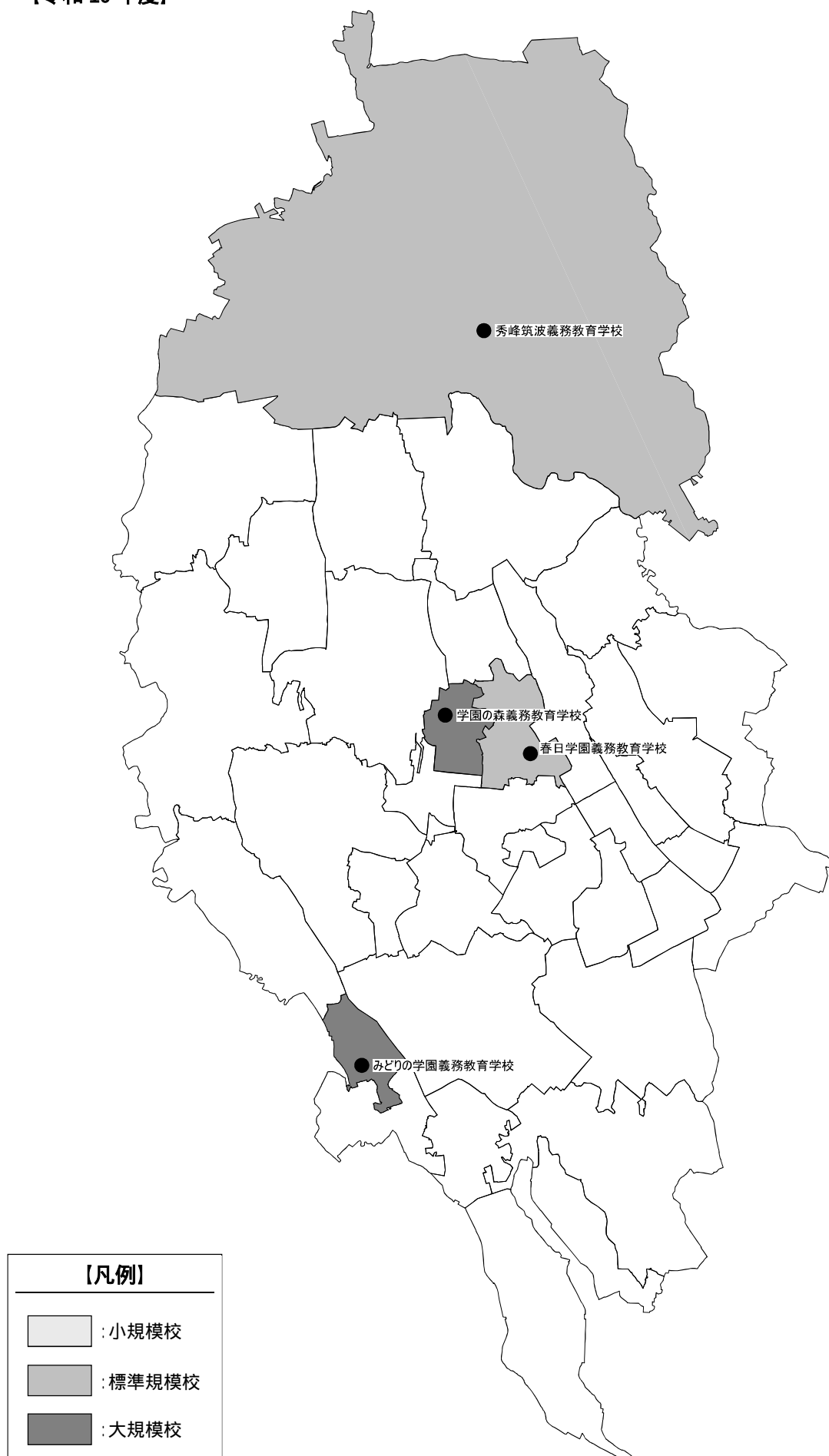
学年	年度	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年		246	7	215	7	161	5	131	4	129	4
2 年		261	8	235	7	167	5	136	4	132	4
3 年		261	8	257	8	180	6	143	5	134	4
4 年		219	6	259	8	183	6	151	5	138	4
5 年		198	6	252	8	212	7	159	5	141	5
6 年		207	6	268	8	219	7	170	5	145	5
7 年		169	5	231	7	211	6	154	5	130	4
8 年		115	3	194	6	225	7	162	5	133	4
9 年		126	4	174	5	223	7	161	5	137	4
計		1802	53	2085	64	1781	56	1367	43	1219	38

(2) 義務教育学校区の期別推移図

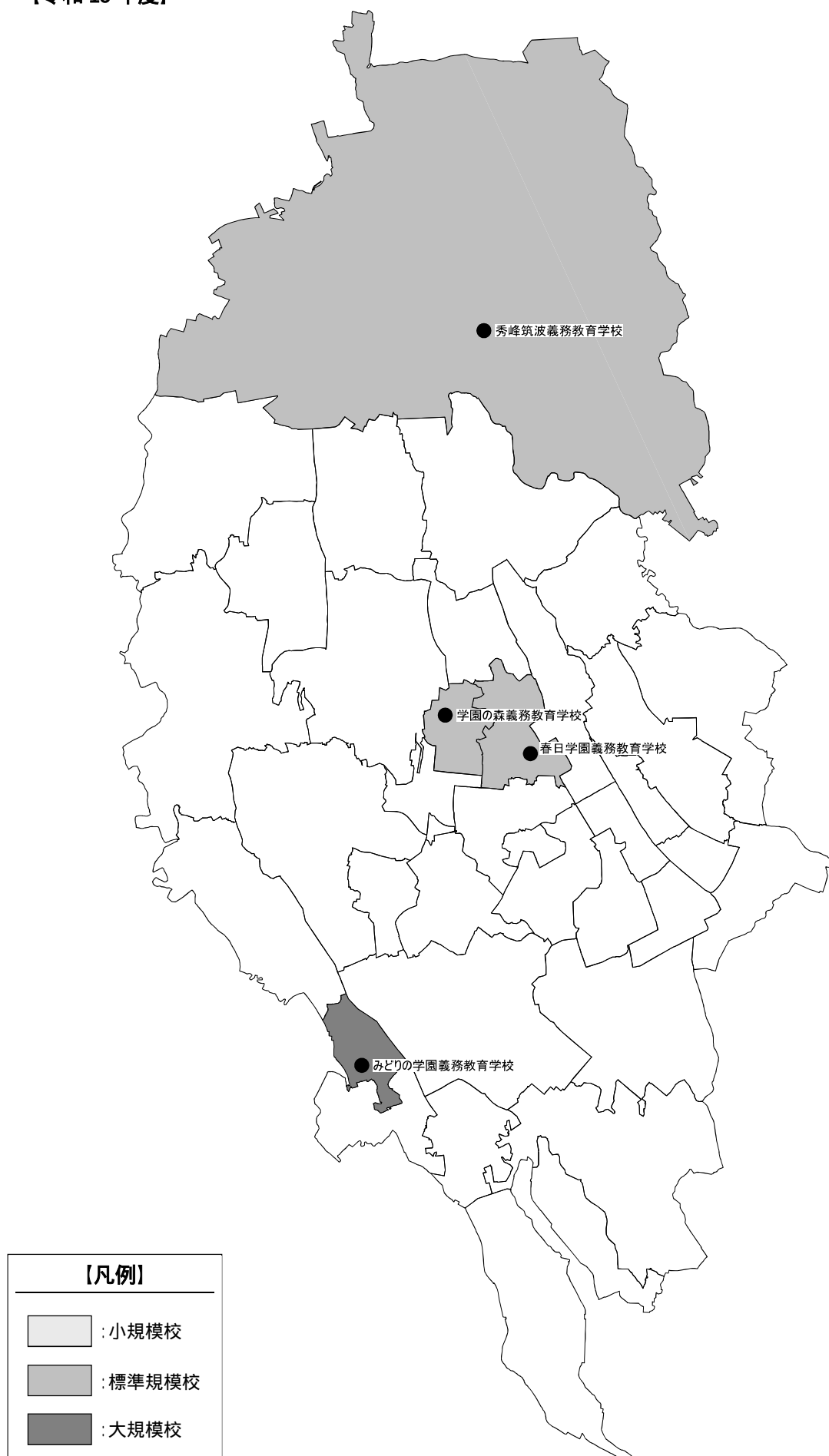
【令和6年度】



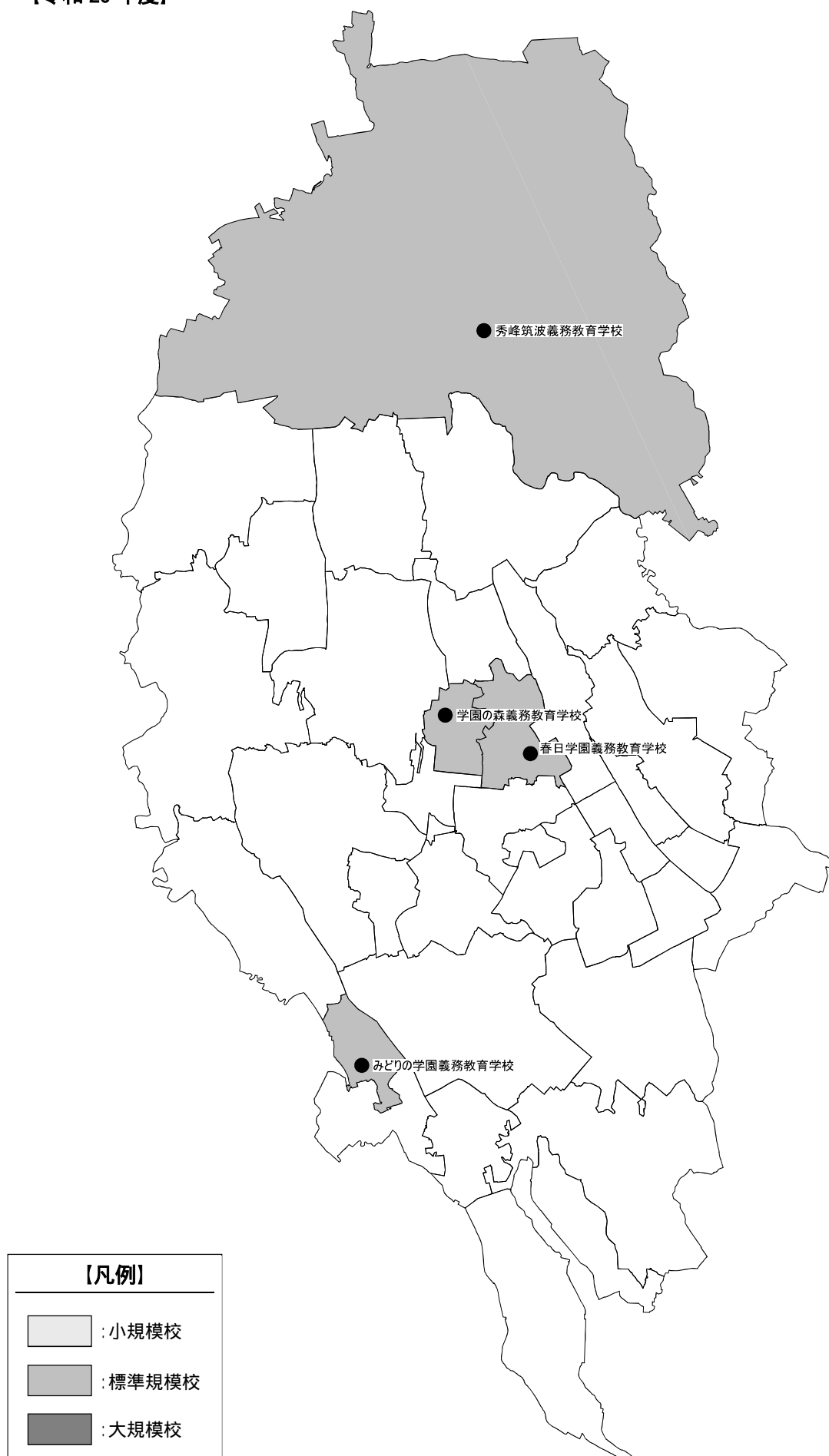
【令和 10 年度】



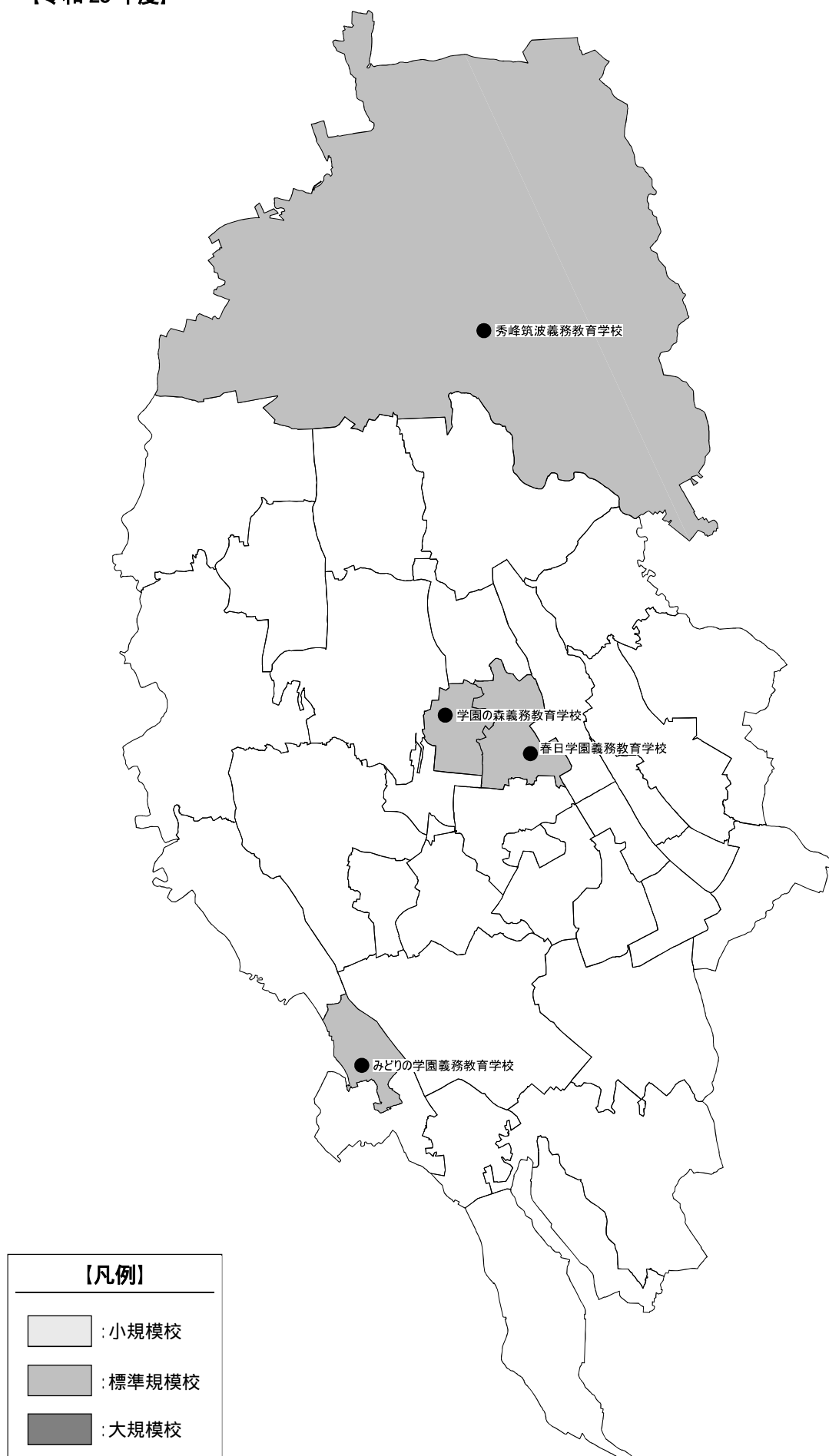
【令和 15 年度】



【令和 20 年度】



【令和 25 年度】



6 章 学校別の配置方針

1 . 配置方針の検討手順

学校等の適正な配置計画の策定のため、次のような手順で検討を行います。

まず、

- 適正配置計画の「つくば市及びつくば市の学校等の現状について」と「計画見直しに当たって考慮すべき事項」に基づきます。

第 2 に、

- 学校別の将来推計等より「児童・生徒数及び学級数の推移」を読み取ります。

第 3 に、児童・生徒数及び学級数の推移を

「今期学校等適正配置(指針)における基本的な考え方」に照らして、

- 学校別の動向・課題等と、その対応策としての期別の方針を一覧表としてまとめたものを『学校別の配置方針』とします。

そして第 4 に、学校別の配置方針をもとに、

- 学区調整、学区分割、新設校の配置、新たな学区の範囲等を示した『期別の配置方針図（総括図）』を作成します。

これらのなかの、第 3 から第 4 までを小学校と中学校、義務教育学校、幼稚園に区分し設定します。

２．小学校の配置方針

(１) 学校別の配置方針

大穂学園

１校が標準規模校、３校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
大曾根小学校	普 28 特 2	普 18 特 6	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一期で逓減、二期から三期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・ 標準規模校で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
前野小学校	普 8 特 1	普 7 特 3	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は二期中頃まで逓増、二期末頃に逓減し、それ以降一定で推移する ・ 小規模校で推移する	・ 児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
要小学校	普 6 特 2	普 6 特 2	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は三期初めまで逓増し、それ以降一定で推移する ・ 小規模校で推移する	・ 児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
吉沼小学校	普 14 特 0	普 6 特 3	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一期末頃まで一定で推移し、それ以降逓減する ・ 小規模校で推移する	・ 児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

豊里学園

1校が標準規模校、2校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
沼崎小学校	普 25 特 3	普 12 特 4	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一期末頃で逓減、二期末頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・ 標準規模校で推移する	・ 遠東南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	● 遠東南部の地区について学園の森義務教育学校との学区調整を検討する		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
今鹿島小学校	普 13 特 0	普 6 特 2	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一期中頃で逓減、二期中頃まで逓増、二期末頃で逓減し、それ以降一定で推移する ・ 小規模校で推移する	・ 児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
上郷小学校	普 19 特 5	普 10 特 2	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は三期初めまで逓減し、それ以降一定で推移する ・ 小規模校で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

輝翔学園

1校が大規模校、1校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
谷田部小学校	普 37 特 5	普 33 特 13	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・児童数は二期まで逡増し、それ以降逡減する ・大規模校で推移する	・TX 沿線開発に伴う児童数増加の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		
柳橋小学校	普 6 特 1	普 6 特 0	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一定で推移する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

高山学園

1校が標準規模校から大規模校となりその後標準規模校へと推移する見込みです。その他、1校が標準規模校、1校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／三期～四期（ R 16 ～ 25 ）			
真瀬小学校	普12 特3	普6 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は三期初めまで逓減し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
島名小学校	普28 特3	普24 特9	一期	●香取台小学校との学区調整を図る	・児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・二期から四期前半まで大規模校で推移し、その後、標準規模校となる	・児童数増に対応するため、一期に香取台小学校との学区調整を検討する
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
香取台小学校	普28 特4	普22 特7	一期	●島名小学校との学区調整を図る	・児童数は一期末まで逓増し、それ以降逓減する ・標準規模校で推移する	・島名小学校の児童数増に対応するため、一期に島名小学校との学区調整を検討する ・学区調整を行う場合は、児童数増となるため増築を行う
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

光輝学園

3校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
葛城小学校	普 29 特 4	普 18 特 4	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一期末で増加し、それ以降逓減する ・ 標準規模校で推移する	・ 大規模マンション建設の動向を注視し、必要に応じて学区調整を検討する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
手代木南小学校	普 19 特 4	普 17 特 4	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・ 標準規模校で推移する	・ 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
松代小学校	普 23 特 1	普 14 特 3	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一定で推移する ・ 標準規模校で推移する	・ 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

洞峰学園

3校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
小野川小学校	普 20 特 0	普 12 特 4	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は三期中頃まで 逓増し、それ以降一定 で推移する ・ 標準規模校で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
二の宮小学校	普 25 特 3	普 19 特 3	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は二期中頃まで 逓増し、それ以降一定 で推移する ・ 標準規模校で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
東小学校	普 21 特 0	普 14 特 4	一期	● 桜南小学校区の大角豆南部地区について学区 調整を検討する	・ 児童数は二期中頃まで 逓減、三期中頃まで逓 増し、それ以降一定で 推移する ・ 標準規模校で推移する	・ 大角豆南部の保護者や 地域住民と十分に協議 を行う必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

桜学園

1校が新設され大規模校から標準規模校で推移する見込みです。その他、1校が標準規模校、2校が小規模校で推移する見込みです。うち1校は複式学級となることが見込まれます。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
栄小学校	普 12 特 2	普 10 特 2	一期	●（仮称）中根・金田台地区小学校の新設に伴う学区変更を行う	・児童数は一期中頃に新設校の開校により減少し、それ以降一定で推移する ・二期中頃まで小規模校で推移し、その後、標準規模校となる	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		
九重小学校	普 13 特 4	普 6 特 2	一期	●（仮称）中根・金田台地区小学校の新設に伴う学区変更を行う	・児童数は一期中頃に新設校の開校により減少し、それ以降一定で推移する ・一期中頃から小規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		
栗原小学校	普 16 特 1	普 5 特 1	一期	●（仮称）中根・金田台地区小学校の新設に伴う学区変更を行う ●小規模特認校制度の導入を検討する	・児童数は一期中頃に新設校の開校により減少し、それ以降一定で推移する ・一期中頃から小規模校で推移する ・複式学級化する	・児童数減により複式学級化が見込まれるため、小規模特認校制度の導入を検討する
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		
（仮称）中根・金田台地区 小学校	普 41 特 6	普 26 特 7	一期	●栗原小学校、栄小学校、九重小学校から学区を分割し、学校を新設する	・児童数は二期中頃まで逡増し、それ以降逡減する ・三期中頃まで大規模校、その後標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

竹園学園

2校が大規模校から標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6～10 ） / 二期（ R 11～15 ） ／ 三期～四期（ R 16～25 ）			
竹園東小学校	普 32	普 25	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・二期初めまで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
	特 11	特 7	二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
竹園西小学校	普 36	普 27	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・三期初めまで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
	特 1	特 7	二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

桜並木学園

2校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
桜南小学校	普 24 特 3	普 19 特 4	一期	●大角豆南部地区について、東小学校区との学区調整を検討する	・ 児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・ 標準規模校で推移する	・ 公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・ 大角豆南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		
並木小学校	普 26 特 3	普 14 特 4	一期	●現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・ 標準規模校で推移する	・ 公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

吾妻学園

公務員宿舎跡地の開発による児童数増が見込まれます。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
吾妻小学校	普 28 特 10	普 21 特 4	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・ 公務員宿舎跡地の開発により、一期末頃から児童数増が見込まれる	・ 公務員宿舎跡地売却後の開発計画や建設戸数等が未定であるが、児童数増に対応するため増築等の検討を進める必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

荃崎学園

2 校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
荃崎第二小学校	普 16 特 6	普 6 特 4	一期	● 現状の学区の維持を図る	● 児童数は逡減する ● 小規模校で推移する	● 児童数減の動向を注視 する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
荃崎第三小学校	普 19 特 3	普 6 特 3	一期	● 現状の学区の維持を図る	● 児童数は逡減する ● 小規模校で推移する	● 児童数減の動向を注視 する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

高崎学園

1 校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
荏崎第一小学校	普 35 3	普 18 特 6	一期	● 現状の学区の維持を図る	● 児童数は一定で推移する ● 標準規模校で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

虹色学園

1校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
研究学園小学校	普 27 特 4	普 17 特 3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は逓減する ・標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

翠輝学園

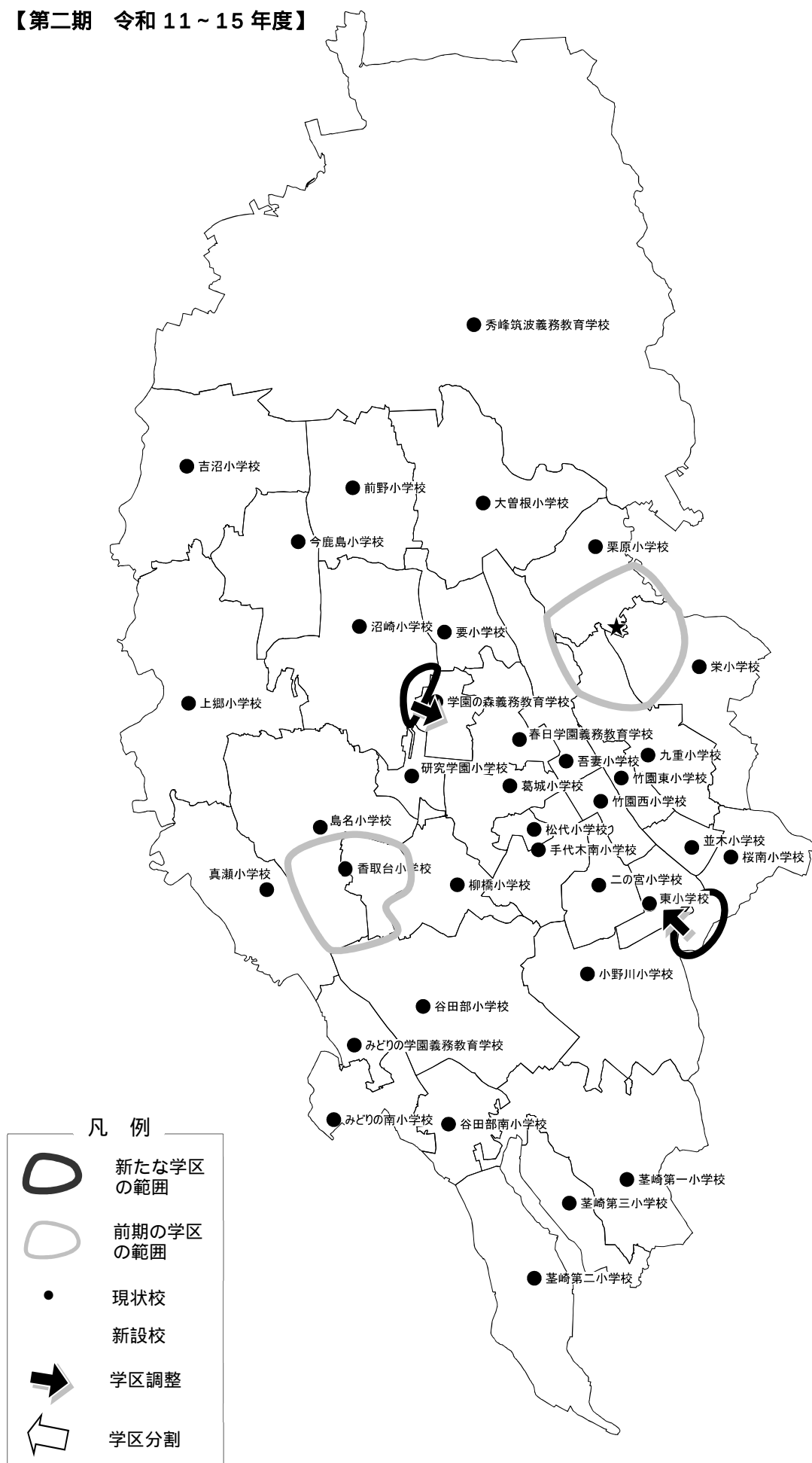
1校が大規模校から標準規模校で推移する見込みです。1校が小規模校で推移する見込みで、複式学級となることが見込まれます。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
谷田部南小学校	普 8 特 3	普 4 特 2	一期	● 小規模特認校制度の導入を検討する	・ 児童数は二期末頃まで逓減、三期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・ 小規模校で推移する ・ 複式学級化する	・ 児童数減により複式学級化が見込まれるため、小規模特認校制度の導入を検討する
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		
みどりの南小学校	普 41 特 5	普 31 特 7	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童数は一期まで逓増し、それ以降逓減する ・ 二期中頃まで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

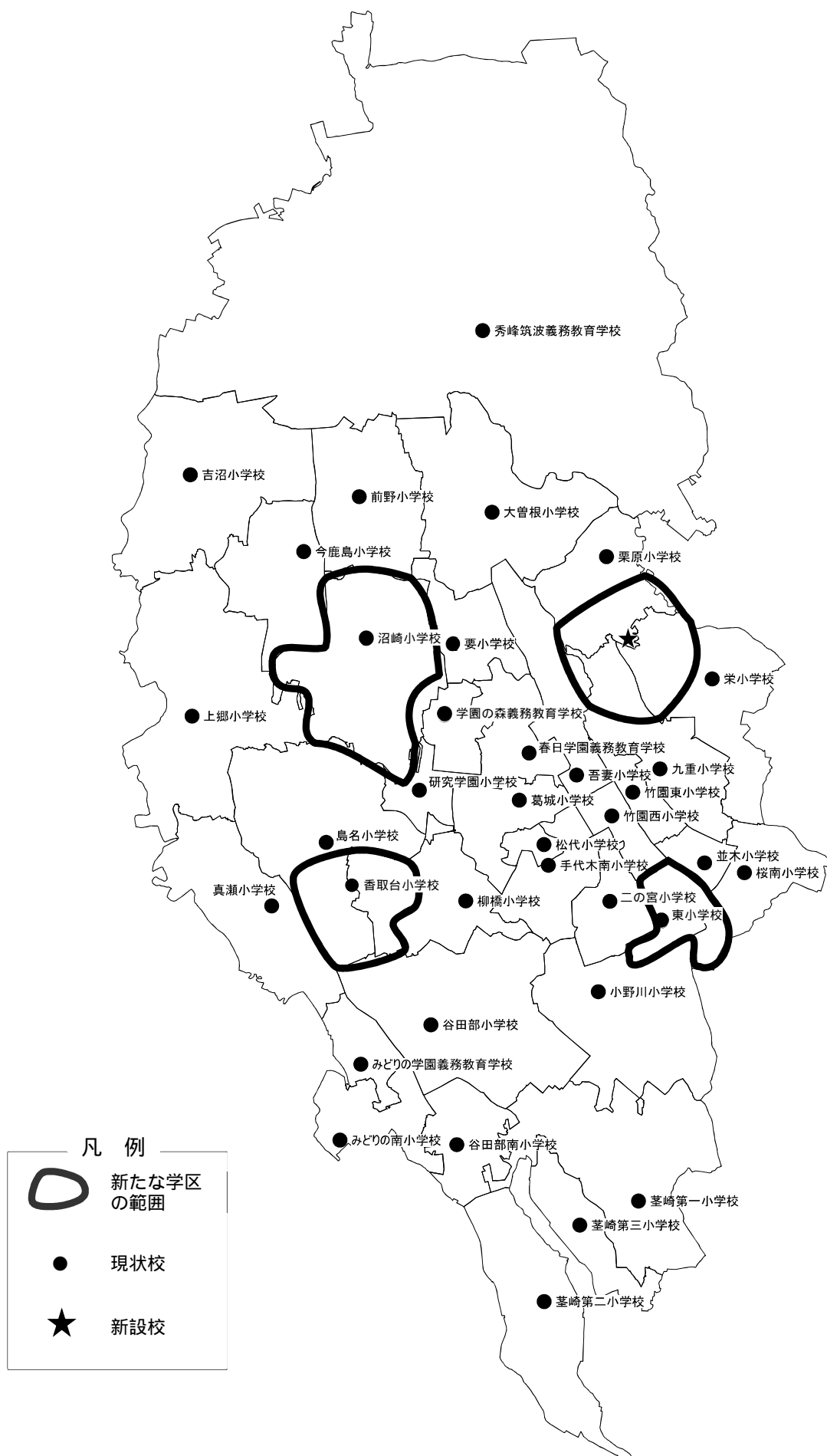
(2) 期別の方針図
【第一期 令和 6 ～ 10 年度】



【第二期 令和 11～15 年度】



【第三期以降の小学校区イメージ】



3. 中学校の配置方針

(1) 学校別の配置方針

大穂学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6～ 10 ） / 二期（ R 11～ 15 ） / 三期～ 四期（ R 16～ 25 ）			
大穂中学校	普 19 特 5	普 13 特 3	一期	● 要小学校区について、吾妻中学校との学区調整を検討する	・ 生徒数は二期中頃まで逡減し、それ以降一定で推移する ・ 標準規模校で推移する	・ 要小学校区の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	● 第二期の学区の維持を図る		

豊里学園

標準規模校と小規模校の間で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
豊里中学校	普 21 特 7	普 12 特 4	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 生徒数は逓減する ・ 一期まで標準規模校、それ以降は小規模校と標準規模校で推移する	・ 遠東南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	● 沼崎小学校区の遠東南部の地区について学園の森義務教育学校との学区調整を検討する		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

輝翔学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6～ 10 ） / 二期（ R 11～ 15 ） / 三期～ 四期（ R 16～ 25 ）			
谷田部中学校	普 27 特 3	普 12 特 5	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 生徒数は三期中頃まで 逡増し、それ以降逡減する ・ 標準規模校で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

高山学園

標準規模校から大規模校で推移する見込みです。

学 校 名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
高山中学校	普 12 特 7	普 16 特 4	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・ 生徒数は三期中頃まで逡増し、それ以降逡減する ・ 二期中頃以降は大規模校で推移する	・ TX 沿線開発に伴う生徒数増加の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

光輝学園

標準規模校から大規模校の間で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
手代木中学校	普 19 特 14	普 18 特 6	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 生徒数は二期末頃まで逡増し、それ以降逡減する ・ 二期中頃まで標準規模校、それ以降は大規模校と標準規模校で推移する	・ 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある ・ 大規模マンション建設の動向を注視し、必要に応じて学区調整を検討する必要がある
			二期	● 教室不足に陥る前に、増設等を検討する		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

洞峰学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6～ 10 ） / 二期（ R 11～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16～ 25 ）			
谷田部東中学校	普 20 特 8	普 18 特 6	一期	●並木中学校区の大角豆南部地区について、学区調整を検討する	・生徒数は三期初めまで逡減し、それ以降ほぼ一定で推移する ・標準規模校で推移する	・大角豆南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

桜学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～四期（ R 16 ～ 25 ）			
桜中学校	普 19 特 1	普 12 特 2	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 生徒数は三期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・ 標準規模校で推移する	・ 国指定史跡地域のため、増改築が困難である。必要教室数や施設の状況により、増改築が必要となる場合は、移転を含めた検討をする必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	● 第二期の学区の維持を図る		

竹園学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～四期（ R 16 ～ 25 ）			
竹園東中学校	普 30 特 6	普 18 特 5	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 生徒数は二期初めまで逓増し、それ以降逓減する ・ 標準規模校で推移する	・ 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	● 第二期の学区の維持を図る		

桜並木学園

標準規模校から小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～四期（ R 16 ～ 25 ）			
並木中学校	普 21 特 10	普 11 特 4	一期	● 大角豆南部地区について、谷田部東中学校との学区調整を検討する	・ 生徒数は三期初めまで逡増し、それ以降逡減する ・ 二期から三期初めまで標準規模校、それ以降は小規模校と標準規模校で推移する	・ 公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある ・ 大角豆南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	● 第二期の学区の維持を図る		

吾妻学園

公務員宿舎跡地の開発による生徒数増が見込まれます。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）		
吾妻中学校	普 17	普 8	一期	● 大穂中学校区の要小学校区について、学区調整を検討する ● 生徒数増の状況を注視する	・ 公務員宿舎跡地の開発により、一期末頃から生徒数増が見込まれる ・ 公務員宿舎跡地売却後の開発計画や建設戸数等が未定であるが、生徒数増の状況を注視し、必要に応じて増築等を検討する必要がある ・ 要小学校区の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
	特 5	特 2	二期	● 第一期の学区の維持を図る	
			三期～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る	

荳崎学園

小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
荳崎中学校	普 28 特 0	普 6 特 4	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 生徒数は通減する ・ 小規模校で推移する	・ 生徒数減の動向を注視 する必要がある ・ 二期以降、単学級とな る学年があるため、高 崎中学校との統合を含 め、今後の在り方を保 護者や地域住民と協議 する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

高崎学園

小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
高崎中学校	普 18	普 7	一期	● 現状の学区の維持を図る	● 生徒数は二期中頃まで 逡減し、それ以降一定で 推移する ● 小規模校で推移する	● 二期以降、荃崎中学校 において単学級となる 学年があるため、荃崎 中学校との統合を含 め、今後の在り方を保 護者や地域住民と協議 する必要がある
	特 2	特 4	二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

虹色学園

小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
研究学園中学校	普 11	普 6	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 生徒数は二期初めまで逡増し、それ以降低減する ・ 小規模校で推移する	・ 生徒数減の動向を注視する必要がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
	特 2	特 4	三期～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

翠輝学園

小規模校から標準規模校となり、その後小規模校へと推移する見込みです。

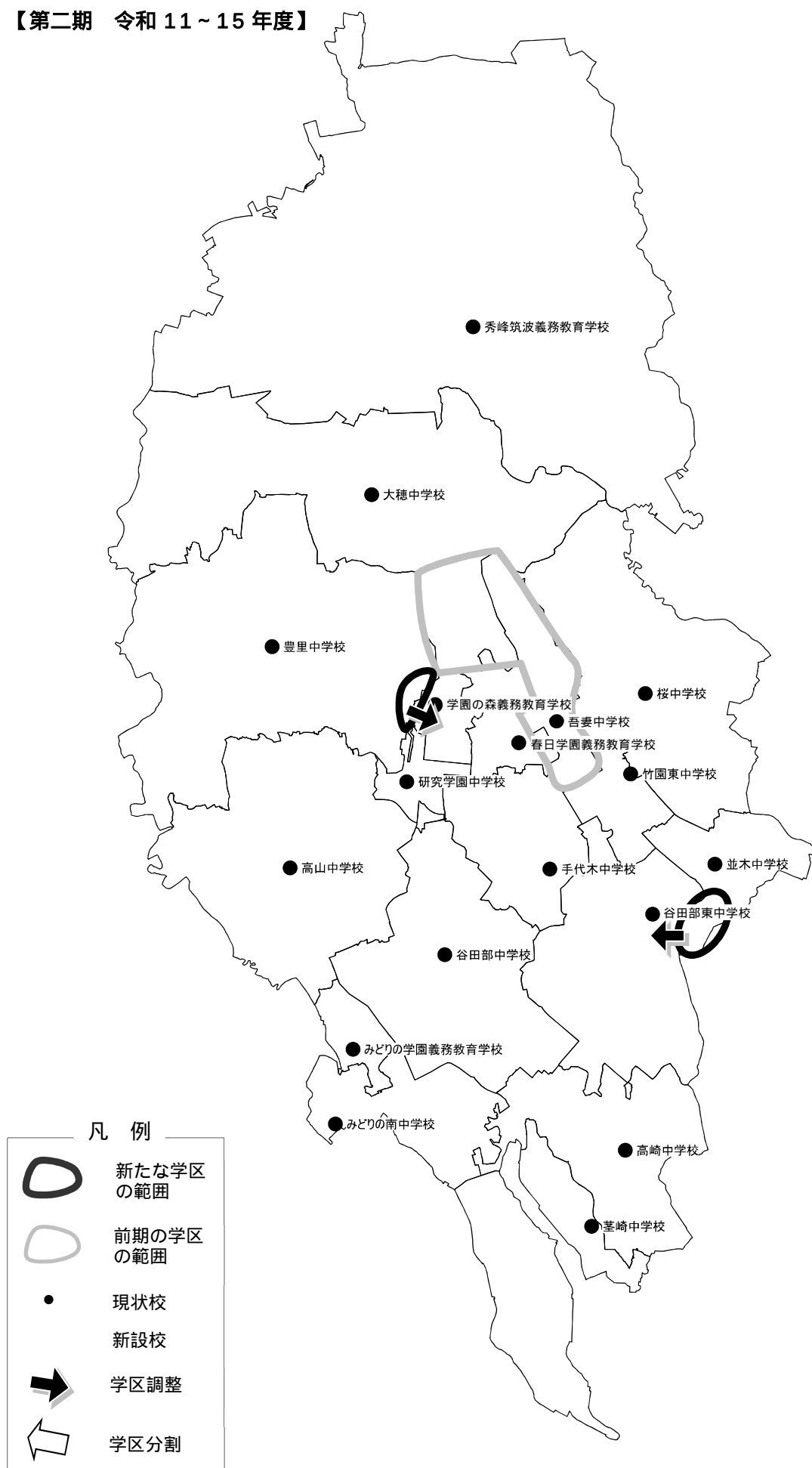
学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
みどりの南中学校	普 9	普 11	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・生徒数は二期末頃まで逡増し、それ以降は逡減する ・二期から三期中頃まで標準規模校、それ以降は小規模校で推移する	・TX 沿線開発に伴う児童数増加の動向を注視する必要がある
	特 2	特 4	二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

(2) 期別の方針図

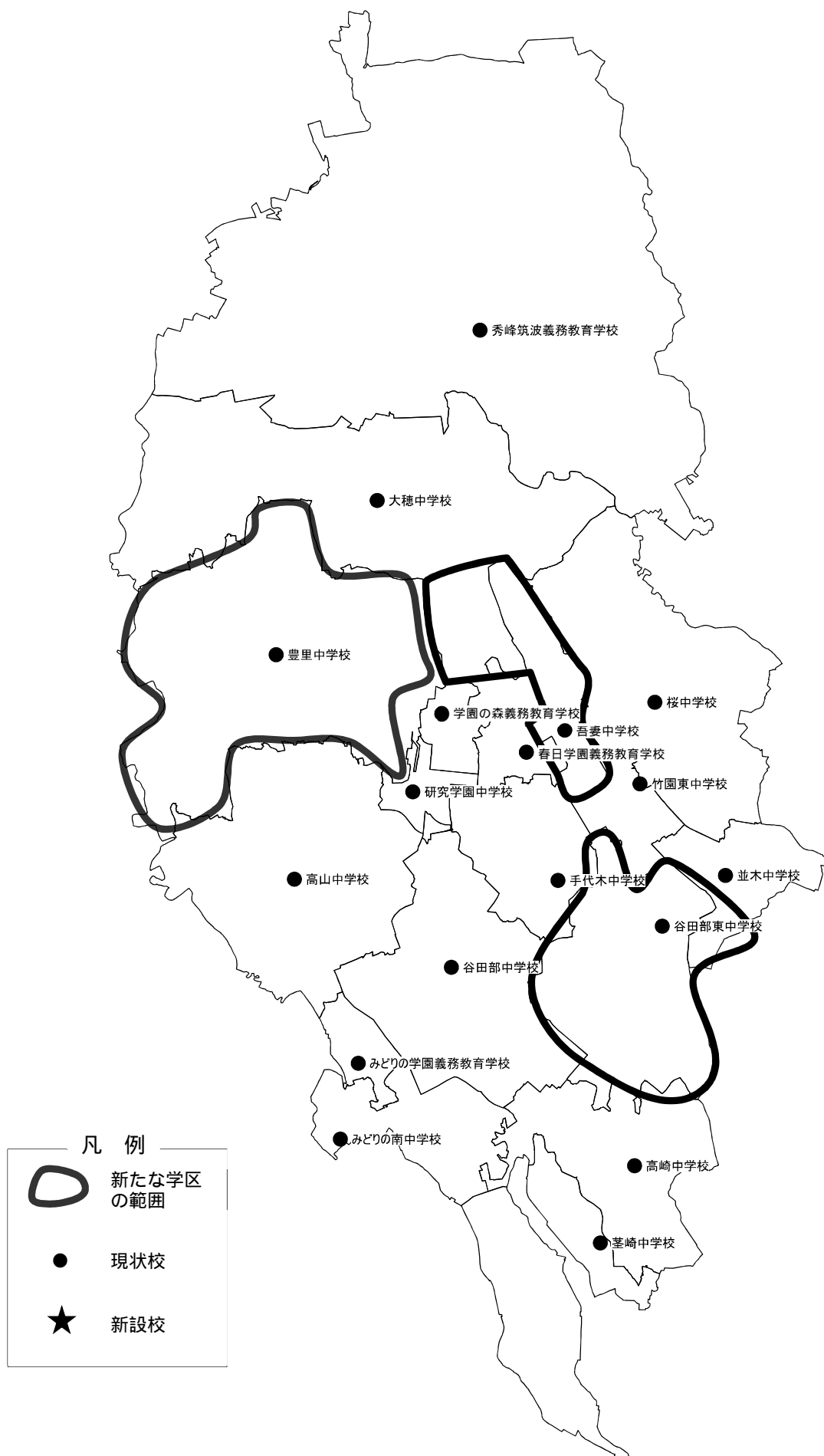
【第一期 令和 6 ～ 10 年度】



【第二期 令和 11～15 年度】



【第三期以降の小学校区イメージ】



4. 義務教育学校の配置方針

(1) 学校別の配置方針

春日学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6～ 10 ） / 二期（ R 11～ 15 ） / 三期～ 四期（ R 16～ 25 ）			
春日学園義務教育学校	普 53 特 11	普 29 特 10	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童生徒数は二期中頃 まで逡減、それ以降一 定で推移する ・ 標準規模校で推移する	・ 葛城小学校区・手代木 中学校区の大規模マン ション建設の動向を注 視し、必要に応じて学 区調整を検討する必要 がある
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

秀峰筑波

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） / 三期～四期（ R 16 ～ 25 ）			
秀峰筑波義務教育学校	普 36	普 28	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童生徒数は三期中頃 まで逡減し、それ以降一 定で推移する ・ 標準規模校で推移する	
	特 8	特 10	二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

学園の森

大規模校から標準規模校で推移する見込みです。

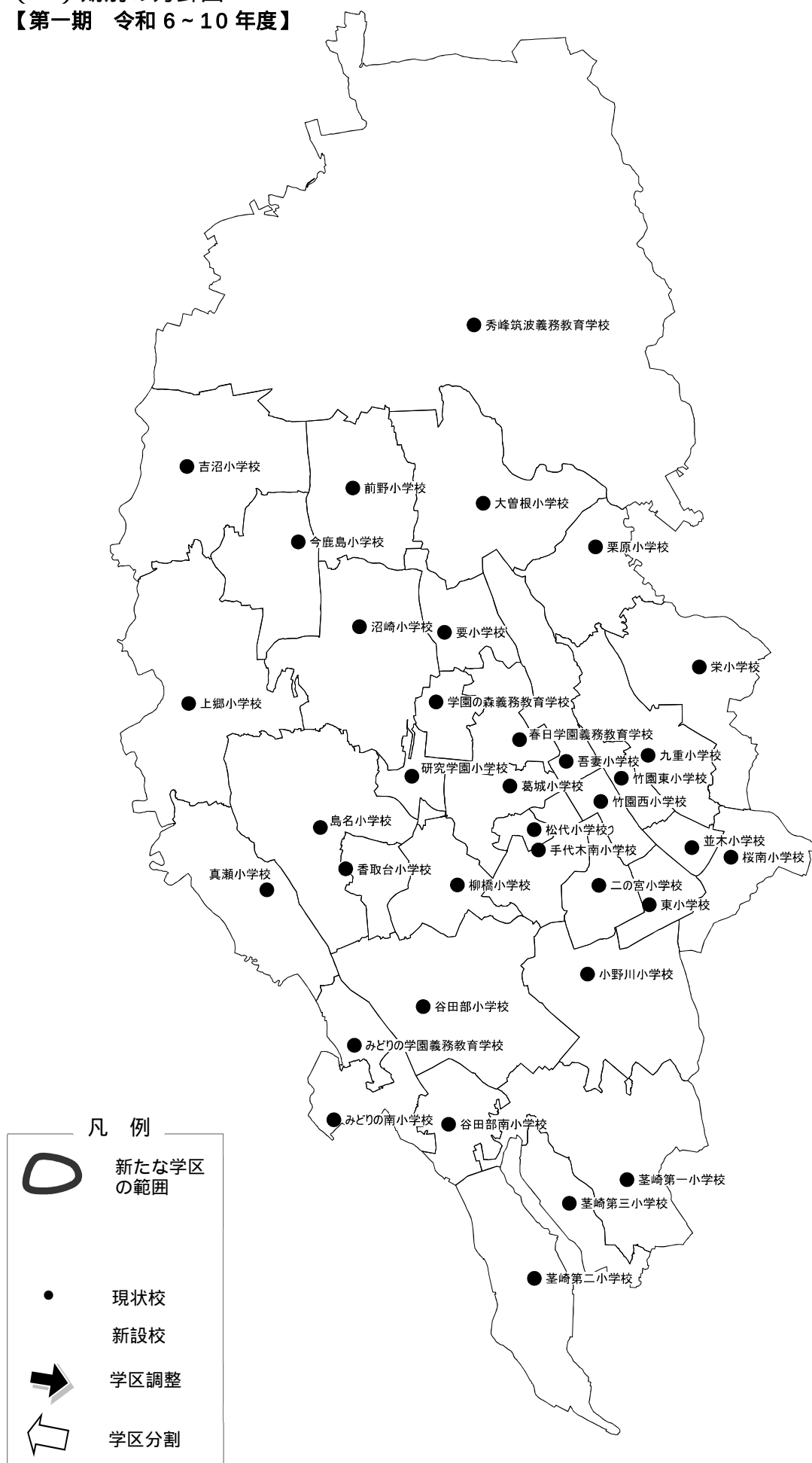
学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） ／ 三期 ～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
学園の森義務教育学校	普 76 特 6	普 48 特 15	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童生徒数は三期中頃まで逡減し、それ以降一定で推移する ・二期中頃まで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	・遠東南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●沼崎小学校区の遠東南部の地区について学区調整を検討する		
			三期 ～ 四期	●第二期の学区の維持を図る		

みどりの学園

大規模校から標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の 予想学級数	期別の方針		動 向 ・ 課 題	
			一期（ R 6 ～ 10 ） / 二期（ R 11 ～ 15 ） / 三期～ 四期（ R 16 ～ 25 ）			
みどりの学園義務教育学校	普 77 特 6	普 64 特 21	一期	● 現状の学区の維持を図る	・ 児童生徒数は二期初め まで逡増し、それ以降 逡減する ・ 三期中頃まで大規模校、 それ以降は標準規模校 で推移する	
			二期	● 第一期の学区の維持を図る		
			三期 ～ 四期	● 第二期の学区の維持を図る		

(2) 期別の方針図
【第一期 令和 6 ～ 10 年度】

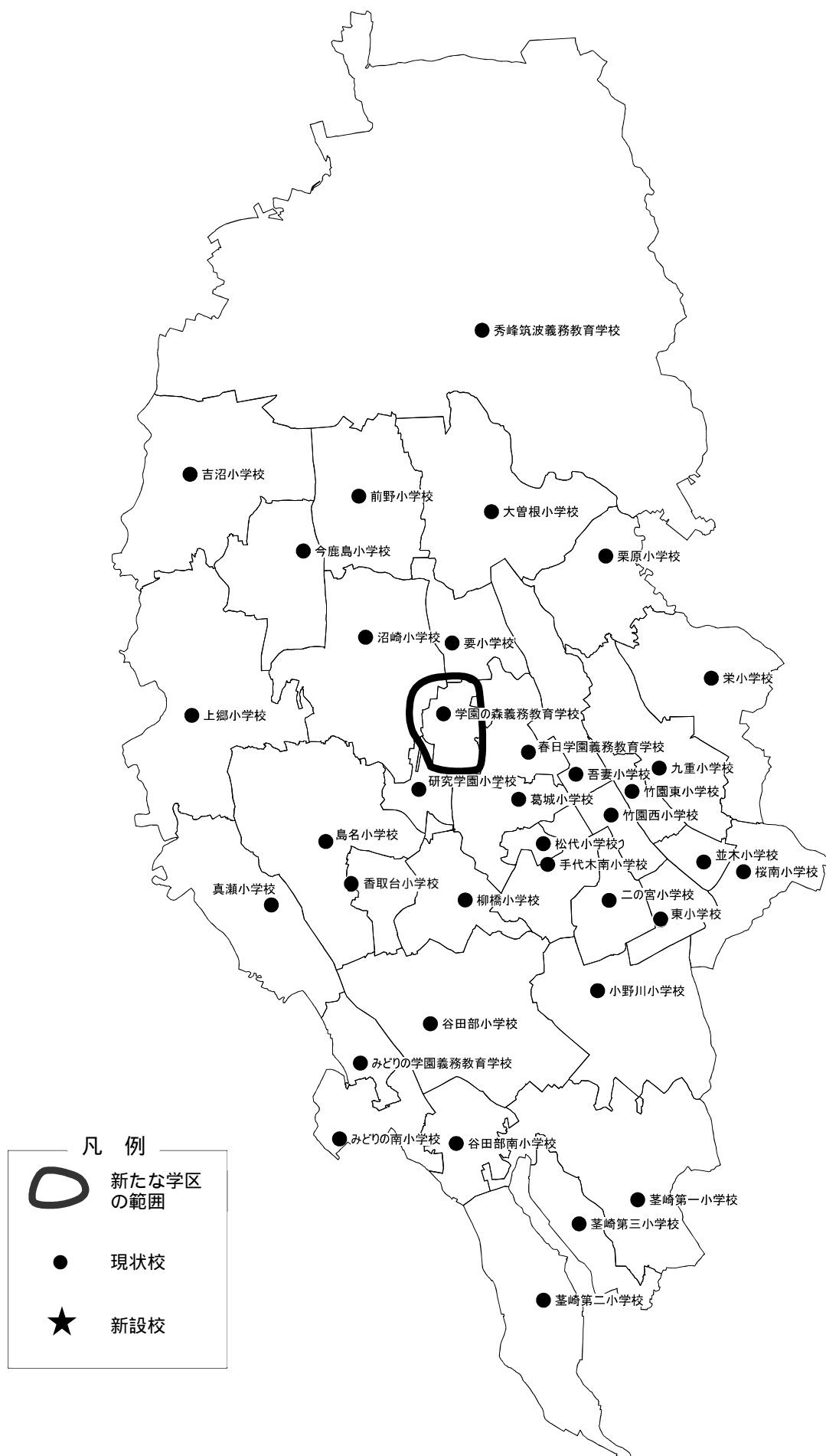


【第二期 令和 11～15 年度】

凡 例	
	新たな学区の範囲
	前期の学区の範囲
●	現状校 新設校
	学区調整
	学区分割

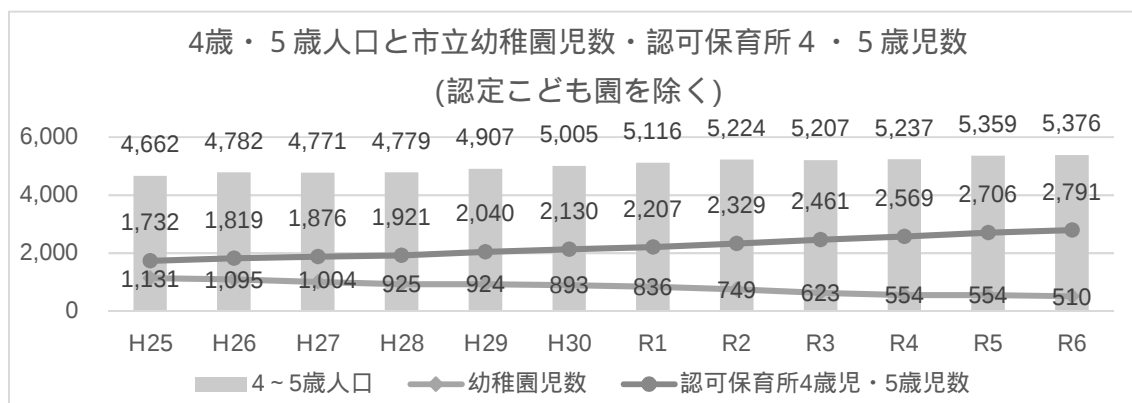


【第三期以降の小学校区イメージ】



５．幼稚園の配置方針

全国的に少子高齢化が進み人口が減少している中で、現状つくば市の人口は年々増加しており、未就学児童の人口も増加しています。しかし、共働き世帯の増加や、令和元年１０月から実施された幼児教育・保育の無償化等により、市立幼稚園を利用する人数は減少しています。



本市では１学級の幼児数を、満３歳の幼児の学級にあっては１８人以下、満４歳及び満５歳の幼児の学級にあっては３０人以下と定めて運用していますが、令和６年度現在、全１５園中８園で、全年齢において定員の半数以下の園児数となっており、適正規模とは言えない状況となっています。

(令和６年５月１日時点の園児数)

着色セルは定員の半数以下

幼稚園	３歳児	４歳児	５歳児	計
大穂幼稚園	-	10	14	24
上郷幼稚園	-	5	7	12
谷田部幼稚園	-	45	55	100
島名幼稚園	-	14	26	40
手代木南幼稚園	17	15	20	52
二の宮幼稚園	-	9	15	24
桜幼稚園	-	8	13	21
竹園東幼稚園	-	10	18	28
吾妻幼稚園	-	14	16	30
桜南幼稚園	-	15	14	29
竹園西幼稚園	-	10	13	23

筑波幼稚園	-	8	12	20
東幼稚園	-	6	10	16
松代幼稚園	-	18	26	44
荃崎幼稚園	8	19	20	47

一方で、一般的に公立幼稚園は、幼稚園教育要領に基づくスタンダードな教育の実践、障害の有無等に関わらないすべての幼児への公的教育機会の保障、公的施設としての拠点機能など、様々な役割を有しているとされています。

つくば市においても将来的には少子化や人口減少が見込まれる中で、市立幼稚園については、つくば市において求められる市立幼稚園の在り方について検討し、その実現のために最適化された配置が必要となります。

そのため、市立幼稚園に対するニーズや、保育所・私立幼稚園との関係、施設整備・人員配置等の費用面なども含めた複合的な検討を今後実施していくこととし、本計画においては、個別の幼稚園の配置方針については定めず、幼稚園全体の配置について検討方針を示します。

期別の方針 一期（R6～10） ／二期～四期（R11～25）		課題
一期	- 市立幼稚園の在り方について検討を行い、市全体の配置方針を定める - 検討した方針に基づき、各幼稚園の園区調整・統合・移転・廃止等を進める	- 未就学児童の教育・保育の在り方全体について、保育所・私立幼稚園等も含めた検討が必要である - 中央部エリアにおいては幼稚園が集中し、周辺部エリアにおいては園区が広大となっている状況がある 3歳児保育や平日延長保育などを実施するに当たっては、実施のための教室や人員の確保が必要となる - 施設の老朽化がみられるため、長寿命化改修等の施設整備と合わせた検討が必要となる
二期～四期	一期に検討した方針に基づき、各幼稚園の園区調整・統合・移転・廃止等を進める	